熊本市男女共同参画年次報告書

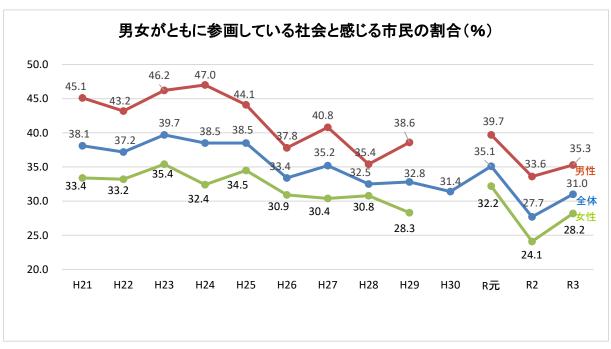
(令和3年度(2021年度)事業実績)

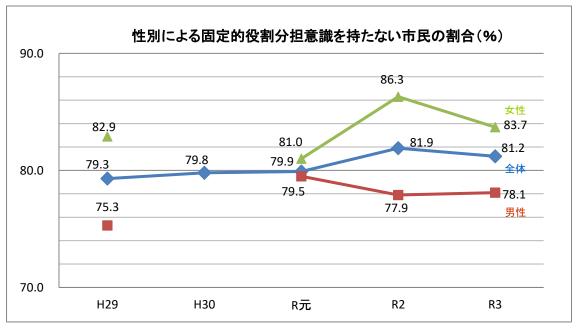
熊本市男女共同参画年次報告書(令和3年度事業実績)(概要)

熊本市男女共同参画推進条例第14条は、「市長は、毎年、男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について報告書を作成し、これを公表するものとする。」と規定しています。そこで、令和3年度事業実績について報告書を作成し、これを公表します。

1 成果指標について

ct 田 15 tm	基準値	実績値	目標値
成果指標	(H30 年度)	(R3 年度)	(R8 年度)
男女がともに参画している社会と感	31.4%	目標値 上昇	LB
じる市民の割合	31.4%	実績値 31.0%	上昇
性別による固定的役割分担意識を持	79. 8%	目標値 上昇	LB
たない市民の割合	79.0%	実績値 81.2%	上昇





「男女がともに参画している社会と感じる市民の割合」は 31.0%となり、前年度(27.7%)に比べ 3.3 ポイント上昇しました。性別では、男性が 35.3%、女性が 28.2%で、男性が 7.1 ポイント上回っています。

また、「性別による固定的役割分担意識を持たない市民の割合」は 81.2%となり、前年度(81.9%)に 比べ 0.7 ポイント下降しました。性別で見ると、男性が 78.1%、女性が 83.7%で、女性が 5.6 ポイント上 回っています。

2 具体的な取り組みについて

|施策の方向性I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進

- 児童・生徒の男女共同参画の意識を育む教育・学習の充実
- 男女共同参画への理解を広げる啓発・学習の充実
- 〇 地域における男女共同参画の促進
- 男女共同参画の視点に基づく地域防災の推進と復興体制の確立
- 男女共同参画センターはあもにいの機能充実
- ・小学校では、基本的人権の一つとして男女の平等を扱い、中学校では、男女雇用機会均等法、男女共同参画基本法などの法律をもとに、男女の平等に関しての学習を行うなど、すべての小・中・高等学校において、「男女平等の推進」「女性の人権の尊重」に関する学習が実施されている。
- ・「男女共同参画の視点に立った防災」や「働き方、家庭内の役割分担、ワーク・ライフ・バランス」について特集をした情報誌「はあもにい」を年間2回発行(各号3,000部)。
- 女性自治会長の数は60人(全体の6.6%)となり、中央区の33人(全体の13.6%)が最も多かった。
- ・男女共同参画センターはあもにいの年間利用者数は、新型コロナウイルスの影響による新規予約の停止など対策を行ったため 72,833 人となり、目標の 135,000 人を下回った。
- ・男女共同参画の視点に立った防災出前講座では、企業、行政、介護施設、大学の教職員、高校生と幅広い年代、対象に合計 8 回実施し、のべ 508 人の参加者があった。
- ・熊本市地域防災計画・水防計画において、大規模災害時に女性や性的少数者等のための避難所として、 男女共同参画センターはあもにいを開設することを規定していたが、全ての避難所を巡回し、男女共同 参画の視点に基づく運営の啓発を実施することと改正した。
- ・「はあもにいフェスタ」では、男女共同参画に関わる活動をする市民団体によるセミナーの他、オンデマンド配信で講演会を実施し、1,093 名の参加者があった。

|施策の方向性Ⅱ 市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備|

- 政策・方針決定過程への女性の参画促進
- 〇 市役所における男女共同参画の推進
- 〇 女性の起業・就労支援
- 〇 女性のキャリアアップ支援
- 多様な働き方への理解を促す情報の提供
- 事業者と連携したワーク・ライフ・バランスの推進
- 〇 子育て・介護に関する支援
- 家庭生活等仕事以外の生活への男性の参画支援
- 〇 貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備
- 性的マイノリティへの支援・社会参画促進
- 生涯を通じ健康であるための支援

- ・令和3年度末時点の審議会等における「あて職」を除く女性委員の割合は 32.1%となり、令和2年度 (27.7%) と比べ 4.4 ポイント上昇した。
- ・市役所における全職員に占める監督職以上の女性職員の割合は 26.8%となり、令和2年度(25.5%) から 1.3 ポイント上昇した。また、管理職以上の女性職員の割合は 10.5%となり、令和2年度(9.9%) から 0.6 ポイント上昇した。
- ・様々な社会課題を地域活性化につなげるアイデアを持った人材を後押しすることを目的とし、自身のアイデアを具体化し、事業計画を立てるソーシャルビジネス基礎講座を実施した。
- ・女性の活躍を効果的かつ円滑に推進していくため、経済団体や労働者団体、関係団体、行政機関等と の連携強化や情報共有を目的とした「女性の活躍応援協議会くまもと」は新型コロナウイルスの影響に より書面開催とした。
- ・熊本県中小企業家同友会との共催によりテレワーク学習会を開催した他、男女共同参画センターはあ もにい内のコワーキングスペースの運営等、テレワークをはじめとした柔軟な働き方の推進に取り組 んだ。
- ・子育て世帯等が安心して子育てと仕事の両立ができる、働きやすい職場環境の整備を進める企業を「子育て支援優良企業」として、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による企業の負担等を考慮し、新規での募集は中止したが、令和3年度は募集を再開し、24件を新たに認定した。
- ・保育士不足を解消するため、保育士再就職支援コーディネーターを1名配置し、再就職を希望する保育 士に対する支援として保育士就職支援研修会を年2回開催した。
- ・公設公民館では、誰もが利用しやすい公民館を目指して主催講座の開催に取り組んでいるが、親子で参加できる主催講座に参加した保護者のうち、男性の参加割合については、子育てサロン等のふれあい教室で5%であり、R2年度の9%と比較すると減少した。
- ・高齢者や障がい者への基本的な向き合い方や声かけ方法を学ぶ講座としてユニバーサルマナー検定 3 級資格取得講座のほか、キャリアアップのためのコミュニケーション講座等を実施した。
- ・平成31年4月より開始した「熊本市パートナーシップ宣誓制度」において、同様の制度を実施している福岡市、北九州市に続き、鹿児島市と連携協定を締結した。
- ・児童生徒等の発達段階に応じた性に関する指導の充実に向け、性に関する指導担当者を対象として、性に関する指導研修会を2回実施した。

施策の方向性皿 あらゆる暴力を許さない社会の実現

- 暴力(DV・セクハラ等)を許さない基盤づくり
- 〇 DV相談体制の強化と被害者の自立支援
- ・新型コロナウイルスの影響によりDV防止セミナーをYouTubeにより配信し、714回の視聴数があった。
- ・ハラスメントをテーマとした出前講座を開催し、2 団体(308 名)が受講した。また、中・高校生を対象としたデートDV講座を 2 校で実施し、114 名の生徒が受講した。
- ・配偶者からの暴力(DV)に関する相談は997件で、令和2年度(1,144件)と比べて147件減少した。また、配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書発行件数は364件、関わった保護命令発令件数は4件となった。

目 次

具体的施策の実施状況〈令和3年度(2021年度)分〉

1	児童・生徒の男女共同参画の意識を育む教育・学習の充実		1
2	男女共同参画への理解を広げる啓発・学習の充実	• • • • •	4
3	地域における男女共同参画の推進	• • • • •	11
4	男女共同参画の視点に基づく地域防災の推進と復興体制の確立	• • • • •	21
5	男女共同参画センターはあもにいの機能充実	• • • • •	28
6	政策・方針決定過程への女性の参画促進	• • • • •	33
7	市役所における男女共同参画の推進	• • • • •	40
8	女性の起業・就業支援	• • • • •	46
9	女性のキャリアアップ支援	• • • • •	57
10	多様な働き方への理解を促す情報の提供	• • • • •	64
11	事業者と連携したワーク・ライフ・バランスの推進	• • • • •	67
12	子育て・介護に関する支援	• • • • •	72
13	家庭生活等仕事以外の生活への男性の参画支援	• • • • •	84
14	貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	• • • • •	88
15	性的マイノリティへの支援・社会参画促進	• • • • •	99
16	生涯を通じ健康であるための支援	• • • • •	10
17	暴力(DV・セクハラ等)を許さない基盤づくり	• • • • •	10
18	DV相談体制の強化と被害者の自立支援		11

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署		
具体的施策	1	児童・生徒の男女共同参画の意識を育む教育・学習の充実	一体教女长道守		
取り組みの名称	1	学校における男女平等に関する学習の実施と教職員に対する女性の人権などに関する人権教育研修の実施	人権教育指導室		
①「男女平等の推進」「女性の人権の尊重」に関する学習の実施					

- ○各学校において、児童生徒の発達段階に応じ、人権の尊重や男女相互の理解・協力などについて学習する。
- ○学習を通して、性別に関係なく一人の人間としてとらえる意識の形成を図り、男女共同参画社会の担い手となる資質や能力の基礎を培う。
- 〇令和3年度(2021年度)実施状況・・・・小学校(92校中 92校実施) 中学校(42校中 42校実施) 高等学校(2校中 2校実施)

②「男女平等の推進」「女性の人権の尊重」に関する教職員を対象とした校内研修会の実施 2

- 〇各学校において、男女がその性別に関わりなく自己の能力や個性を十分に発揮できるような教育の充実のために、職員研修を実施する。
- 〇令和3年度(2021年度)実施状況・・・・小学校9校

中学校7校

	4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
 	参考	-	-	-	-	-	ı	ı	ı
	標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

小・中・高等学校では、すべての学校で、性別に基づく固定的な役割分担を是正し、人権尊重を基盤とした男女の平等を推進する学習を発達段階に応じて実施し 評 ている。しかし、教育内容については、ABCの数値化による評価は適していないと考える。

価 の 理

由

和

3

年

度

2

年 度

実 施 概 要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

- ①すべての小・中・高等学校において、「男女平等の推進」「女性の人権の尊重」に関する学習が実施されている。社会科、家庭科を中心に教科書に男女共同参画 和 に関する内容が記載され、学校での学習の推進につながっていると考える。
- ○社会科・・・小学校では基本的人権の一つとして男女の平等を扱い、中学校では、男女雇用機会均等法、男女共同参画基本法などの法律をもとに、男女の平等 |に関しての学習をしている。
- |②小学校において、「女性の権利の尊重」に関する研修を実施している学校数が増えている。【R2(8校)→R3(9校)】
- 教職員の男女平等観の形成の促進につながっていると考える。 分
- ○学校訪問において、人権教育推進上の課題等について校長及び人権教育主任と意見交換する機会を設けて周知・啓発に努めている。 析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

|①児童生徒が「男女平等の推進」「女性の人権の尊重」に関する課題をさらに自分自身に関わる問題として捉えることができるように、各学校への人権学習のあり |方についての理解の周知に努めていく必要がある。

②「女性の人権」に関する校内研修の実施がやや減少している。

度 課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

①学校訪問の事前研修として、人権学習のあり方についての資料を作成し、各校で研修を進めてもらった。さらに学校訪問の事後協議で、「男女平等の推進」「女 取 性の人権の尊重」を含めて、人権課題のバランスの取れた人権学習に取り組むように助言を与えた。

②各校の人権教育推進状況調査に基づき、「男女平等の推進」「女性の人権の尊重」を含めて、人権課題のバランスの取れた校内研修を実施するように助言を与 組 えた。

3 況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和しり児童生徒が「男女平等の推進」「女性の人権の尊重」に関する課題をさらに自分自身に関わる問題として捉えることができるように、各学校への人権学習のあり 方についての理解の周知にさらに努めていく必要がある。

②「女性の人権」に関する校内研修の実施校数が多いとは言えない。

題 の

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①学校訪問や人権教育主任研修会等を通して、人権教育・人権学習のあり方について周知を図るとともに、学校の実態に応じて、人権学習や校内研修として「男女 平等の推進」「女性の人権の尊重」に関する課題を取り扱うように促していく。

②人権に配慮した学校や学級の環境づくりを進めるための資料を配付し、不必要な男女分け等をしないよう啓発を図る。

参	
画	
会	
議	
の	
意	

見

方 針

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	1	児童・生徒の男女共同参画の意識を育む教育・学習の充実	₩貧細
取り組みの名称	2	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育の実施	指導課

キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のことである。将来、社 会的自立・職業的自立を図るために、児童生徒の発達段階に応じて、職場見学や職場体験、学級での係活動や学校の児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事 などに取り組んでいる。 和

3 ① キャリア教育担当者会

|令和3年度は6月にキャリア教育担当者を対象にした研修会を実施している。(小学校92校、中学校43校、高等学校2校、専修学校1校) 度

② ナイストライ事業(新型コロナウィルスの影響により、事業所を訪問してのナイストライ活動と学校での勤労生産・奉仕的行事のどちらかを学校が選択して実施し 2 た。)

「ナイストライ事業」は、子どもの勤労観・職業観や感謝する心などの豊かな心を育み、主体的・実践的な態度を培い、子どもたちの"生きる力"を育成することをね 2 らいとしている。令和3年度は学校の実情に応じて、事業所を訪問してのナイストライ活動や、学校での勤労生産・奉仕的行事に係る活動を通して、勤労観・職業観 を高めるとともに、自らを豊かにし、進んで他に奉仕しようとする態度を養った。

【令和3年度の実績】 度

実施生徒数: 中学校42校、特別支援学校中学部1校 2年生

- ○事業所を訪問してのナイストライ活動 2校
- ○学校での勤労生産・奉仕的行事に係る活動 41校

4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	ナイストライ事業実施学校数	校	43	43	0	43	43	Α
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

施 概 要

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業所でのナイストライ活動を実施する学校は少なかったが、「勤労生産・奉仕的行事の活動」を他の全ての中学校 で実施しており、生徒の勤労観・職業観や感謝する心などの豊かな心の育成につながった。 理

由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①全小中高等学校のキャリア教育担当者が参加した。会の前半では、熊本市教育委員会からキャリア教育の意義や現在の課題、また、キャリア・パスポートの適 切な運用方法について説明をした。会の後半では、キャリア教育研究指定校によるキャリア・パスポートを活用した実践を紹介していただいた。会を通じて、子ども 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるというキャリア教育のための貴重な情報提供ができた。

②職場体験を実施することはできなかったが、勤労生産的行事を各学校において工夫して行ったことで、勤労生産や奉仕に関して自分のできることを判断し、他者 と協力して実践することができた。人と人とのつながりやコミュニケーションを大切にし、相手の立場に立って行動することが必要であることを実感し、これからの自 身の生き方を考えることができた生徒が多数いた。

分 析

度

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

||①キャリア教育への理解は高まってきているが、令和2年度から始まったキャリア・パスポートの記録と活用・運用についてはさらに周知する必要がある。 ②学校と事業所との打ち合わせは行われているが、詳細について十分な連絡調整ができていないところがあった。

年 度 課 題

況

題

方 針

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

①全小中高等学校のキャリア教育担当者が参加した。会の前半では、熊本市教育委員会からキャリア教育の意義や現在の課題、また、キャリア・パスポートの適 取 切な運用方法について説明をした。会の後半では、キャリア教育研究指定校にキャリア・パスポートを活用した実践を紹介していただき、その効果的な活用方法を 周知した。 組

②事業所を訪問してのナイストライ活動を実施した学校については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、学校や事業所の対応について、緊密な連携がとら 24 状 れていた。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 1 キャリア教育についての理解は高まっているが、意図的なキャリア教育の実践にはつながっていない部分がある。キャリア・パスポートについては、まだ2年目と いうこともあり、まだまだその意義や具体的な活用場面や活用方法について周知する必要がある。

②新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらのナイストライ事業の実施に向け、企業の理解や協力を得て、どのように実施するかについて考える必要がある。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①キャリア教育担当者会では、キャリア教育を意図的に実践する手がかりとなるような内容をお伝えする。また、キャリア・パスポートの効果的な活用場面について 具体的に提示していく。さらに、教育センターの研究員によるキャリア・パスポートの効果的な活用実践を周知する。

②コロナ禍におけるナイストライ事業実施について、学校や企業の実情に応じて実施ができるようにする。

ı	奓	l
	画	l
	会	l
	議	ı
	の	l
	意	l
	見	l

2

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	1	児童・生徒の男女共同参画の意識を育む教育・学習の充実	地方とい り
取り組みの名称	3	男女の協力、家族・家庭の意義、生活設計などの学習を通して男女共同参画を推進する家庭科教育の充実	教育センター

①小学校家庭科、中学校の技術・家庭科(家庭分野)、高等学校の家庭基礎等において、学習指導要領に則り、自立と共生の視点で家庭科教育を実施している。
・小学校の家庭科教育においては、5・6年生が2年間で家族としての役割、家族・家庭の重要性や男女の協力、金銭の大切さや買物の仕方(生活設計につながる学習)等について学習している。全小学校(92校で実施)

[・]|・中学校の技術・家庭科の家庭分野においては、3年間を通して家族・家庭の重要性や男女の協力、金銭管理(生活設計)等における関連した内容の授業を実施し ・||ている。全中学校(43校、分校を含む)で実施。

- 度 ▶・熊本市教育課程協議会において、元文科省調査官より新学習指導要領や家庭科教育の充実につながる講話を実施。
 - . ┃・授業づくり支援訪問(小中高で実施)において、小中高を見通した学習内容を意識した授業づくりについて周知。
- 2 ・熊本市研究員活動(令和3~4年度活動)の一環として、学習したことを生活につなげる授業づくりの工夫を熊本市小中学校全体に発信し、家庭科教育の充実を 図った。

2 ・高校家庭科では、共通教科「家庭基礎」等の科目の目標として、「少子高齢化への対応や持続可能な社会の構築、食育の推進、男女共同参画社会の推進等を踏まえて、自立して生活する能力と、異なる世代とのかかわり、共に生きる力を育てる。」とうたっている(高等学校学習指導要領解説 家庭編より)。そこで、授業では、人の一生と家族・家庭の分野において、男女で担う家庭生活や見直される性別役割分業意識、ワーク・ライフ・バランスの実現など、男女が協力して家庭を築くことの重要性について考えさせている。また、生徒は近い将来、主体的に生活を創っていく立場にあることから、授業では主体的な学びの実現を目指し、生徒自らが問いを立て、課題を設定し、解決していくよう手だての工夫を行っている。

| fraction | fractio

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 考 指	-	ı	_	ı	-	ı	ı	I
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

家庭科教育については、学習指導要領に則り、男女共通で授業を実施しており、指標・評価の設定は困難である。

価の理

由

課題

組み状況

題

概要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

・小学校においては、家族や家庭生活が、子どもの生活の基盤となるという考えから、多くの題材で家族や家庭生活と関連付けた学習内容が実施されている。また、学習したことを生活の中で生かす視点から、家族のための製作や家庭の仕事の実践に取り組まれている。

・中学校においては、家族・家庭の重要性や男女の協力などに関連した内容の授業を実施している。とくに、中学校の家庭科においては、応用的な学習として、「課 題と実践」という内容を通して、家庭科の学習で学んだことをもとに、課題設定し、家庭や地域で実践、改善し、新たな課題を設定していくという学習をする取組を実 毎しながら、男女共同参画の視点での生活における実践化を図ることができた。

度 ・小中ともに、「生活を創っていく主体者である」との意識をより強くもつためにも、発達段階に応じた消費者教育(生活設計に関係する内容を含む)にも力を入れてい 事 る。また、協力・協同という意識は、新学習指導要領の実施によってさらに進んでいると思われる。

♥ ・保育分野における、地域の保健師や児童民生委員がコーディネーターとなり、子育てサークルに参加している乳幼児やその保護者と生徒との交流会はコロナ感
○ 操拡大防止の点で中止となった。高校在学中に成年年齢となる2年生を対象に、熊本市消費者センターの出前講座を活用し、男女が自立した消費者となるため
○ に、消費者トラブルの未然防止やその対策などを学んだ。「来年は一人で契約ができるようになるため、慎重にしたい」などという感想が多くあった。(感染拡大防止 「 のため、オンライン講座で行った)(千原台高校)。

▼・男女共同参画高校生用学習資料「もっと、自分らしく」を活用し、自らの意思に基づく生き方の選択を促す学習の充実に努めた。(必由館高校)

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和 ・日常の授業で、小中高の家庭科や家庭分野において、男女共同参画の視点を踏まえた授業は実施されている。ただ、コロナ禍により、集合等による新学習指導 要領実施に伴う内容の周知が十分であるとは言えない状況だったので、令和3年度は家庭科や家庭分野における男女共同参画の視点をより一層意識した授業づ年度 くりの推進、啓発を教育課程協議会や授業づくり支援訪問にて周知していく必要がある。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の。一・新学習指導要領の内容周知に関して、文科省より通達のあった内容をオンデマンド配信にし、いつでも視聴可能にして周知を図った。

・授業づくり支援訪問(小中高実施)においても同様周知。

令【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 ・新学習指導要領の周知は進んだが、「着実な実施」と「よりよい実施」がまだ完全とは言えない状況。また、学校により、男女共同参画を推進する家庭科教育の充 | 実に差が見られる。より充実した授業展開を通して、学習を生活につなげていく取り組みが必要。(小中学校)

・オンライン講座等を活用した授業の展開は実施できている。しかし乳幼児との触れ合い体験や地域との交流の場はまだまだ少ないため、感染防止に努めつつ、それらの活動も積極的に取り入れる必要がある。(千原台高校)

|・「男女共同参画の推進」について、生徒が課題を自分事として捉えるための「学習の動機付け」を工夫する必要がある。(必由館高校)

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

前 ▼・新学習指導要領の周知は進んだが、「着実な実施」と「よりよい実施」をめざして、引き続き、研究員活動による発信や授業づくり支援訪問による個別の指導を通し り で、より男女共同参画を推進する家庭科教育の充実を図る。(小中学校)

組 |・引き続き、オンラインを活用した出前講座を実施するとともに、日々の授業ではもちろん、地域の民生委員等とも連携するなどし、男女関係なく解決に向け取り組 み |むことのできる課題を設定する。(千原台高校)

万 |・主体的な学びを促す手だての工夫をさらに検討していく。(必由館高校) 針 |

Г	朴	
	纱	
	का ।	
	쁴	
	_	
	会	
	=	
	議	
	の	
	音	
	(E)	
1		
- 1	ンじ	

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	2	男女共同参画への理解を広げる啓発・学習の充実	田士井 日本東部
取り組みの名称	1	社会の各分野への男女共同参画に関する出前講座の実施	男女共同参画課

出前講座の実施

3

年

度

2

0

2

年

度

実施概要

の理由

事業の分析

2

年度課

題

組み

況

年度課

題への

取

り組み方針

・市民(グループ)及び事業者等が主催する研修等に講師を派遣し、専門知識や経験を生かした講座を行うことにより、 男女共同参画に関する理解を深めることを目的としている。

対象者:市内に居住し、通勤し、又は通学する者で構成され、かつ、当該出前講座への参加人数が おおむね10人以上見込まれる集会、研修等を主催する市民及び事業者

開催講座数: 6講座 受講者数: 597人

開催テーマ: ・セクハラ・パワハラの防止(2講座)

・DV、デートDV(2講座) ・LGBTの基礎知識(2講座)

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 考 指	出前講座の実施受講者数	人	2,390	2,213	1,359	597	2,400	С
標	回数	回	27	19	10	6	25	С

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

当該事業は10名以上による集合講座の形式をとっており、新型コロナウィルスの影響による中止や講座実施の申込が減少したことにより受講者及び回数が減少評したため。 価

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

新型コロナウィルスの影響により講座実施の申込が減少したことが、受講者数の減少に繋がったものと考えられる。

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】 和 新型コロナウィルスの感染予防のため

| 新型コロナウィルスの感染予防のための取組は継続することとしているが、現段階での申し込み状況の大きな改善は見込めない。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の 出前講座のリモート実施の必要性も感じているが、各講座の講師のリモートへの対応状況や実施場所、ネットワークの問題など実施環境にも大きな課題があり、 取 り 個別の状況等に柔軟に対応を行う。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

新型コロナウィルスの感染対策の取組を継続しているため、現段階での申し込み状況の大きな改善は見込めないが、受講者増加に向けて対策を取る

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

新型コロナウイルス感染拡大の動向を注視し、リモートによる講座の開催を含めて利用者ニーズに合わせた柔軟な対応を検討する。

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	2	男女共同参画への理解を広げる啓発・学習の充実	田士 井 日 名 東 部
取り組みの名称	2	啓発紙やDVDなどによる男女共同参画に関する情報の提供	男女共同参画課

①情報誌「はあもにい」の発行・配布(各号3,000部) 配布先:各区役所、総合出張所、市関連施設(指定管理施設)、学校、保育園、幼稚園、総合子育て支援セン。 ター、銀行等。また、出前講座やセミナーなどの機会を捉えて配布を行った。

和 -90号(9月)

度

2

2

度

概要

E 【特集】「男女共同参画の視点に立った防災を考える」

│ 熊本地震では、避難所の運営管理者が男性に偏ったことで、更衣室や授乳室、おむつや生理用品などの女性のニーズに配慮できない事態が起きた。 │「性別によって役割を固定しない」「責任者には男女両方を配置する」など、運営の在り方を男女共同参画の視点に立って見直すことの重要性について紹介した。

•91号(3月)

【特集】「あなたの働き方、家庭内の役割分担、ワークライフ・バランスはどうなった?」

新型コロナウイルス感染拡大によって急速に増えたテレワーク。

緊急的に力を発揮した一方で、家庭での固定的役割分担意識による弊害などの課題があり、その事例や解決に向けた取組事例を紹介した。

た 施 ②啓発DVDの貸し出し:R3年度貸出実績 0件

4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	情報誌 はあもにいの発行回数	回	2	2	1	2	2	Α
標	啓発DVDの貸出回数	回	0	0	0	0	-	С

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

① 目標である年2回の発行が達成できたため。

評 ② 目標値を設定していないが、実績がないため。男女共同参画に関する研修用DVDの貸出が少ないことについては、新型コロナウイルス感染拡大により集合形 式での研修の機会が減少したことに加え、DVDのラインナップが少ないことがあげられる。 の

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 ① 「情報誌 はあもにい」については、令和2年度は新型コロナウィルスの感染拡大により年1回の発行となったが、令和3年度はリモートによる取材に切り替えた ことで、年2回の発行をすることができた。

年 ② 男女共同参画に関する研修用DVDの貸出については、熊本地震以降の利用が低迷し、令和2年度からは新型コロナウィルスの感染拡大によって集合形式で度 行われることが想定されるDVD鑑賞による研修は利用されにくくなっている。

事業の分

析

理由

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

②啓発DVDの貸出

2 新型コロナウィルスの感染予防のための取組は継続する必要があるが、現段階での申し込み状況の大きな改善は見込めない。 年

課題

度

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の ②啓発DVDの貸出 取

新型コロナウィルスの感染予防の観点から集合形式で行われることが想定されるDVD鑑賞による研修は利用されにくいことが想定されるため、熊本市公式 YouTubeチャンネルを含めた配信を行っている。

り組み状!

「【令和3年度(2021年度)に残った課題】

②啓発DVDの貸出

性的マイノリティに関するセミナーやDV防止セミナーの動画配信を行っているが、男女共同参画に関する分野は幅広く、幅広い分野に応じた配信のラインナップができていない状況である。

度課題へ

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

取 ②啓発DVDの貸出

動画の配信に加えて、啓発DVDのラインナップを増やすなど、市民のニーズに合わせた貸出ができるよう努力していきたい。

み方針

組

| で | 画 | 会 |議 | の | 意 | 見

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	2	男女共同参画への理解を広げる啓発・学習の充実	男女共同参画セン
取り組みの名称	3	「はあもにいウィメンズカレッジ」「男女共同参画基礎講座」等の男女共同参画啓発セミナーの開催	ターはあもにい

①第8期はあもにいウィメンズカレッジ(全10回)

[内容] 熊本市における男女共同参画社会の実現を目指し、政策や方針決定の場に参画し、活躍できる指導的地位に立つ女性人材の発掘や養成を目的とし て開講。2021年度で8期となる。

[講師] 澤田 道夫氏(熊本県立大学総合管理学部教授)、鈴木 桂樹氏(熊本大学法学部名誉教授)

野田 恭子氏(Career Wave代表/熊本学園大学招聘教授)、谷口 絹枝氏(日本近代文学研究者)

八幡 彩子氏(熊本大学大学院教育学研究科教授)、平野 みどり氏(元県議会議員) ほか

[参加者] 20人(女性) のべ149人

②無料防災出前講座「熊本地震を経験した私たちが提案する男女共同参画の視点に立った防災」

[内容] 過去の災害の教訓をもとに、男女共同参画の視点に立った防災を学ぶ講座を実施。2018年度に作成した「男女共同参画の視点に立った防災ポイント BOOK」を基本テキストとし、立場によって困難や支援の形が異なってくることを知り、それぞれができる防災、支援について一緒に考えていく方法で講座を実施。 [講師] 伊井純子、田中美帆(はあもにい職員) [参加者] のべ508人(8団体)

③男女共同参画基礎講座 熊本の先駆け女性に学ぶ「四賢婦人とそのフォロワーたち」

[内容] 女性の自立や地位向上に大きく貢献した「四賢婦人」。益城町出身の矢嶋家4人姉妹はのちに「肥後の猛婦」と称されるほど、進歩的な考えのもと多分野で活躍したことが知られている。講座では、さらに4姉妹につながる女性たちにスポットを当て、男女共同参画社会の礎を築いた女性たちについて学ぶ講座を実施。

[講師] 米岡ジュリ氏(熊本学園大学 外国語学部教授) [参加者] 16人(女性12人、男性4人)

④はあもにいフェスタ2021記念講演会「人生に効く脳科学 ~脳が創りだす 男女の誤解、人生の波~」

[内容] 人工知能の研究で明らかになった、男女の問題解決へのアプローチや視点の違いについての講演。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前録画した動画をYouTubeにてオンデマンド配信を行い、申込者限定で公開とした。

[講師] 黒川伊保子氏(株式会社感性リサーチ代表・人工知能研究者) [参加者] 485人(YouTubeの推計による視聴人数) 1025回視聴

⑤女性のキャリアとワーク・ライフ・バランス

令 | [内容] 熊本市男女共同参画センターの業務の紹介・講座主旨の説明。その後ワーク・ライフ・バランスについて、ワークを組み込んだ講義を出前講座で実施。 和 | [講師] 熊野たまみ氏(株式会社adapt next.代表、協働アドバイザー、コミュニティ・カウンセラー) [参加者] 32人(女性)

⑥はあもにいメンズカレッジ ~今こそ深く学びたい 男女共同参画とダイバーシティ~

度 「内容」 男女共同参画社会の実現のために、男性の意識や企業・組織の環境・制度を変えることと女性へのエンパワメントは両輪で必要。ウィメンズカレッジと全回合同で開催し、企業の成長戦略としての男女共同参画、SDGs、LGBTなど男女共同参画とダイバーシティについて学ぶ機会を創出する講座とした。第1回:男 女共同参画の基礎知識~いま、なぜ、どんな男女共同参画なのか 第2回:SDGs×ジェンダー平等×ダイバーシティ&インクルージョン第3回:多様性を認め合う社 会~LGBTの基礎知識

1 [講師] 第1回:鈴木桂樹氏(熊本大学法学部名誉教授) 第2回:熊野たまみ氏(SDGs de 地方創生ゲーム公認ファシリテーター) 第3回:森あい氏(弁護年 士・〈まにじメンバー) [参加者] 17人(男性) のべ28名

▽ | ⑦市民グループ企画③ ~仲良く元気で暮らす為に~ 秋の彩りサロンinはあもにい2021

【「内容】 第1部:ピアノ、声楽、チェロ、アンサンブルコンサート 第2部:SDGsにおける男女共同参画、LGBTQ、性差について各世代間で意見を交換するグレープワークを実施。

⑧男女共同参画週間 パネル展示

[内容] 6月23日~29日の男女共同参画週間の期間中、男女共同参画社会について一般の方に理解を深める機会を提供。身近にある題材を4コマ漫画にした「男と女の△劇場」(はあもにい通信で連載中)のパネルや「ワーク・ライフ・バランス」「DV」「デートDV」などテーマにしたパネルを展示。また、情報資料室と連携し、今年度のテーマ「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」をふまえた推薦図書を紹介した。

9はあもにいフェスタ

3

[内容] 男女共同参画のわかりやすい啓発、また、熊本市男女共同参画センターはあもにいの機能周知、市民ニーズを捉えたイベントとするため、参加市民団体と協働で2日間実施。

(1)男女共同参画に関わる活動をする市民団体によるセミナー、バザー、ワークショップ等 (2)男女共同参画に関するクイズ(館内およびオンライン) (3)オンデマンド講演会(別報告ページあり)

[参加団体] 市民団体25団体(うち2団体が新型コロナウイルス感染不安を理由に途中辞退) [参加者] 2日間のべ1093名

⑩はあもにい提供ラジオ番組「なんだ~?ジェンダー!そ~なんだ!」

[内容] 毎月第3・第4土曜日10:40ごろからRKKラジオ「糸永・大輔ラジオやってます」内で放送中(約5分間)。はあもにい職員とパーソナリティーがさまざまな視点から「ジェンダーってどんなこと?」をわかりやすく語り合う。また第1週と第2週は講座やイベント案内などのインフォメーションを放送。過去の放送は、YouTubeで視聴可能。

⑪ミモザウイーク

「内容」 3月8日の「国際女性デー」を記念し、国際女性デーおよびはあもにいの役割や活動の周知のための展示やクイズ等を実施。全ての女性がいきいきと、自分の個性や能力を発揮できる社会をめざすことをコンセプトに行った。(1)映画上映会「大コメ騒動」(2)男女共同参画クイズ(3)国際女性デー、男女共同参画に関するパネル制作、展示

[参加者] (1)89名(申込125名) (2)クイズ参加者266名(館内116、ネット150)

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座・イベント数	回	_	11	11	11	11	Α
	セミナー・講座受講生数	人	_	1031	1162	2687	1000	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座・イベント数: 数値目標を達成しているため 評 セミナー・講座受講生数: 数値目標を達成しているため

価の理由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①人権、政治、SDGs、地域社会などさまざまな観点から男女共同参画社会について考える10回連続講座を実施。アンケート回答にはいつも新鮮な驚きがあり、また気付きを得ている様子が見て取れた。講座後半の文章講座の課題提出では、男女共同参画をテーマに基づいて書いてもらったが、最初の頃にはない、多様性のある視点とそれに対する自分の意見の広がりが見られるようになっていた。

②「防災」という切り口から、また、出張講座とすることで、性別年代を問わない多種多様な立場の団体が受講。防災をテーマにすることで、当センターの事業内容や男女共同参画の重要性を身近な内容として聞いてもらえることができた。実施後の感想からは、女性をはじめとする多様な立場の人たちが意思決定の場へ参画することの必要性が伝わっている手応えを感じた。

③熊本の歴史・偉人、その中でも主に女性たちが残した先駆的な業績と生き方について学ぶことで、男女共同参画社会について考えるきっかけとなった。高齢層が 多いものの、オンライン開講は少しフォローを行うと問題なく参加でき、コロナ過でも学習の場を安心して提供できた。

④脳科学という話題性のある切り口で講演会を実施。より多くの市民に「男女共同参画」「女性活躍」などを考えてもらう場となった。集合ではなく、オンデマンド配信としたが、好きな時間に、また、繰り返し視聴できる点が非常に好評だった。最後にオンラインクイズとアンケートを結び付けたことで、視聴しっぱなしではなく、受講後の感想も多く集めることができた。

⑤九州ルーテル学院大学3年生32名を対象に実施。卒業・入学・就職・出産などこれからさまざまな人生の転機を迎える学生に対して、ワーク・ライフ・バランスだけにとどまらず、男女共同参画、SDGs等のキーワードや考え方のヒントなどを伝えた。アンケートからは「卒業論文で取り組みたい」など、男女共同参画への意識・関心が高まったことを感じられた。

☆ |⑥ジェンダー問題や男女共同参画について学ぶ機会が少ない、企業で働く男性を対象に啓発講座を実施。企業の成長戦略としての男女共同参画、SDGs、LGBTな □ |ど、「男女共同参画とダイバーシティ」について学ぶ機会を創出し、受講生同士の意見交換の時間も多くもうけた。「男女共同参画社会の質を問うポイントは男性自 ፩ |身の人生にある」という講師の話など、参加者からはとてもわかりやすい講座だったという声が届いた。

「⑦市民グループが考えた企画をはあもにいが助成。参加の敷居を低くするため音楽療法を取り入れ、後半、男女共同参画、LGBTQ、ジェンダーレスなどについて | 異世代交流会を実施。10代~80代までの男女が参加。「難しい言葉をやさしくわかりやすく話してくれた。一人一人が考えることから、ジェンダー平等につながるので | いいと思った」などのアンケート回答があった。

®漫画で考える男女共同参画「男と女の△劇場」に加え、「ワークライフバランス」「DV」「デートDV」などをテーマにしたパネルも展示。また、情報資料室から週間の分け、マッチフレーズ「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」をふまえた推薦図書を紹介。貸館などではあもにいを訪れた人が、パネルを読むことで啓発が、「につながる場を作ることができた。またマンガについてはさまざまな地域から「わかりやすいので自分たちも紹介したい」などの問い合わせがあっている。

③コロナ禍で規模を縮小して開催。フェスタクイズに会館施設や機能などを知ってもらう内容や男女共同参画を考えるきっかけとなる問題を盛り込むなど工夫。参加 団体からもクイズ問題を募集し、男女共同参画を考えるきっかけづくりを行った。参加者からは「こういうイベントに参加することで、普段はなかなか考えなかったこと を考える機会になり、参加してみたいと興味がでた」「イベントがなければ家族でこういう場所に来ることもなく、わざわざ学ぶ機会というのもないので、家族でイベント に参加するという軽いキモチで、夫にも将来の夫になる息子たちにも女性と仲良く暮らす考え方を身につけてもらえればと思った」などの声が寄せられ、ただ楽しむ だけでなく、学習のきっかけとなっていることも伺えた。

⑩無意識のうちに刷り込まれているジェンダーに気付き、ジェンダー平等の重要性を、気軽に楽しく知ることができる番組をラジオを通じて発信。5分コーナーということで、特にジェンダーに関心がない人も、番組の流れの中で自然に聞いてもらえる利点がある。クイズやランキング、流行語大賞などを取り入れる等、さまざまな工夫を凝らしている。ラジオ聴取者数(2021年6・7・8月平均)約480人。リスナーの男女比(ライブ放送)は男性:女性=88%:12%、男性の40・50・60代が特に多いとラジオ局から報告あり。まだ数は少ないが、メールによる感想も届いている。

①3月8日の「国際女性デー」を記念し、全ての女性がいきいきと、自分の個性や能力を発揮できる社会実現をコンセプトに開催。国際女性デーやはあもにいの役割、活動の周知のための展示やクイズラリー、映画上映会等を実施。「クイズを通して、自分が知らず知らずのうちに抱いていた思い込みや性別の役割意識を見直すことができた」「ミモザウィークというのを初めて知りましたが、こういうイベントがあると現状を考えたり、過去にいろんな形で奮い起った人がいるからこその今の世だと感謝する機会となり良いと思う!」などイベントを通して男女共同参画を知るきっかけになったという声が届いた。

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

年度課題

の

取り組み状況

題

和 ・ジェンダー平等を学ぶ講座において男女が意見交換する機会がほとんどないこと(ウィメンズカレッジとメンズカレッジを別々に実施しているため)。2

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

•3回のメンズカレッジをすべてウィメンズカレッジと同日に開催し、共に学び、意見交換する機会を設けた。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①コロナ禍で進まなかった、期を超えた修了生との交流や意見交換の場の創出。

②情報のアップデート、テキストリニューアルの検討。

③参加層の40%が、60~70代。若年層の参加率アップ。

④男性参加者が15%と少なく、男性への訴求が課題。

⑤女性も定年まで働くことが当たり前という感覚が浸透し、また、ジェンダーという単語を耳にする機会も増えたものの、ジェンダーそのものに対する理解は今後も啓 発が必要。

⑥ウィメンズカレッジと合同で行ったところ、意見交換する場は確かに増えたが、男性の自主的な参加が少なく、参加者が伸び悩んだ。男性の目にとまるような魅力 ある講座となるように、内容、時間帯、開催方法などについて検討。

令 ⑦意見交換でもう少し深掘りできるよう、事前の打ち合わせを詳細にすべきだった。

和 8週間中、パレアでは鶴屋百貨店地下通路の壁面にパネル掲示していた。今後は掲示する場所についても検討していきたい。

3 ③コロナ禍の大規模なイベント行事によるさまざまな配慮。

F | ①テーマを厳選し、分かりやすく、親しみやすいアレンジで伝えることに努めていきたい。

度 ①PR活動やイベント実施がコロナ禍により縮小せざるを得なかった。

の L 取 【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①フォローアップ講座や講座内グループワークの復活。

みる参加者層を意識した企画検討。

方(多より多彩な対象、年代が参加を希望する講師の選定。

針 ⑤若年層に啓発できる機会のための学校連携。

⑥昨年度の課題を踏まえ、企業の経営者や総務人事担当者が研修として参加しやすい日時(平日午後)を検討。ウィメンズカレッジと合同講座も企画し、グループ ワークで男女間の意見交換を行う機会を持つことで、多様性の重要性の理解を深めることを期待。

⑦市民グループ企画のため、例年内容変更。

⑧展示場所の拡大について検討。

⑨前年度の経験を活かし、コロナ禍でも安全・安心に参加できるイベントの実施。

⑩メールや聴衆層を踏まえたわかりやすいシナリオ作成。

①感染症への対策など、あらゆる環境においても男女共同参画の推進につなげられるよう、オンライン参加型のイベントや動画配信などを交えて計画する。

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

施策の方向性	I 教育	や啓発を通じた男女共	同参画の推進					担当部署	
体的施策 2 男女共同参画への理解を広げる啓発・学習の充実									
収り組みの名称									
^守 和 学校及び幼稚 学級 学級保 学習領域(テ 度 ウイルス感染:	≧育成に役 園・保育園 獲者数:723 ·一マ)は、 症の影響に	立てることを目的とし、年間: を単位として開設するもの。 3人】 家庭のあり方、子どもの心身:より開設学級数が激減した 体験型講座など計87件の学	(学級開設者:熊 ∤の発達、健康的¤ :中でも、学級生の	本市教育委員会 な生活、親子のふ ニーズや子育で	実施機関:公設公 れあい、人権、環 ¹	、民館 学級開設は ・	交代表者∶校長・ 多岐にわたる。今	園長)【開設学級数:4 う和3年度は新型コロナ	
指	標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一	
参 	数育学級数 数	学級数	80	79	25	45	80	Z	
盲 ————— 票									
男女共同参画 依然としてコロ 3 年度事業の分析	の視点を けウイルス	当まえ事業の分析を行ってく くの影響で事業規模が縮小し	ださい。 している。また、男	性加入率が4%と何	払い水準になって い	い る。			
D N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 感染対策などを実施することで開設学級数は回復傾向である。								
3 年 夏 果 夏 、	域少した学	級数から回復傾向にあるが		準には達していな	l,				
		こおける上記課題への取り 終対策など実施して、学級数		している。					

参	
参画会譲の意見	
会	
譲	
σ	
意	
見	

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署			
具体的施策	2	男女共同参画への理解を広げる啓発・学習の充実	丰小左 粉			
取り組みの名称 ④ 家庭教育に関する学習機会の充実		青少年教育課				
①家庭教育セミナー						

3

0 2

年 度

実 施 概 要

家庭教育力の向上のため、学校や保護者会等の求めに応じ、主に小中学生の保護者を対象に、子どもたちの持つ悩みや子どもへの接し方、社会的ルールやし つけ等を学ぶ講座を実施している。専門講師による講演会型と、保護者間の交流を中心としたワークショップ型がある。 和 近年、コロナ禍で申し込みが激減しているため、家庭教育の講話を収録し、熊本市教育センターのYouTubeチャンネルを通じ動画配信した。

②・家庭教育地域リーダーフォローアップ研修 度

|地域の核となって家庭教育を推進する「家庭教育地域 リ ―ダー」の フォローアップ研修用の動画を収録し、熊本市教育センターのYouTubeチャンネルを通じ動画 2 |配信を行った。

4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	家庭教育セミナー	回	72	70	5	7	増加	Z
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

新型コロナウイルスの影響で、申し込み数が激減。

コロナ禍前の状況(年70回程度)から回復していない。

価 の 理

由

年 度 事 業 の 分 析

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

家庭教育セミナーの各講師からは、子育ての楽しさや、各家庭の実情に応じた役割分担の重要性等について触れており、男女共同参画の推進に資する内容であ るものの、新型コロナウイルスの影響で、利用回数は依然として少ない状況。 3

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

集合形式での講座開催が難しいため、保護者が家庭教育について学ぶ機会が減少している(家庭教育セミナーの実施回数の減)。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

「家庭教育セミナー」で依頼実績の多い講師による講話を収録し、熊本市教育センターのYouTubeチャンネルを通じ配信を開始した。

【講師/演題】

①水野 直樹 氏/「こころのものさし~固定観念は知らないうちに~」

②野田 幸孝 氏/「家庭・学校・地域の役割と連携」、「家庭・学校は生きる練習場」

③古閑 智子 氏/「成長期の子どもたちの心理・子育てって楽しいな」

④松川 由美 氏/「SNSやゲームとの上手なつきあい方・大人も学ぼうネットモラル」

状

組

2

年度課題

題

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

新型コロナウイルスの影響で、申し込み数が激減したままで、コロナ禍前の状況(年70回程度)から回復していない。

の 【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

当面は動画コンテンツの充実に努める。

組 2 方 針

#	÷	
12	7	
1 個	fi I	
1 5	= I	
14	<u>-</u>	
7	`	
1 1	恙	
D-3	玫	
0	ומ	
1 ×	.	
1 4	돌 l	
70		
ΙE	∄ I	
7	C	

日 煙 だれもがともにいきいきと 個性と能力を発揮できるまち

施策のフ	方向性	I	教育や啓発	 を通じた男女共	同参画の推進					担当部署
具体的放	施策	2	男女共同参i	画への理解を広	げる啓発・学習の	の充実				- 男女共同参画課
取り組み	みの名称	⑤	男女共同参	画の視点に留意	した情報発信					一 男女共同参画課
ᇫ •男3	女共同参画	圓の推	É進に向けた情	広報物表現ガイド 報の提供者である ようにしている。	ライン」の掲示 る行政の認識が重要	そであるため、「 !	男女共同参画の視	点による市政広幸	服物表現ガイドラ [、]	イン」を作成し、情報発
*	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 ─── 考 指 ─── 標		_		-	-	-	-	-	-	_
					自己評価の評価基準	:: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z 3	新型コロナウィルス <i>の</i>	-
予和3年度事業の分析 男活	女共同参區 5用した各部	画の視 果へ <i>の</i>	見点による市政) 周知が必要。			- 掲示板等を活	用した各課への周9	印ができていない	。今後は、内容を	・ 改訂しつつ、掲示板等
和2年度課題	女共同参阅	画の礼		現について、引き	続き各担当課に理解	解を促す必要が	ある。			
の取り組み状況	係各課への	の周知	口が十分にでき		組み状況】					
和3年度課題へ	型コロナウ 今後新型=	ロナ	ウイルス感染	影響から会議等で 広大が収束を見せ	る中で、掲示板等で	男女共同参画 <i>0</i> ぎのさらなる周知)視点による市政広 方法の検討が必要	る報物表現ガイドラ と。	ライン」の周知が [・]	できていない状況であ
取り組み方針	男女共同参	·画の	視点による市正		ドライン」の関係部署					
参画会議										

施第	での方向性	I	教育や啓発を	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>						担当部署
具体	k的施策	3	地域における	る男女共同参画	の推進					地域活動推進課
	組みの名称				まちづくりサポー	-ターなどの	人材の育成と活	用		各区総務企画課
令和3年	【中央区】33人 ②若い世代の	(全体 まちつ	なの13.6%) づくり担い手育月	龙	の5.0%) 【南区】3				5名から応募があり、2	西区フェスタの運営に
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標		_		-	-	-	-	-	-	-
指標										
					自己評価の評価基準	: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない	Z 新型コロナウィルスの	影響により規模等縮小 ↑
令和3年度事業の分析	【西区】 これまでまちつ	うくり 清				参加することで	、きっかけにもなり、	. まちづくりへの)関心を高めることが	できた。
	【西区】				は中止となったため	か、十分な検証	ができていない。			
への取り組み状況	【西区】 新型コロナウィ	イルス	感染症まん延				見催し、これまでまな	ちづくり活動に	あまり参加していない	若い世代がまちづくり
	【中央区】		F度)に残った記せ代をまちづく			さちづくり活動や	地域活動に関わり	の少ない区民	 のまちづくりへの関心	かを高めることが必要。
の取り組み方針	【中央区】 まちづくりワー 【西区】	クショ	ップに大学生等						ェイスブック等を活用	し、情報発信を行う。
参画会議の意見										

施策の方向性	Ι	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	3	地域における男女共同参画の推進	熊本市男女共同参画
取り組みの名称	1	男女共同参画地域推進員、まちづくりサポーターなどの人材の育成と活用	センターはあもにい

①第8期はあもにいウィメンズカレッジ(全10回)

[内容] 熊本市における男女共同参画社会の実現を目指し、政策や方針決定の場に参画し、活躍できる指導的地位に立つ女性人材の

発掘や養成を目的として開講。2021年度で8期となる。

澤田 道夫氏(熊本県立大学総合管理学部教授)、鈴木 桂樹氏(熊本大学法学部名誉教授)

野田 恭子氏(Career Wave代表/熊本学園大学招聘教授)、谷口 絹枝氏(日本近代文学研究者)

八幡 彩子氏(熊本大学大学院教育学研究科教授)、平野 みどり氏(元県議会議員)ほか

[参加者] 20人(女性) のべ149人

〕│②無料防災出前講座「熊本地震を経験した私たちが提案する男女共同参画の視点に立った防災」

2 [内容] 過去の災害の教訓をもとに、男女共同参画の視点に立った防災を学ぶ講座を実施。2018年度に作成した「男女共同参画の視点に立った防災ポイント BOOK」を基本テキストとし、立場によって困難や支援の形が異なってくることを知り、それぞれができる防災、支援について一緒に考えていく方法で講座を実施。

[講師] 伊井純子、田中美帆(はあもにい職員) [参加者] のべ508人(8団体)

(3) 対話の手法を使って主体性を発揮しよう! ファシリテーション講座(ウィメンズカレッジフォローアップ講座)

☆ | [内容] ワークショップにおける合意形成の進め方を学び、実践する講座。多様な意見を出し合い、発表するプロセスを体験。また、自らの意見を人前で発言す 概 |る練習の機会とした。

| [講師] 平田隆之氏(NPO法人市民プロデュース理事長) [参加者] 15名(女性)

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座・事業数	回	1	4	3	3	3	Α
	セミナー・講座・事業参加者数	人	ı	902	754	672	200	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座・イベント数: 数値目標を達成しているため セミナー・講座受講生数: 数値目標を達成しているため

価の理

由

分析

年度課題

取

り組み

課題

方 針

和

3

年

度

2

度

要

[講師]

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 ①2021年度受講生を含めた修了生の審議会等への参加報告は6件(※任意報告)。その他、県の男女共同参画推進員や市町村のさまざまな分野の推進員として 活動している、あるいは職場で新しいことにチャレンジしているなどの報告が寄せられている。

o | 全 | ②2021年度は、防災に取り組む地域団体などが防災研修の計画を練り、申し込みを検討していたものの、コロナ禍で実施が不可となった。その代わり、指定管理に | 皮 | よる公共施設運営団体からの申し込みが2件あり、自分たちが働く現場が避難所になった場合や、被災者対応に当たる必要が生じた時の多様な視点を講座で共有 | 事 | することができた。こうした施設職員が災害時に男女共同参画の視点を持った支援者人材となることを期待して、引き続き啓発を行う。

賞 ③政策・方針決定の場に参画し、地域や企業のリーダーとして活躍する女性人材の発掘・育成を目指すウィメンズカレッジ修了生・受講生のフォローアップ講座として実施。満足度は100%と高く、「今後の地域活動に役立てたい」などの感想が出ていた。

冷【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和・ウィメンズカレッジ修了生の活躍の場の確保。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・ウィメンズカレッジカリキュラムに修了生を講師として招き、活動の場を提供。さらに異なる期の受講生との交流の場を設ける。

・OG会組織の活動への協力。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①審議会情報や、審議会についての情報共有資料の見直し

②コロナ禍による地域活動停滞。中学や小学校など若年層への啓発。

③広報不足による定員割れ。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

| ①講師からの説明追加や共有資料の作成。

②地域活動団体や学校関係への出前講座の案内。

3早期の広報準備及び対象者を絞った有効な告知。

参	
画	i
会	
議	
の	
意	
参画会議の意見	

施領	後の方向性	「向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進 担当部署									
具体	卜的施策	3	地域における	5男女共同参画(の推進					男女共同参画課	
取り	組みの名称	1	男女共同参画	回地域推進員、	まちづくりサポ-	-ター等の人	材の育成と活用			万	
令和3年度(2021年度)実施概要	•令和3年度	地域:	戦を広く浸透させ 推進員数 14名 阻み実績 なし		の核として、意識啓養	発活動などを行	い、市がそれを支持	爰する「男女共同	引参画地域推進員制	度」がある。	
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参考指標			進員等と連携 の参加者数	人	238	55	0	0	200	С	
指標	0,011,311,	<u>,</u>									
					自己評価の評価基準	: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z	:新型コロナウィルスの影	じ響により規模等縮小 ↑	
理由 令和	男女共同参画 令和2年度(i	iの視 こ、男	点を踏まえ事業 女共同参画地域	きていないため の分析を行ってく ば推進員へ継続意 、男女共同参画:	向調査を実施した。	 ところ、136名の を広めることは	登録者のうち14名 難しく、状況を注視	へ減少すること。 しながら、男女共	となった。 は同参画地域推進員	を募集するにあたり、	
中度事業の分析令	地域推進員の 【令和2年度(2	活動	内容を見直す必	多要があると考える	5.						
和2年度課題					実施できていないこ	とから、活動が	できていない状況	である。			
への取り組み状況へ	令和3年度もから、各区と追	別き	続き、新型コロラ た事業が実施で	きていない。		研修が実施で	きず、各地域におい	ヽても感染防止 <i>の</i>	Dため活動ができる	見込みがなかったこと	
和3年度課題へ	新型コロナウラ後は、地域	7イル 或推進	員の在り方を含	双束を見せない中.含めて活動内容の	、地域推進員の数も検討が必要である。		な啓発が見込めな	い状況である。			
の取り組み方針	地域に対する	る他部	その取り組みを 参		活動内容を見直し、 材						
参画会議の意		••••••									

施第	後の方向性	方向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進 担当部署									
具体	本的施策										
取り	組みの名称)					i施設における男3	女共同参画に関	する事業の展開	地域活動推進課	
令和3年度(2021年度)実施概要	地域コミュニ	ニティ	センターの新設	にあたり、当該地	設にかかるワークショ 域の活動に有効な放 書面開催による意見野	施設とするため	、地域住民の代表 更して実施した。	によるワークショ	ップを実施した。		
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	 実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参考指標	地域コミュニテ	 数	センター利用者	人	1,261,648	1,141,938	484,312	239,232		_	
指標		200									
					自己評価の評価基準	: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z	新型コロナウィルスの影	影響により規模等縮小 ↑	
評価の理由		- 15				_					
令和3年度事業の分析	(仮称)熊本市 【参加実績】 1回目:16 ※2回目:15 2回目:15 3回目:18 4回目:18	大 人降人人人(工 男は男男	地域コミュニティ 引 8人、女8人)	ルス感染拡大の 、) 人) 、)	ください。 にかかるワークショッ ため書面による意見		、性が多く参加し、デ	舌発な意見が出る	された		
和	(平成29年度点	からの			〜30歳代の参加者が	うかなかった。					
への取り組み状況	ワークショップ	委員	20名のうち、女		り組み状況】 いており、そのうち4名	名は子育て世代	犬の参加者であった	- 0			
和3年度課題へ	気軽に参加で	きる。		、時間帯等を考慮	憲し検討していく。						
の取り組み方針	【令和4年度(2 開催回ごとにほ	2022 ³ 诗間寺	∓度)における <u>1</u> 帯を変えるなどの	:記課題への取り D工夫を検討する	J組み方針】 5。						
参	••••••	••••••	•••••	••••••		•••••					
画会議の意見											

		目:	標 だれもがとも	こいきいきと	:、個性と能力を発	発揮できるまち				
施領	きの方向性 のおり かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	I	教育や啓発を通	じた男女共	同参画の推進					担当部署
具体	本的施策	3	地域における男	女共同参画	の推進					子ども支援課
	組みの名称 児童館	2	公民館、児童館、地	!域コミュニラ	ーィセンター等の地 ^は	域の拠点施設にお	おける男女共同参画	に関する事業の	展開	1 C 0 X 1 X IX
令和3年度(2021年度)実施概要	児童館にお		季節に応じた行事や を行った。また、母親					、小学生を対象	とした児童クラブ活	動、子育て支援に関す
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	 実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値(R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指		_		_	-	-	_	_	-	_
指標										
					<u>Ⅰ</u> 自己評価の評価基準	集: A 順調である	 B あまり順調でない	C順調でない	 Z 新型コロナウィルスの	■ 影響により規模等縮小 ↑
理由 令和3年度事業の分析 令	児童館 新型コロナワ 事により、健全	ウイル 全育 成	点を踏まえ事業の名 スの影響により休館 と子育て支援に取り	でしたが、開館 り組む事が出	宮中は感染防止対策	策を講じながら、	児童館行事や朝の	活動、児童クラ	が活動、子育で支援	爰事業を企画運営する
和2年度課題	児童館 継続して子う 新型コロナワ	育て支 ウイル	援に関するサービススの影響により、予	スの充実に努 定していた行	事の中止や延期か	「相次いだ。また	、コロナ禍でもでき	る新しい取り組	みを行う必要がある) _o
权	児童館		年度)における上記記 ま、おもなの貸し出			辺介かど 海中生	ンエキレ威込み等を	はまじかがら 東世	きた継続オスーレベム	├―ビスの充実に努め
り組み状況	た。		も、あもらやの負し。 ジや SNS を活用する							こハックル大ドスの
令和3年度課題く	児童館		∓度)に残った課題】 ∶援に関するサービン		める必要がある。					
の取り組み方針	児童館		年度)における上記記 支援に関する情報抗			の特色を活かし	た催しを実施するな	ょど、利用者の:	ニーズに応じた活動	を行なっていく。
参画会議の意見										

施領	乗の方向性 である	I	教育や啓発を通	 負じた男女共[司参画の推進					担当部署
具体	本的施策	3	地域における男	女共同参画(の推進					田七井日名南部
取り	川組みの名称	3	地域における女	(性の参画に)	かかる好事例の愉	青報提供				男女共同参画課
令和3年度(2021年度)実施概要	本年度の男: 男女共同参画 テーマ:①「! 日 時:令和 場 所:熊本	女共同 週間 明2年6 日3年6 日3年8 日3年8	記念講演会)ワークライフバラン 月26日(土)〜令利 式youtubeオンラッ なさん(ファザーリン	マは「女だから、 レスを考える」 D4年3月31日(ス イン配信	、男だから、ではなく ②「パパの子育て!	家族の子育て」	時代へ。」			
4	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指		_		_	-	_	-		_	_
標										
					自己評価の評価基準 	E: A 順調である 	B あまり順調でない	C 順調でない Z	新型コロナウィルスの影 	ジ響により規模等縮小 ↑ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価の理由	男女共同参画	の視	点を踏まえ事業の	分析を行ってく	ださい。	- 		o 羊砂 (- 1- 1- 1- 1- -	` _ + _ + _ + _ + _ + _ + _ + _ + _ 	(n こ フ ー) よごマ +8 ナ ↓
:和3年度事業の分析	育児・介護 ることから、男 また、youtub	休業》 性の peを活	ま」の改正法案が原育児、ワークライフ 育児、ワークライフ 用し、配信期間を	な立し、今後、「 バランスについ 長期間確保した	男性版の産体の新 って精通している講 ことから、対面で <i>の</i>	設」や「育児休」 師による講演を D講演会に比べ	₹取得の意向確認○ 行った。 多くの方が講演をネ	の義務付け」など現聴した。	、大きな転換期を対	望えることが予想され
令和2年度課題			∓度)に残った課題 場合は、リアルタイ		≹画配信で視聴者 <i>σ</i>)都合に合わせ	た聴講ができるなと	ご工夫が必要と考	きえる。	
への取り組み状況	講演では、事 令和2年度2	事前収 40人:	⇒令和3年度549人	とし、視聴期間	組み状況】 かを長期間確保した。	ことで、令和2年	E度に比べ視聴者数	女が増加した。		
和3年度課題へ	女性の社会	進出力		上き方に対する	考え方は未だ仕事	中心である傾向]が強いため、男性	目線での男女共	同参画の啓発が必	要である。
の取り組み方針	【令和4年度(i 男性学の視	20 <u>22</u> 4 点から	∓度)における上記 ら講演できるよう講	課題への取り組 師の選定を検言	組み方針】					
参		••••••								
画会議の意										

施領	(もの方向性)										
具体	本的施策										
取り	J組みの名称	4	PTA活動等	F地域活動への 5	男性の参加の促	進				土涯子自誅	
令和3年度(2021年度)実施概要	 申請回数: 参加費代: 材料すけーク プレイリーク プレイパーク 各地域で開催 	3回 416名 89,282 ダー派 ダー養 ブー表	(うち、子ども29 2円 (遣回数:1回(1 成講座(全4回) いて、子どもたち るプレイパークに	の協調性・自主性	※男女別の統計 *・創造性を導き出		プレイリーダーを養	:成する。修了者は	は、熊本市プレイリ・	ーダーとして登録し、	
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参考指標		-		-	-	-	-	-	-		
標											
				I	自己評価の評価基	┗━━━ 準: A 順調である	B あまり順調でない	C順調でない Z業	新型コロナウィルスの影	5響により規模等縮小 ↑	
評価の理由											
令和3年度事業の分析・	新型コロナウ	男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3回しか申請がなかったが、いずれも主催者は男性だった。また、プレイリーダー養成講座は中止した。									
2年度課題				もあり、申請回数カ							
への取り組み状況	【令和3年度(プレイパーク)	2021 ³ 舌動仮	∓度)における上 ≟進のため、材料	:記課題への取り約 費の支援やプレイ	祖み状況】 イリーダーの派遣	を行った。					
令和3年度課題へ	新型コロナウ	イルス		もあり、実施回数カ							
の取り組み方針	【令和4年度(プレイパーク)	2022 ³ 舌動仮	∓度)における上 ≧進のため、材料	:記課題への取り約 費の支援やプレイ	組み方針】 イリーダーの派遣:	を引き続き行うとと	 :もに、プレイリーダ	 ダーの養成を行う。			
参	······	••••••						•••••	•••••		
参画会議の意見											

	1 1	教育や啓発で	を通じた男女共	同参画の推進					担当部署
体的施策	3	地域における	る男女共同参画						地域活動推進認
り組みの名称	4	PTA活動等	等地域活動への	男性の参加の促	 足進				各区総務企画語
【東西南区 日本	臭口ググロ AMMコココロ AMMコロ存密自 続口くくロ 長コロロロロ 議コロ存密自 なけりりナ 研ロナナナナ ・ロナ在に治	しっています。 しっています。 しっています。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	を開催(令和4年1年)を開催(令和4年1年)を開催(令和4年1年)を開催(実施を開発)を開発を開発を開発を開発を開発を開発を表が、できる。と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、	た。 パネルディスカッショ パネルディスカッショ 1月8日火の君会 かった。 かった。 ない。 たったた。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 がったかった。 がらかった。 かった。 かった。 かった。	ホール)。 へ町内自治会の手 :活動の手引き等を かった各校区自治 参集することとし、	は議会定例会に 定例的な連絡会に	舌動の手引きを郵う 参加して区役所か	送した。	生化を図ることを目的
指	コロナ「 標		により実施できな	かった。 基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z
	_		_	-	-	-	-	-	_
【中央区】新型二 【東区】新型二 【西区】新型二	型コロー コロナ・ コロナ・	ナウイルスの影 ウイルス感染拡 ウイルスの影響	で開催できなかっ	いった。 組みを実施するこ った。			. – , + 88/41, 4		₩ >>-
【中央区】新型 【東区】新型二 【西区】新型二 【南区】新型二 に対する機運	型コロ・ コロナ・ コロナ・ コロナ・ 国の醸	ナウイルスの影: ウイルス感染拡: ウイルスの影響 ウイルスの影響 成につなげるこ	響で実施できなか 大の影響で、取り で開催できなかっ により新任自治会	いた。 組みを実施するこ た。 €長研修会等は開作。			ォーラムを開催しら	先進的な事例を:	学ぶことで、自治会
男中東西南京北 「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	型コロロのログラスででは、10kg 10kg 10kg 10kg 10kg 10kg 10kg 10kg	ナウイルルスなのが、	響大ではように 響大ではよりでする。 での開りでりますがよりではよがよりではよがよりではまがよりでは、 変形でででではまがまりででででな自。で をするがは、 がは動研をでいる。 では、な自。で をするがは、 ででは、な自。で をするがは、 ででは、な自。で をするがは、 ででは、な自。で をするがは、 ででは、な自。で をするがは、 ででは、な自。で をするがは、 ででは、な自。で をするがは、 ででは、な自。で をするがは、 ででは、な自るがは、 ででは、な自るがは、 ででは、な自るがは、 ででは、な自るがは、 ででは、な自るがは、 ででは、な自るがは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 では、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 ででは、なものでは、 では、なものでは、 では、 では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。	いった。 組みを実施することを実施することを実施することを実施することを会等は開作を表した。 「おいった。を会のでもないでもない。」 は、一般ででもない。 は、一般ででもない。 は、一般では、一般では、一般ででもない。 は、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	催できなかったが、 高齢者で 高齢が、 高齢が、他自治・ をの解消、他自治・ で安解消を図り、IC 環境を構築させる ったが、町内自治会	南区まちづくりファックでICTに不安を感じポート体制の構築会との情報交換。I	こる幅広い年代の語 自治会役員の高齢 しやすい自主自立 LINE講座等を開作	不安解消を図る 合化問題。さらに のまちづくりを推 催することを計画 の配布やまちづ	コロナ禍での新たな

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

施策の方向性 具体的施策 取り組みの名称	_	叙目で含光を	: 囲した男女共	:同参画の推進					担当部署
	3	地域における	男女共同参画	 o が が し し し し し し し し し し し し し し し し り し り					
V) 11 11 11	⑤	男女共同参画		もにいと連携し	た各区での啓	発事業の実施 発事業の実施			── 男女共同参画課
_令 に男女共同領 和 避難所の運	参画の	D視点とともに、 Eかす機会とな	障がい者や妊 るため、各区や	婦、LGBT等の災 危機管理防災総	ミ語弱者に対する 記室と連携し、合	が対応について学 [、] 同開催をできれば	べる講座であるだ と企画していた	ため、災害時に 。	に災害時の避難所運 に開設する各区の指定 規模の講座を実施し
指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一
		点に立った防 各区実施	Д	-	-	-	7	284	Z
									の影響により規模等縮小
m 車 要があると考 度			後も男女共同参	き画センターはあき	もにい、各区役所	f、危機管路防災:	総室と連携しなれ	がら事業の実施	
業 D 分		いる。							徳に向けて取り組む 必
業の分析 所 令和2年度(実施実績な 実施実績な	Ϊl.	手度)に残った課							他に向けて取り組む必
業の分析 令和2年度課題への取り組み状況 (令実) (令実) (令ま) (令こ策) (本来として、注意ででで、注意では、注意では、注意では、注意では、注意では、注意では、注意で	なし (2021 ³ 第2次 :記の	₹度)に残った課 (ではまける上では、本市男女共事業を企画した。	記課題への取り 同参画基本計 とものの、新型:	画の具体的施策		こいるが、施策の質開催できていない		いなかったが、	
和2年度課題への取り組み状況令和3年度課題への取り組み状況令和3年度課題へのおり組み状況令和3年度課題へのおり組み状況令和3年度課題へのおり組み状況令和3年度第20年度が1980年度が1980年度に対している。1980年度に対しに対しに対している。1980年度に対しに対している。1980年度に対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに	2021年 第2次 記の 2021年 型コロ	手度)に残った課 手度)における上 (熊本市男女人 事業を企画した 事度)に残った課 ナウィルスの感	記課題への取り同参画基本計会ものの、新型に	画の具体的施策。コロナウィルスの	感染拡大により 		0		令和3年度の具体的
業の分析 令印2年度果題への取り組み犬兄 令印3年度果題への取り組み犬兄 令印3年度果題への取り組み犬兄 令和施 年末 和北と 一年 第一年 大田 一年 おおまし 年 新 一年 お	2021年 第2次 記の 2021年 型コロ	(また) (また) (まま) (まままを企画した) (まままま) (まままままま) (まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	記課題への取り同参画基本計会ものの、新型にものの、新型に表対により、	画の具体的施策。コロナウィルスの発力を受ける。 事業の実施計画 組み方針】	感染拡大により	開催できていない 	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	いば実施したい	
業の分析 令和2年度課題への取り組み状況 令和3年度課題への取り組み状況 令和3年度課題への取り組み状況 令和3年度課題への 4年度 (2021年 第2次 記の 2021年 型コロ	(また) (また) (まま) (まままを企画した) (まままま) (まままままま) (まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	記課題への取り同参画基本計画をものの、新型にものの、新型により、記課題への取り、記課題への取り、	画の具体的施策。コロナウィルスの発力を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	感染拡大により	開催できていない 、機材や人員の問業やサークル等の	引題を解決できれ の小規模人員での	の開催を積み	令和3年度の具体的

施領	策の方向性	I	教育や啓発	を通じた男女共	同参画の推進					担当部署
具作	本的施策	3	地域におけん	る男女共同参画	の推進					熊本市男女共同参画
取り	川組みの名称	5	男女共同参阅	画センターはあ	もにいと連携した	た各区での啓	発事業の実施			センターはあもにい
令和3年度(2021年度)実施概要										
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参考指標	各区での啓	発事第	美の参加者数	人		50			200	_
標										
	事業実施なし				自己評価の評価基準	≦: A 順調である 	B あまり順調でない	C 順調でない	Ζ 新型コロナウィルスの)影響により規模等縮小 ↑
評価の理由		6 4		t 0 /) T + 6 T	//××1 .					
令和3年度事業の分析・	事業実施なし			くさい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	(/ :					
令和 2 年 度課題	【令和2年度() 北区女性団体	2020 1 :連絡	∓度)に残った詞 協議会代表のⅠ	果題】 ピアリングの際、メ	シバーの高齢化や	病気、会員減少	かのため会の存続を	としないとの情報	報を得た。	
への取り組み状況	【令和3年度(注例年、所管課	2021st からの	∓度)における.)指示を受け、[上記課題への取り ⊠との連携を行っ [∙]	組み状況】 ていた。コロナ禍でも	もあり、事業実績	徳なし 。			
和3年度課題へ	例年、所管課	からの		⊠との連携を行っ [`]	ていた。コロナ禍でも	もあり、事業実施	色なし。			
の取り組み方針	【令和4年度(今後の連携に	2022 ⁴ つい	∓度)における _− て所管課に確認	上記課題への取り ₨。	組み方針】					
参		••••••	••••••					••••••		
画会議の意見										

施領	施策の方向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進 担当部署								担当部署	
具体	本的施策	4	男女共同参画の	視点に基づく	〈地域防災の推進	と復興体制	の確立			危機管理防災総室
取り	川組みの名称		男女共同参画の							各区総務企画課
令和3年度(2021年度)実施概要	熊本市地域 係る3つの方針 おいて、避難所	防災語の対象を	↑画では男女共同参 ②め、その中の方針② 公委員会への女性の	≶画の視点に基 2に"男女共同 ○参加等につい	らづく防災意識の向。 参画の視点に配慮 で周知を図った。	上を図ることとするとの、位置	しており、また熊本	・市避難所開設・	運営マニュアルにおまえ、避難所担当職	いては、開設・運営に 員向け研修時などに
	指	 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標		-		-	-	_	-	-	-	-
標										
					自己評価の評価基準:	: A 順調である	В あまり順調でない	C 順調でない Z	新型コロナウィルスの影	響により規模等縮小 ↑
評価の理由・	男女共同参画	」 の視	点を踏まえ事業の気	↑析を行ってくク	ざさい 。	-				
令和3年度事業の分析	避難所担当職 一定の理解を また、危機管理	は員向 得られ 理防災	け研修を実施するこれたものと判断する。 そ総室と各区総務企	ことにより、避難。 。 画課において	∮所開設・運営におり				同参画の視点が重望 構し、理解の促進を図	要であることについて、 図った。
令和 2 年 度課題	【令和2年度(注)避難所担当職	2020 <i>\$</i> 战員研	∓度)に残った課題】 修で欠席者がいるた	l こめ、全員に周	知できない。					
への取り組み状況	【令和3年度() 各区での研修	2021 ^会 や震	拝度)における上記詞 災対処実動訓練前の	課題への取りが の研修において	且み状況】 ⊂フォロ─している。					
和3年度課題へ	業務等の都合	により	手度)に残った課題】 リ、避難所担当職員	動画研修を受						
の取り組み方針	【令和4年度(注) 引き続き各区	2022 ⁴ と連携	手度)における上記 態し、動画研修の受調	課題への取り結 講徹底等に努る	∄み方針】 かるとともに受講期[間を延ばす等、	全員が受講できる	よう取り組んだ。	5	
参画										
画会議の意見										

		目 :	標 だれもが	ともにいきいきと	こ、個性と能力を発	揮できるまち				
施策	の方向性	I	教育や啓発を	を通じた男女共	同参画の推進					担当部署
具体	的施策	4	男女共同参画	回の視点に基づ	く地域防災の推済	進と復興体制の	の確立			
取り	組みの名称	2	女性地域防災	ミリーダーの育	成とネットワーク	ク形成への支持	援			各区総務企画課
令和3年度(2021年度)実施概要		の強化	化に向け、各地は		求するため、地域かん でも言及している(業		こ受講者を募り、防	ī災士資格の取 得	∳のための研修及	び試験等一連の業務を
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標	防災士養成	講座~	への参加人数	名	100	80	-	-	-	-
標										
					▲ 自己評価の評価基準	:: A 順調である	<u> </u> B あまり順調でない	C 順調でない Z	<u></u> 新型コロナウィルスの	影響により規模等縮小
予和3年度事業の分析 令和			点を踏まえ事業 年度)に残った調	の分析を行ってく	ください。					
2年度課題										
の取り組み状況				:記課題への取り	組み状況】					
和3年度課題へ			年度)に残った誤							
取り組み方針				:記課題への取り						
参画会議の意見										

施領	策の方向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進 担当部署									
具体	本的施策	4	男女共同参画	画の視点に基づ	く地域防災の推	進と復興体制	の確立			男女共同参画セン
	別組みの名称			とリーダーの育り						ターはあもにい
令和3年度(2021年度)実施概要	[内容] 道 BOOK」を基本	過去の トテキ	災害の教訓をなるとし、立場に	経験した私たちが もとに、男女共同参 こよって困難や支力 はあもにい職員)	参画の視点に立っ 爰の形が異なって	た防災を学ぶ講 くることを知り、そ	座を実施。2018年原 されぞれができる防	度に作成した「男が炎、支援につい	B女共同参画の視点 いて一緒に考えていく	に立った防災ポイント方法で講座を実施。
	指	 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標	出前講座の	の実施	· 受講者数	Д	-	-	269	508	200	Α
指標										
					自己評価の評価基	準: A 順調である	B あまり順調でない	C順調でない	Ζ 新型コロナウィルスの景	5響により規模等縮小 ↑
評価の理由	セミナー・講座受講生数 : 数値目標を達成しているため									
令和3年度事業の分析	目線の声を普	段か <i>。</i>	5地域に届ける	こと」の重要性や、	そている団体の申 いま所属している	し込みは2021年 るサークル等が「 <u>)</u>	度はなかったが、中 災害時の重要なつ	っには子育てサー ながりになる」こ	ークルの申し込みが との重要性を伝えた	あり、「災害時の母親 。
和2年度課題	①危機管理防	災総	F度)に残った設室や防災士会と	の連携。						
への取り組み状況	①引き続き危	幾管理	関防災総室や防	:記課題への取り結び :災士会へ声掛ける						
和3年度課題へ	①前年同様な	かなか		とは連携ができて						
の取り組み方針	【令和4年度(2 ①危機管理防	災総	室で実施する防	ニ記課題への取り結び事業をはあもに	こいからも受講者(
参画会議の意見										

施領	策の方向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進 担当部署									
具体	本的施策	4	男女共同参画の視点に基	づく地域防災の推	進と復興体制	の確立			男女共同参画セン	
	[内容] 道 BOOK」を基本	 前講 過去の トテキ	防災出前講座の開催等を 率「熊本地震を経験した私たち 災害の教訓をもとに、男女共 ストとし、立場によって困難や 子、田中美帆(はあもにい職員	らが提案する男女共同 同参画の視点に立った 支援の形が異なって	司参画の視点に た防災を学ぶ講 くることを知り、そ	なった防災」 座を実施。2018年原 れぞれができる防	度に作成した「男が、支援につい	女共同参画の視点なって一緒に考えていく	ターはあもにい に立った防災ポイント 方法で講座を実施。	
	指	標	名 単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参考指標	出前	講座	回数 回	-	8	10	8	8	Α	
指標										
			L	L 自己評価の評価基準	準: A 順調である		C 順調でない - Z	 Z 新型コロナウィルスの影	じ響により規模等縮小 ↑	
評価の理由										
令和3年度事業の分析	①防災講座実 からは「自分の 男女共同参画	施後() 中の 啓発(点を踏まえ事業の分析を行っ の感想からは、女性をはじめる 固定観念に気付いた」「女性、 は有効な手立てと考えている。	とする多様な立場の人 、男性側双方の気持ち	、たちが意思決定 らを知ることがで	この場へ参画するこ きて良かった」など	との必要性が伝 、ジェンダー平等	らわっている手応えを につながる感想を得 である。	r感じた。また、高校生 まており、防災を通じた	
和2年度課題	-出前講座申記	込団 体								
への取り組み状況	・出前講座を加	は報す	F度)における上記課題への取る先を広げ、また、ZOOMや少		得催など、開催方	法の提案を行った。	•			
和3年度課題へ	①コロナ禍に。	よる地	F度)に残った課題】 域活動停滞。中学や小学校な							
の取り組み方針	【令和4年度(2 ①感染症が流	2022年 行す [。]	F度)における上記課題への耳ると、どうしても集合研修が難	なり組み方針】 しくなるため、今後もえ	ナンライン実施を	積極的に取り入れ	 、学びを止めな(ーーーーー い環境を提供し続け	వ .	
参画会議の意見										

施策の方向性 施策の方向性	毎 様 たれもかともにいさいさと、個性と能力を発揮できるよう 策の方向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進 担当部署									
具体的施策	4	男女共同参	画の視点に基づ	く地域防災の推	進と復興体制の	D確立			田上井口台京四	
取り組みの名称	4	子育て中の:	女性等への熊本	地震の影響に関	する調査・研究	2等に基づく防災	(・復興体制の	確立	一 男女共同参画課 ┃	
令和3年度(2021年度)実施概要市災的に一は、大女な画は、いるでは、おりには、おりには、おりには、おりには、おりには、おりには、おりには、おりに	放け数題あ災女をがに	計画・水防計画 性や子ども、性 D対応施設を1 後生するいで、含	画の改定 :的少数者等のため 箇所と限定するこ があるため、令和4 全ての避難所を巡[めの避難所として、 とで、避難者が施 年度の熊本市地域 可し、男女共同参議	男女共同参画セ: 設から遠方の場合 或防災計画・水防 画の視点に基づく	ンターはあもにいを の負担や施設の利 計画から、女性や子 軍営の啓発に専念	開設することを規 刊用によって本人・ ども、性的少数も することとした。	記定していたが、で が公にしていない 香等の対応施設を	市内全域の母子や単身 ・事情が表に出てしまう を削除し、男女共同参	
指	 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参 	-		-	-	-	-	-	-	-	
=₩				自己評価の評価基	準: A 順調である 	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新 	f型コロナウィルスの 	影響により規模等縮小	
評 価 の 理 由										
☆ 母子や単身女	で性、ヤ	生的少数者の過	業の分析を行ってく 避難受け入れにつ いにおいて、全ての	いては、全ての避	難所において予想 、男女共同参画の	されるものであり、 視点に基づく運営	対応すべきものの の啓発に専念する	であると考え、そ る必要がある。	のための啓発・支援とい	
令【令和2年度(能本地震で明 2 年 度 課			課題】 視点による防災意	意識の浸透が必要	である。					
			上記課題への取り こい90号において.		D視点に立った「防	ī災」を考える。』を う	テーマに特集し、	意識啓発を実施し	<i>い</i> た。	
年度課題へ	住所に	おいて母子や賞	単身女性、性的少			なことであるが、避	世所運営を担当で 難所運営を担当で	ーーーーー する職員への研(<u>_</u>	
			上記課題への取り ける性の多様性のB							
参										
画会議の意見										

施領	策の方向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の推進 担当部署									
具体	的施策	4	男女共同参画	の視点に基づ	く地域防災の推	進と復興体制の)確立			男女共同参画セン
	組みの名称						咒等に基づく防?	災・復興体制の	確立	ターはあもにい
令和3年度(2021年度)実施概要	①無料防災出 [内容] 過 BOOK」を基本 [講師] f	前講のキキャー	座「熊本地震を紹 災害の教訓をも ∵ストとし、立場に ⋮子、田中美帆(に	を験した私たちが とに、男女共同参 よって困難や支持 まあもにい職員)	提案する男女共同 参画の視点に立った 爰の形が異なって 「参加者」 の	司参画の視点に立た防災を学ぶ講座 くることを知り、そ)べ508人(8団体)	った防災」 Eを実施。2018年度 れぞれができる防	₹に作成した「男女 災、支援について	:共同参画の視点 一緒に考えてい	に立った防災ポイント 〈方法で講座を実施。
4	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参考指標		-		-	-	_	-	-	_	-
指標										
			<u> </u>		 自己評価の評価基	準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新	「型コロナウィルスの:	影響により規模等縮小 ↑
評価の理由 令和3年度事業の分析 令	①熊本地震だかっている。	けでな	点を踏まえ事業のよく、防災に関連・		<mark>ださい。</mark> -一の受講や研究	結果の報告会等の	の参加により、講座	区講師の情報のア	ップデートを行い	、講座内で共有をは
-和2年度課題へ				記課題への取り	組み状況】					
の取り組み状況										
和3年度課題へ	①講師養成。		F度)に残った課							
の取り組み方針					組み方針】 のスキルアップ。					
参		•••••								
シ画会議の意見										

施領	後の方向性 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	I	教育や啓発	を通じた男女共	司参画の推進					担当部署
具体	本的施策	4	男女共同参	画の視点に基づ	く地域防災の推	推と復興体制 <i>の</i>	確立			子ども政策課
取り	組みの名称	4	子育て中の:	女性等への熊本	地震の影響に関	引する調査・研究	2等に基づく防	災・復興体制の	確立	子とも政策誌
令和3年度(2021年度)実施概要	【(震災)子& H28年度~ 令和3年度等	ごもので 130年 ら、リー	ころのケア事業 度に被災した好力 フレットを活用し	≹】H30年度で事業系 産婦・乳幼児の心♪ 火災害に備えるため	終了 身の健康に関する の啓発を継続して	・相談に対して、各 ている。	Σ保健子ども課の)保健師等が対応	を行った。	
4		重 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参考指		-		-	-	-	-	-	-	_
指標										
					自己評価の評価基	<u> </u>	3 あまり順調でない	C 順調でない Z 新	「型コロナウィルスの影	「響により規模等縮小 ↑
評価の理由 令和3年度事業の分析 令和2年度課題	男女共同参		見点を踏まえ事業 年度)に残った	業の分析を行ってく	ださい。					
への取り組み状況				上記課題への取り	組み状況】					
和3年度課題へ			年度)に残った		60 7. ΔΙΝ					
亚				上記課題への取り						
参画会議の意見										

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	5	男女共同参画センターはあもにいの機能充実	男女共同参画セン
取り組みの名称	1	「はあもにいフェスタ」「ミモザフェスティバル」「市民グループ企画」の開催等、 市民ニーズを捉えた意識啓発や社会参画支援のための事業の実施	ターはあもにい

①はあもにいフェスタ

[内容] 男女共同参画のわかりやすい啓発、また、熊本市男女共同参画センターはあもにいの機能周知、市民ニーズを捉えたイベントとするため、参加市民団体と協働で2日間実施。

(1)男女共同参画に関わる活動をする市民団体によるセミナー、バザー、ワークショップ等 (2)男女共同参画に関するクイズ(館内およびオンライン) (3)オンデマンド講演会(別報告ページあり)

[参加団体] 市民団体25団体(うち2団体が新型コロナウイルス感染不安を理由に途中辞退)

②はあもにいミモザウイーク [内容] 新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、屋外イベントは見送り、館内を拠点として実施。昨年同様、催し期間を1週間ほどにし、従来の「ミモザフェスティバル」の名称を「ミモザウイーク」に変更して行った。

[参加者] 2日間のべ1093名

3月8日の「国際女性デー」を記念し、国際女性デーおよびはあもにいの役割や活動の周知のための展示やクイズ等を実施。全ての女性がいきいきと、自分の個性 や能力を発揮できる社会をめざすことをコンセプトに行った。

①映画上映会「大コメ騒動」(1階メインホール)

②国際女性デー、男女共同参画に関するパネル制作、展示(1階ギャラリー)

②男女共同参画クイズ(1階ギャラリー、オンライン)

[参加者] ①89名(申込125名) ②クイズ参加者266名(館内116、ネット150)

③デートDV防止講座(出前講座)

[内容] 進学や就職をする子どもを持つ保護者がデートDV(交際中の男女間で起こるDV)の意味や内容を正しく理解し学ぶ無料の出張講座を実施。

[講師] とみながとも子氏(リ・スタートくまもと代表) [参加者] 15名(女性13名、男性2名)

④市民グループ企画① DV教育プログラム(男性編)

[内容] DV被害者支援の一環として加害者のDV行為を撲滅し、暴力によらない関係の構築を目的とする。ジェンダー、DV、面前DVについて座学で学び、認知 の歪みを是正するために、認知行動療法を主体にしたグループミーティング、ロールプレイングを交えながら進行し、暴力を用いないコミュニケーションの取り方を学 ぶプログラムを実施。

[実施団体] 熊本DVアプローチ研究会り・まっぷ [参加者] 4名

。 ⑤市民グループ企画② パパカUP!家族がもっと笑顔になるスマホカメラ講座

[内容] パパ向けには、スマホカメラ機能と併せ構図や家族写真を撮る際のマインドを学ぶ講座を実施。撮影を通じ、父子一緒に過ごす時間を楽しんでもらった。ママ向けには、産後も元気で美しくあり続けるための、産後の身体と心が軽くなる、ママのためのお話会として産後ケア講座を開催した。

[実施団体] 熊本転入ママの会くまてん [参加者] 2組7名

|⑥市民グループ企画③ ~仲良く元気で暮らす為に~秋の彩サロンinはあもにい2021

[内容] 第1部:ピアノ、声楽、チェロ、アンサンブルコンサート

第2部:SDGsにおける男女共同参画、LGBTQ、性差について各世代間で意見を交換するグループワークを実施

[実施団体] 音楽サークル・はみんぐ♪ [参加者] 21名

⑦対話の手法を使って主体性を発揮しよう! ファシリテーション講座

⟨☆ | [内容] ワークショップにおける合意形成の進め方を学び、実践する講座。多様な意見を出し合い、発表するプロセスを体験。また、自らの意見を人前で発言すましている。

[講師] 平田隆之氏(NPO法人市民プロデュース理事長) [参加者] 15名

8もう悩まない!キャリアアップのためのコミュニケーション講座~苦手な人を克服するヒントをつかもう~

-[内容] 職場等で人との付き合い方に悩む人が、仕事を続け、自己向上ができるよう、苦手意識を感じる人に対応する際の心理状況や対応改善につながるヒン トを学ぶ講座を実施した。

[講師] 福島和見氏(株式会社Apeiro-gon代表取締役) [参加者] 18名(女性14名、男性4名)

⑨パパ応援企画「親子で元気におうち遊び」

[内容] 「家で遊ぶ」をテーマに、身近な新聞紙を使って子どもとお父さんが一緒になって身体を動かす遊びを実践する講座。心身のコンディションを健康に保ち、親子関係を良好にすることを目的とした。

[講師] 水野直樹氏(一般社団法人スタディライフ熊本理事、papaラボ代表) [参加者] 8組22名 (親9名、子ども13名)

⑩よんでよんでのかい

度

概

[内容] 絵本や大型絵本、紙芝居の読みきかせや、手遊び、ふれあい遊びなどを季節催事なども絡めて紹介。絵本は館内情報資料室などからおすすめの本や 季節の本などを紹介し、情報資料室の利用促進も同時に行った。

[講師] 講師はあもにい幼児室職員 [参加者] 【対面】のべ22組49名 【オンライン】のべ36組92名

⑪はあもにい みんなのギャラリー

[内容] ギャラリー(エレベーター前)を市民の作品発表の場として提供。展示期間:2週間程度 [参加者] 4団体

⑫はあもにい働き方相談所

[内容] 熊本市と労働局が「熊本市雇用対策連携協定」を締結。それに基づいた事業計画において、女性の活躍推進、また、出産・育児等で離職した女性の再 就職支援や、仕事と子育ての両立支援による働きやすい職場環境の整備推進を掲げている。平成28年10月、女性のライフステージに対応した就労支援の一つとし て開設。月に1回、当センター応接室で、ハローワーク職員が就業や転職に関する相談に対応(ただし、紹介状の発行は不可)。一人1時間程度。予約優先。 [参加者] 2名(女性2名)

<u>*</u>	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参 考 指		回	-	12	13	12	12	Α
	はあもにいフェスタ来場者数	人	-	3709	947	1093	2400	Z
	年間利用者数	Д	-	153251	57636	72833	135000	Z

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座数: 数値目標を達成しているため |はあもにいフェスタ来場者数 : 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小 価 年間利用者数 : 前年度より若干増加したが依然利用者の動向に新型コロナウィルスの影響があるため の 理 由 男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。 ①コロナ禍での大規模行事は実施が悩ましいが、参加を申し込んだ市民団体は「コロナ過だからこそできることをできるだけ」の意志で実施に協力してくれた。参加 者は減少したが「コロナの影響か参加団体が減っているようで少し寂しい感じもしましたが、続いていることに感謝」「会場に来られない人も参加できる内容もあるの は良いですね。感染が終息したときに繋がると思いました」という声も多く届いていた。 ②映画上映は、史実をもとにした女性のエンパワメントにつながるテーマを選択し、無料で上映。「歴史を学習でき、出演者の熱演に感動した」「子どもにも良い教育 となった」といった感想のほか「元気いっぱいになった」「また良い映画を見たい」など市民ニーズに応えたイベントの実施ができた。 ③市内中学校から希望があり、出前講座として実施。これから人間関係が多様化してくる中学3年生を持つ保護者に、「デートDV」についての意味や内容を正しく理 解し関心を高めてもらうきっかけとした。保護者会からは「保護者と子どものそれぞれに出前講座を実施してほしかった」などのニーズもあったが、高校とは違い、中 学校側には「デートDV」に対する危機感はそれほど感じられなかった。 ④例年、男女共同参画の推進に関する企画を市民グループから募集。特に第2次熊本市男女共同参画基本計画「方向性Ⅲ あらゆる暴力を許さない社会の実現」 の点で採択した。企画主旨は「女性差別の一つの側面であるDV問題の解決は、男女が共に豊かな関係を構築していくことであり、男女共同参画社会の実現につな |がる大きな要素になる」(団体申請書より)。 ⑤例年、男女共同参画の推進に関する企画を市民グループから募集。第2次熊本市男女共同参画基本計画「方向性 II 市民一人ひとりが活躍できる社会環境の 整備」の点で採択した。企画主旨は「写真を通して夫婦のコミュニケーションを増やし、男性が家庭での役割を広げ、夫婦・家族の多様性を深めるキッカケづくりをし ていく」(団体申請書より) ⑥例年、男女共同参画の推進に関する企画を市民グループから募集。特に第2次熊本市男女共同参画基本計画「方向性 I 教育や啓発を通じた男女共同参画の |推進」の点で採択した。実施団体感想「第2部のジェンダー学習会は、様々な問題について改めて考える時間になり、充実していたと思います。何名か第1部のみで |帰ってしまわれたのは残念でした。より工夫が必要だ思いました」(団体報告書より)。 |⑦会議や話し合いに主体的に参加し、他の参加者の発言を引き出しながら合意を形成するファシリテーションスキルは、職場や地域活動、PTAなどさまざまな場面 |で必要とされており、キャリアアップ・スキルアップの手段として有効と考えている。参加者は今回女性に絞ったが、年齢も職種も異なる多種多様な立場の参加者が |⑧早期に定員に達するなど、ニーズが高いと感じられる講座だった。コミュニケーション講座は講座参加者のアンケート回答でも今後受けたい講座の上位に常にあ るが、単発だと万族度につながりにくいので、内容や回数など、より効果的に実施できる方法を検討する必要がある。 ⑨家庭における男性の育児参画を促す目的で父子対象の講座を企画。また、新型コロナウイルス感染予防のため「不要不急の外出を避ける」のが日常となり、運 動機会が減っている親子に「家で思いきり遊ぶ」をテーマに、ストレス解消も目的の1つとした。新聞紙を使うなど、家の中にあって安価で、かつ子どもの興味を引く内 容で、親子ともにじっくりとお互いと向き合って遊ぶ時間を作ることができた。 ⑩絵本に親しみ、絵本に対する子どもたちの興味を促進するとともに、親子のふれあいの時間を創出。通常、対面での実施だが、コロナ禍で外出がままならない子 育て層に対し、オンラインでの実施もプラス。録画とライブでの呼びかけを織り交ぜ、子どもたちのリクエストにも応えるなどニーズに沿った演出も盛り込んでいる。 ⑪文化、芸術の創作活動を行うグル―プの作品発表の場を提供することで、社会参画の機会を増やすとともに、市民活動の広がりの一翼を担う。来館者や地域と |の交流を促し、新しい人と人とのつながりを持ち、当館に来館されない方への周知にも繋がると考える。無料で2週間の展示が可能なため、問い合わせも多いが、コ ロナ禍でイベント実施を中止せざるを得ない期間があった。 ⑫はあもにいで行う社会参画支援事業(資格取得・起業家支援・再就職支援講座等)では、講座でキャリアプラン・ライフプランを考える機会を設け、働き方相談所で 個別相談を受けながら、働く準備を整えていくというワンストップ支援が可能。就業に対して不安や課題を抱える女性にとって相談しやすい場所であるよう特色(ハ ローワーク熊本の職員に1時間程度相談ができる、託児が1歳から利用できる、駐車場があるなど)をつけて実施している。コロナ禍により再就職を希望しても仕事と 子育ての両立がさらに厳しくなっているという状況があるが、2021年度は中止になることも多くあり、ニーズや効果については把握できていない。 【令和2年度(2020年度)に残った課題】 ·オンライン(ZOOM)で講座を行う際の、事前準備やトラブル対応、講座の進行方法など、対面開催時以上のスタッフが必要。 2 年 度 課 題 【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 の ・オンライン講座を実施する度に課題を共有し、リスク対応策を検討、ZOOM操作に慣れない受講生対応など事前準備を徹底してスムーズな実施ができるようにす 取 る。 IJ 組 24 状 況 (令和3年度(2021年度)に残った課題) ①参加団体からの課題・改善案は、振り返り会にて共有し、次年度に引き継いでいる。 ②全世代満遍なく参加者があったが、当催事が特にターゲットとする若年層の多くがオンライン参加だったため、来場にもつながる仕掛けを講じる必要性を感じた。 ③市民ニーズの吸い上げやこの講座を啓発したい団体の誘致。 ④⑤⑥企画持込団体の増加。 ⑦広報不足による定員割れ。 和 || 8 コロナ禍における参加者同士の交流への不安。 3 ||⑨親子向け講座における男女共同参画についての分かりやすい啓発方法。 年 10コロナ禍など感染症流行期の中止措置への代替え ⑪コロナ禍など感染症流行期の中止措置への代替え案。 ⑩コロナ禍など感染症流行期の広報方法。 課 題 【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 の |①前年度振り返り会の内容を踏まえたイベント準備。 取 ②若年層をターゲットとした参加層の増加につながるイベント企画。 組 ③PTAや学校側への定期的な声かけ。 み 456フェスタなどを通した市民グループへの内容周知。 方「⑦早期の広報準備及び対象者を絞った有効な告知。 針 8コロナ過など、状況に応じた講座運営の見直し。 ⑨4コママンガなどを使用した、視覚的にわかりやすい啓発。 ⑪オンライン実施の日数増加。 ⑪感染症対策と並行した柔軟な対応。 12 LINE等SNSを活用した広報ツールの拡大。

画 会 議 の 意 見

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	5	男女共同参画センターはあもにいの機能充実	男女共同参画セン
取り組みの名称	2	男女共同参画社会を目指す団体などの活動支援及び情報提供	ターはあもにい

①男女共同参画推進のためのグループ支援制度

[内容] 実施要綱に基づき、原則として発足3年未満のグループを対象に、活動場所の提供、印刷機の利用、託児サービスやメールボックスの提供、広報協力 を実施。支援期間は原則2年だが、希望により3年間延長可。

※2016(平成28)年度は熊本地震発生により会館が避難所になり、学習室等の使用が不可となったため、また2021(令和3)年度は新型コロナウイルス感染拡大によ り学習室等の貸出が長期間できなかったため、上記期間は支援期間にカウントしない。

[対象] グループ支援団体11団体

度

2

度

②はあもにいフェスタ参加団体募集・活動支援

はあもにいフェスタ参加団体に、活動の場として学習室の提供を行う。 2 [内容]

はあもにいフェスタ参加団体25団体(グループ支援団体含む) [対象]

③「はあもにい通信」の発行

毎月発行。実施講座や館内ホールのスケジュール、男女共同参画についての情報など掲載。 [内容]

[配布先] 館内、黒髪町内(自治会を通して400戸)、市内公共施設、公民館、コミュニティセンター、地場企業など

④はあもにいホームページ、Facebook、Instgram 施

講座情報、男女共同参画に関するニュース、センターの施設情報(ホールの催事)などを随時更新。2021年からInstgramも開始。センターの講座告知な [内容] |どを発信するほか、会館混雑状況などの情報発信も場ともなっている。

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考出	支援グループ数	団体	-	11	12	11	20	В
標	はあもにいフェスタ参加市民団体 数	団体	ı	29	14	25	40	Z

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

|支援グループ数 : 昨年度の実績値は上回っているが数値目標を達成していないため

参加市民団体数 : 新型コロナウイルスの影響により規模等縮小

価 の 理

由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

|①感染症流行拡大により、貸室の無料提供を中止する期間が多くなった。また、団体も動くことができず、催事中止を余儀なくされていた。なお、2021年度新規支援 団体は1。

②①の支援グループ登録はしていないが、フェスタに参加を申し込んだ市民団体にも準備場所やその際の託児、フェスタ用印刷物の補助などを実施。縮小や制限 がある中で25の団体がフェスタ開催に向け、準備に励んでいた。

③毎月20日前後に、はあもにいの講座案内、館内ホール利用状況のほか、講座レポート、おススメ図書、漫画を使った男女共同参画啓発コラムの掲載などで情報 |提供を行っている。

の ④講座や会館情報のほか、内閣府男女共同参画局情報の掲載、支援グループの情報掲示などをHP内で実施。

分 析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・コロナ禍で対面講座の実施や活動が制限される中、積極的アプローチは控えざるを得なかった。 2

年 度 課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・活動が滞りがちな団体に対して、積極的にヒアリングを行い、実施内容についての相談に乗ったり、助言を行う。

IJ 24 状 況

令

取

(令和3年度(2021年度)に残った課題】

①新型コロナウイルス拡大の影響による団体の活動停止あるいは縮小。

②新型コロナウイルス拡大の影響による団体の活動停止あるいは縮小。フェスタ実施規模の縮小。

③フォントサイズやレイアウトの見やすさ。

④更新内容、トップページの整理。

課 題

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

の ①感染症流行機関の支援期間の延長。新規団体の発掘。

②withコロナのイベント実施検討。

③誌面のリニューアル。

④HPリニューアルの検討。

画 会議 の 意

見

	п 1	「これのかっての」というと、個性に形力を光洋できるよう			
施策の方向性	Ι	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署		
具体的施策	5	5 男女共同参画センターはあもにいの機能充実			
取り組みの名称	③ 夫婦や家族・生き方などに関する相談の実施及び男女共同参画に関する情報の収集・提供		ターはあもにい		
①情報資料室 [内容] 男女共同参画や生活文化に関する図書、ビデオ、資料等の情報の収集と提供を通じて、女性の社会参画や地域のネットワーク づくりを支援し、男女共同参画問題解決の糸口を提供する。					

令 | [凶善貸出数] 17,992冊

2

0

[視聴覚資料(ビデオ·DV)貸出数] 110本 [2021(令和3)年度利用者数] 7,377人

度 ②「はあもにい通信」の発行

毎月発行。実施講座や館内ホールのスケジュール、男女共同参画についての情報など掲載。 [内容] [配布先] 館内、黒髪町内(自治会を通して400戸)、市内公共施設、公民館、コミュニティセンター、地場企業など

③はあもにいホームページ、Facebook、Instgram

講座情報、男女共同参画に関するニュース、センターの施設情報(ホールの催事)などを随時更新。2021年からInstgramも開始。センターの講座告知な [内容] どを発信するほか、会館混雑状況などの情報発信も場ともなっている。 度

④男女共同参画情報誌「はあもにい」の発行

熊本市における男女共同参画の推進啓発および情報を発信する媒体として年2回発行している。(A4版カラ—12P/5000部) 当センターが推進する男女共同参画の情報、実施講座について掲載。

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	情報資料室利用者数	人		7,643	5,317	7,377	5,500	Α
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座受講生数: 数値目標を達成しているため

価 の 理

由

評

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①情報資料室という、市立図書館ネットワークの中では小規模の図書室を館内に設置。市立図書館ネットワークを介して市内図書館所蔵の図書の貸し借りも可能。 男女共同参画だけでなく、ジェンダー課題につながる、たとえば「出産・健康と医学」や「結婚・離婚・非婚・親と子」「多様性」「女性と自立・女性と仕事」などの視点か ら図書を購入している。利用者数はコロナ禍で落ち込んだものの令和2年度より138%アップ。

②「男と女の△劇場」では、男女共同参画やLGBTQ、DV、ジェンダーバイアスなどのテーマをわかりやすく漫画で解説。他県からも二次使用などを希望する問い合 わせが来ている。

③講座や会館情報のほか、内閣府男女共同参画局情報の掲載、支援グループの情報掲示などをさまざまなツールで発信。

④編集員とともに時世にあった男女共同参画の課題のテーマを検討、取材、座談会などの形で記事を作成し、情報誌を発行。 の

分 析

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・コロナ禍における情報発信方法

和 2 年 度 課

題

の

取

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・今までホームページで情報発信することの少なかった部署(特に幼児室)から、ZOOM等を利用し積極的な情報提供を試みる。

組 2 状 況

令

題

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 ①情報資料室の活性化、利用促進。

②フォントサイズやレイアウトの見やすさ。 ③更新、トップページの整理。

④男女共同参画に対する市民の方の意識。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①テーマ性のある展示などとの連携。

②誌面のリニューアル。

組 ③HPリニューアルの検討。

④市民ニーズや分かりやすさを考えた誌面作成。

	_	
ı	画	ı
ı	会	ı
ı	議	l
ı	の	ı
ı	音	ı

見

施策の方向性	I	教育や啓発を通じた男女共同参画の推進	担当部署
具体的施策	5	男女共同参画センターはあもにいの機能充実	男女共同参画セン
取り組みの名称	4	地域団体、NPO、学校、事業者等様々な主体とのネットワークの構築を図る事業の実施	ターはあもにい

①女性のキャリアとワーク・ライフ・バランス

[内容] 当館館長より熊本市男女共同参画センターの業務の紹介・講座主旨の説明。その後ワーク・ライフ・バランスについて、ワークを組み込んだ講義を出前講座で実施。

[講師] 熊野たまみ氏(株式会社adapt next.代表、協働アドバイザー、コミュニティ・カウンセラー) [参加者] 32名(女性)

令 ②デートDV防止講座(出張講座)

[内容] 進学や就職をする子どもを持つ保護者がデートDV(交際中の男女間で起こるDV)の意味や内容を正しく理解し学ぶ無料の出張講座を実施。

[講師] とみながとも子氏(リ・スタートくまもと代表) [参加者] 15名(女性13名、男性2名)

度 3 市民グループ企画(1) DV教育プログラム(男性編)

[内容] DV被害者支援の一環として加害者のDV行為を撲滅し、暴力によらない関係の構築を目的とする。ジェンダー、DV、面前DVについて座学で学び、認知の 歪みを是正するために、認知行動療法を主体にしたグループミーティング、ロールプレイングを交えながら進行し、暴力を用いないコミュニケーションの取り方を学ぶプログラムを実施。

[実施団体] 熊本DVアプローチ研究会り・まっぷ [参加者] 4名

度 |④市民グループ企画② パパカUP! 家族がもっと笑顔になるスマホカメラ講座

○ [内容] パパ向けには、スマホカメラ機能と併せ構図や家族写真を撮る際のマインドを学ぶ講座を実施。撮影を通じ、父子一緒に過ごす時間を楽しんでもらった。マ 実 マ向けには、産後も元気で美しくあり続けるための、産後の身体と心が軽くなる、ママのためのお話会として産後ケア講座を開催した。

| [実施団体] 熊本転入ママの会くまてん [参加者] 2組7名

要 ⑤市民グループ企画③ ~仲良く元気で暮らす為に~ 秋の彩りサロンinはあもにい2021

[内容] 第1部:ピアノ、声楽、チェロ、アンサンブルコンサート 第2部:SDGsにおける男女共同参画、LGBTQ、性差について各世代間で意見を交換するグループ ワークを実施。

[実施団体] 音楽サークル・はみんぐ♪ [参加者] 21人

<u>*</u>	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	市民グループ企画数	件	_	3	3	3	3	Α
	インターンシップ等受入校・機関数	件	-	7	-	-	5	Z

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

|市民グループ企画数:数値目標を達成しているため

|インターンシップ等受入校・機関数:受入を再開したが、コロナ感染症拡大のため、学校側が中止した

の理由

価

0

2

年

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①ルーテル学院大学人文学部保育コースから依頼があり、出前講座を実施。担当講師が男女共同参画の啓発の重要性を感じ、担当している保育コースの学生だけでなく、もっと多くの学生に聞いてもらいたいという意識をもって依頼があっている。大学でも、就職を控えた学生を対象としたキャリアデザインの講義の機会があるという。「うことで、同大学の就職課の職員に話をしてくださり、今回、同課職員1名が聴講した。

。 2 ②市内中学校から希望があり、出前講座として実施。コロナ禍により対象と考えていた高校や中学校は年度計画が難しい様子がうかがえたため、PTAへアプローチを ∓ |行い、保護者会の一環として実施がかなった。

度 ③市民グループ企画の1つとして採択。実施団体は、心療内科・精神科医師、社会福祉士、臨床心理士、保健師、児童福祉司、作業療法士などで構成されており、会 ■ の代表はDVに取り組むNPO団体の代表でもある。専門家によるDV講座の実施連携ははあもにいとしても貴重な機会と考えている。

業 ④市民グループ企画の1つとして採択。実施団体は、はあもにいの支援グループの1つであり、「熊本へ転入してきたママやプレママがスムーズに熊本に馴染み、まるの で地元にいるような楽しい生活が送れる」をコンセプトにしたママ(プレママ)サークル。親子向け講座や父親向け講座などの案内窓口としての連携や、当時の代表は はあもにいウィメンズカレッジの修了生。

| ⑤市民グループ企画の1つとして採択。実施団体は、はあもにいのフェスタ参加団体の1つであり、アートと音楽で心を癒し元気になってもらうイベントを企画する地域 | 団体で、はあもにい周辺の黒髪、坪井地域から参加が目立った。

☆【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・テレワークに関する広報を見て(あるいは聞いて)、「ZOOMの使い方を学べる講座」と誤解する問い合わせが寄せられた。

の 【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・コロナ禍「テレワーク」の需要が増す中、テレワークの認知向上を目指し、受け手に分かりやすく誤解のない表現で広報する。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①特になし

年度課題

み状況

① 市民ニーズの吸い上げやこの講座を啓発したい団体の誘致。

③④⑤市民グループ企画のため特になし

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①特になし

②PTAや学校側への定期的な声かけの実施。

🎖 |345市民グループ企画のため特になし

参画会議の意見

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備				
具体的施策	6	政策・方針決定過程への女性の参画促進	田士井田名南部			
取り組みの名称	1	市の審議会等や行政委員会における女性の登用促進	男女共同参画課			

市の審議会等や行政委員会における女性の登用促進に向けて、選定前の事前協議を実施している。

目標値 40%

和 3 年

度

2

0

2

年度

実施概要

市の各課からの相談対応

- ・審議会等の新規設置や委員改選の相談があった際に、以下の内容について助言した。
 - ①審議会の委員の男女の数を概ね同数とすること
 - ②関係団体へ委員推薦を依頼する際は、必要に応じて女性委員の推薦を依頼すること
 - ③委員選任時に男女共同参画課の意見を聞くこと
- ・特に、推薦依頼時は、団体の長など役職にこだわらず、柔軟に女性委員の推薦を依頼するよう助言した。

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	審議会等への女性の登用促進 (令和4年3月31日時点)	%	28.3	27.8	27.7	32.1	40.0	С
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

目標値である女性委員の登用率40%を達成できていないため。

評価の理

由

3年度

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

指針の送付や各課からの相談時に、女性委員の選任及び男女同数にすることを助言しているものの、専門分野によっては女性の適任者が少ないこと、関係団体からの推薦において女性の推薦が少ない現状は変わらず、女性が選任されづらい状況にある。

事業の分析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

□・女性の登用率は3割を下回っている。

依然として、関係団体からの推薦においては団体の長等が推薦されるケースが多く、女性が委員に選任されづらい状況がある。

V年度課題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の ・関係団体から推薦を受けるケースが多いため、推薦依頼時の依頼のしかた(団体の代表者などの役職にこだわらず、女性構成員で適任の方を推薦してもらうよう協力を求める)について、引き続き助言を続けていく。

・新設審議会については、当初の構想段階から、女性登用を見据えた委員構成を検討するよう助言する。

組み状況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

依然として、関係団体からの推薦においては団体の長等が推薦されるケースが多く、女性が委員に選任されづらい状況がある。

3年度課題へ

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

関係団体から推薦を受けるケースが多いため、推薦依頼時の依頼のしかた(団体の代表者などの役職にこだわらず、女性構成員で適任の方を推薦してもらうよう 協力を求める)について、引き続き助言を続けていく。

また、新設審議会については、当初の構想段階から、女性登用を見据えた委員構成を検討するよう助言する。

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

方針

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	6	政策・方針決定過程への女性の参画促進	1 声訊
取り組みの名称	1	市の審議会等や行政委員会における女性の登用促進	人事課

1 各課からの相談対応

- ・審議会等の新規設置や委員改選の相談があった際に、以下の内容について助言した。 和
 - (1)審議会の委員の男女の数を概ね同数とすること
 - (2)関係団体へ委員推薦を依頼する際は、必要に応じて女性委員の推薦を依頼すること
 - (3)委員選任時に男女共同参画課の意見を聞くこと
 - ・特に、推薦依頼時は、団体の長など役職にこだわらず、柔軟に女性委員の推薦を依頼するよう助言した。

2 2 庁内への周知

3

年

度

2

年

度

実 施 概 要

- ・年4回、審議会等の新設に関する庁内案内時に、「審議会等の設置等に関する指針(逐条解説)」を送付し、以下の内容について庁内へ周知した。
 - (1)審議会の委員の男女の数を概ね同数とすること
 - (2)委員選任時に男女共同参画課の意見を聞くこと
- ・前述の指針のほか、庁内キャビネットにおいて委員選任時の事務フローを新たに示し、手順を明確にするとともに、
 - 男女共同参画課作成の「審議会等委員への女性の登用促進ガイドライン」の周知・情報提供を行った。

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	審議会等への女性の登用促進 (令和3年4月1日時点)	%	28.3	27.8	27.7	27.5	40.0	С
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

あて職を除く女性委員の登用率40%を達成できておらず、前年度の実績を下回っているため

評 価 の

理 由

析

年

度 課 題

況

年 度課 題 の

針

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。 (現状)令和3年(2021年)4月1日時点 和

審議会等設置数 ・・・208(対前年比2増) ただし、調査時点で未委嘱の審議会を除くと124(対前年比4減)

|女性を含む審議会等設置数 ・・・97(対前年比5減)| •••27.5%(対前年比0.2減)

|あて職を除く女性登用率| 度

|指針の送付や各課からの相談時に、女性委員の選任及び男女同数にすることを助言しているものの、専門分野によっては女性の適任者が少ないこと、関係団体 |からの推薦において女性の推薦が少ない現状は変わらず、女性が選任されづらい状況にある。 分

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・女性の登用率は3割を下回っている。

・分野によっては女性の適任者が少ないことや、関係団体からの推薦においては団体の代表者等が推薦されるケースが多く、女性が委員に選任されづらい状況が ある。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・各課から相談時、特に団体推薦の依頼においては、市のスタンスとして「代表者などの役職にこだわらない」「女性の登用促進の観点から、女性の適任者を推薦 取 いただきたい」という点について、理解及び協力を依頼するよう働きかけた。

・事前に男女共同参画課への相談や、人材リストの活用を助言した。

組 ・より女性登用を意識した選任を行うよう、二役報告の様式を変更した。 24

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 ・女性の登用率は3割を下回っている。

・依然として、関係団体からの推薦においては団体の長等が推薦されるケースが多く、女性が委員に選任されづらい状況がある。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・関係団体から推薦を受けるケースが多いため、推薦依頼時の依頼のしかた(団体の代表者などの役職にこだわらず、女性構成員で適任の方を推薦してもらうよう 協力を求める)について、引き続き助言を続けていく。

・新設審議会については、当初の構想段階から、女性登用を見据えた委員構成を検討するよう助言する。 方

参	
画	i
会	
参画会議の意見	
の	
意	
見	$oldsymbol{1}$

各行政委員会における女性の登用状況

令和4年(2022年)3月31日現在

	委員会、委員名	委員総数(人)	うち 女性委員数 (人)	女性委員割合(%)	備考
1	教育委員会	5	2	40.0	
2	選挙管理委員会	24	1	4.2	
3	人事委員会	3	1	33.3	
4	監査委員	4	0	0.0	
5	農業委員会	24	1	4.2	
6	固定資産評価審査委員会	3	1	33.3	

施領	施策の方向性 Ⅱ 市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備						担当部署			
具体	本的施策	6	政策・方針	決定過程への女	性の参画促進					男女共同参画課
取り	図り組みの名称 ② 「男女共同参画社会実現に向けた企業実態調査」等の機会を捉えた、事業所における女性の登用促進 「「「「「「「「「「「「「「」」「「」」 令和2年度に実施した男女共同参画社会実現に向けた企業意識・実態調査について、回答にご協力いただいた企業へ結果報告書(概要版)を送付した。									
	令和2年度に 【参考】	実施し	た男女共同参	曲社会実現に同じ	ナた企業意識・実態	調査について、 回	答にご協力いたが	さいた企業へ結果	· 報告書(概要版) ·	を送付した。
令和3年度(2021年度)実施概要	男女共同参画社会実現に向けた企業意識・実態調査とは・・・ 本市域内の事業所における女性の登開状況、活用状況、育児・介護体業制度の整備とその利用状況等の実態を調査し、男女共同参画社会 実現に向けた取り組みの基礎資料とし、また当該調査の結果を情報提供することにより、各事業所における女性の活躍を推進するため、本市域内の企業・事業所 1,200社を対象にアンケート調査を実施したもの。 調査実施期間:令和2年11月5日~令和2年12月1日 対象事業所数:市内に事業所を置く従業者規模5人以上の事業所1,200社(無作為抽出) 調査基準日 :令和2年11月1日現在(ただし、一部項目については平成31年4月1日~令和元年12月31日まで)の状況 調査方法 :調査票と対象事業所に郵送し、事業所にて回答事項記入後、男女共同参画課へ返送する方法。 または、調査票別紙に記載されたURLまたはQRコードからWeb上で回答。 回答結果 :郵送での有効回答数四3票 インターネットでの有効回答数 110票 回答事業所数 369事業所 回収率 33.2%									
		2		単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・ー)
参 考 指		_		-	-	-	-	-	-	_
│指 │標										
					 自己評価の評価基	<u></u> 準: A 順調である		C 順調でない Z 希	】 新型コロナウィルスの景	 ジ響により規模等縮小 ↑
評価の理由	甲九廿同条画	の担	占な跡まう恵当	€の分析を行ってく	ださい	-				
令和3年度事業の分析	現在の本市内の)についての	00位 各企)結果	<u> </u>	に対する取組状況:で企業側に対する	ださい。 (女性の採用拡大 6啓発にもつながっ	にすでに取り組ん った。	でいる企業が年々	7増えてきているこ	ことや、管理職に占	がる女性の割合等
令和2年度課題	男女共同参画たが、回答数が	社会 が伸で	が悩んだ。	企業意識·実態調査		いて、従来の調査	票返送形式だけて	ごなく、URLまたは	:QRコードからWEB	上での回答も可能とし
への取り組み状況	【令和3年度(男女共同参画 答を得やすい	2021 ² 社会 方法I	∓度)における. 実現に向けた: こついて他課 <i>0</i>	上記課題への取り 企業意識・実態調3)アンケート調査方	組み状況】 査については、3年 法などを参考に検	毎に実施してるた 討が必要。また、	め令和3年度の取 今後は結果につい	り組みはないが、 いての更なる有効が	次回令和5年度の な活用方法を模索	実施の際には、より回 する必要がある。
令和3年度課題へ	男女共同参画	社会	∓度)に残った。 実現に向けた☆ こついて他課 <i>の</i>	企業意識•実態調査	査については、3年 法などを参考に検	毎に実施してるた 討が必要。	め令和3年度の取	り組みはないが、	次回令和5年度の	実施の際には、より回
の取り組み方針	男女共同参画	社会	実現に向けたか	上記課題への取り 企業意識・実態調査)アンケート調査方		毎に実施してるた 討が必要。	め令和3年度の取	り組みはないが、	次回令和5年度の	実施の際には、より回
۰۰۰۰۰۰		•••••								
参画会議の意										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	6	政策・方針決定過程への女性の参画促進	# 4. Table == == ==
取り組みの名称	3	学校における女性校長・教頭などの登用促進のための環境整備	教職員課

①管理職への登用率

和 3

年

度

2

2

年 度)

実施 概 要

- ●現場の負担軽減等を図ることにより、受考者数の増加に継続的に取り組む。
- ●女性教員を教務主任等へ積極的に登用し、リーダーとしての能力の養成を図る。

【参考①】管理職選考試験の実施状況(令和3年度)

〇校長選考試験 ※()内は女性

受験者数 86人(14人) 合格者数 26人(7人)

○教頭選考試験

受験者数 179人(42人) 合格者数 38人(14人)

【参考②】女性教員の教務主任・研究主任への登用状況(令和3年度)

小学校:31.5% 中学校:23.8%

参考	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
			小学校長 19.6	小学校長 15.2	小学校長 18.4	小学校長 22.8	小学校長 増	
指			小学校教頭	小学校教頭	小学校教頭	小学校教頭	小学校教頭	
標	管理職への登用率	%	16.3	17.3	19.0	19.0	増	В
1示	官连戚、0000万平	3 年職、VOD 豆 円 平 70	中学校長	中学校長	中学校長	中学校長	中学校長	Ь
			4.8	4.8	7.0	7.1	増	
			中学校教頭	中学校教頭	中学校教頭	中学校教頭	中学校教頭	
			12.5	10.4	14.5	12.5	増	

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

小学校校長については、年々増加して女性の割合が高くなっている。一方、小学校教頭、中学校校長、教頭については横ばいの傾向となっているため。

価 の 理

由

13年度

事

評

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 和 小学校校長の女性の割合が大きく増えた。

業 の 分 析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・管理職採用選考試験の女性受験者数が増加するよう周知しているにもかかわらず、前年度より女性の受験者は僅かだが減少している。 2

年 度課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・管理職採用選考試験の女性受験者数が増加するよう継続して周知を図っている。

・女性教員を教務主任等へさらに積極的に登用し、リーダーとしての自覚と能力の養成に継続して取り組むよう、校長会等において呼びかけを行っている。

・女性教職員に全体にアンケートを実施し、昇任試験を受験をためらう理由等の把握に努めた。

組 H 状 況

度課 題

組

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

||上記の取り組みにもかかわらず、管理職採用選考試験の受験者は減少している。家庭環境等受験をためらう状況について課題の把握ができた部分もあるため、受 験者増加の方策について検討していきたい。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・管理職採用選考試験の女性受験者が増加するよう引き続き周知を図る。

・教務主任等への女性教員の登用はR3年度は増加しており、さらに積極的に登用し、リーダーとしての自覚と能力の養成に継続して取り組むよう、引き続き校長会 等において呼びかけを行う。

管理職採用選考試験を受けやすい環境づくりに取り組んでいく。 方

画 会 議

の 意 見

施策の方向性	I		を通じた男女共	- 、					担当部署
具体的施策	6	政策・方針》	央定過程への女	性の参画促進					■ 甲升卅月至兩冊
り組みの名称	4	様々な分野で	で活躍している	女性の情報を掲	載している「対	*性人材リスト」	の充実と活用		一 男女共同参画説
登録者数 ②審議会等委 審議会等の	21 員選 D委員	3人(令和4年3 任の際の事前† の選任の際に	月31日時点) 劦議による女性の	ī協議の際、各分野					
指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z
女性人材	けノスト	の登録数	人	182	190	210	213	210	A
				± = ==	244 . UVE = 10 de e		LITTER A LA L		
Tロ無はおおり	0106	ᄀᄼᄼᅅᅼᄱᆉᅕᆏ	しているため。	目己評価の評価基	準: A 順調である 	B あまり順調でない 	C順調でない Z業	所型コロナウィルス <i>0</i>)影響により規模等縮小
ウィメンス・カ	うレッジ 人材リ	〉卒業生や情報 ストを活用して	を いる部署が少なく	で関わりのあったた	うへの女性人材り より活用しやすい:	ストの登録への呼ば 登録リストにするな	ひかけを行い、女だと、実態に合わせ	性人材リストのきたものにする必	登録者数増加に繋げ 必要がある。
【令和2年度(i 女性人材リス				が、更なる充実を目	目指し、審議会の変	女性登用促進に繋	げていく。		
			上記課題への取り もに、登録者が活	J組み状況】 話躍できる場を提供	するためにも審議	会の女性登用促進	進に尽力していく 。		
【令和3年度(女性人材リス	ストの	舌用数が少なし	、要因として、女性	生人材リストに登録	されている人材の	登録分野が偏って	こいることが推察さ	られる 。	
【令和4年度(注 幅広い分野(みを進めてい	に対す	F度)における」 る女性人材を	上記課題への取り 充実させるため、	J組み方針】 他部署の講演会等	で講師となってい	る方へ登録をお願	 更いするなど、女性	上人材リストの活	用増加に向けて取り
	••••••								

		目	標 だれもか	iともにいきいきと	、個性と能力を発	発揮できるまち				
施領	後の方向性	П	市民一人ひ	とりが活躍でき	る社会環境の整	E 備				担当部署
具体	*的施策	6	政策・方針	決定過程への女	性の参画促進					男女共同参画セン
取り	組みの名称	5) 「はあもに いウィメンズカレ [・]	• •	レッジ」等女性	の社会参画の	必要性や意欲を	高める講座の実	ミ施	ターはあもにい
1年度)実施概要	②無料防災出前講座「熊本地震を経験した私たちが提案する男女共同参画の視点に立った防災」 [内容] 過去の災害の教訓をもとに、男女共同参画の視点に立った防災を学ぶ講座を実施。2018年度に作成した「男女共同参画の視点に立った防災ポイント BOOK」を基本テキストとし、立場によって困難や支援の形が異なってくることを知り、それぞれができる防災、支援について一緒に考えていく方法で講座を実施。 [講師] 伊井純子、田中美帆(はあもにい職員) [参加者] のべ508人(8団体) ③女性のキャリアとワーク・ライフ・バランス [内容] 熊本市男女共同参画センターの業務の紹介・講座主旨の説明。その後ワーク・ライフ・バランスについて、ワークを組み込んだ講義を出前講座で実施 [講師] 熊野たまみ氏(株式会社adapt next.代表、協働アドバイザー、コミュニティ・カウンセラー) [参加者] 32人(女性) ④はあもにいメンズカレッジ ~今こそ深く学びたい 男女共同参画とダイバーシティ~ [内容] 男女共同参画社会の実現のために、男性の意識や企業・組織の環境・制度を変えることと女性へのエンパワメントは両輪で必要。ウィメンズカレッジと全回合同で開催し、企業の成長戦略としての男女共同参画、SDGs、LGBTなど男女共同参画とダイバーシティについて学ぶ機会を創出する講座とした。第1回:男女共同参画の基礎知識~いま、なぜ、どんな男女共同参画なのか 第2回:SDGs×ジェンダー平等×ダイバーシティ&インクルージョン第3回:多様性を認め合う社会~LGBTの基礎知識									
	「講師] 第士・くまにじょ	第1[ンバ <u></u>	回:鈴木桂樹氏(一) [参加者] 17人(男性)		熊野たまみ氏(S 実績値	DGs de 地方創生が 実績値	デーム公認ファシリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Jテ一タ一) 第3	
参	指 ———		· 名 ————————————————————————————————————	単位	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
考指	セミナー	-•講	座·事業数	回	_	4	4	4	4	Α
	セミナー・講座	≦•事	業参加者数	人	_	708	596	717	600	Α
評価の理由				値目標を達成して(
和3年度事業の分析	① アンケーアンケーで ② のから ② でまた ② のからがにからがにかからがにからがにからがにがまないがまながらがにかがまないがないがまないがないがまないがないがまないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがな	回んでは共われていまた。	には「まだまだ! には「まだまだ! をたいと思いまで をといるのが、 で、災大のの対しででであるが、 で、大子ではできるができる。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できる。。 とは、では、できるが、できる。。 といった。のでは、できるが、できる。。 といった。できるが、できる。。 といった。できるが、できる。。 といった。できる。。 といった。できる。できる。。 といった。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる	ジェンダーバイアス ジェンダーバイアス ジングでいます」「 対しなど、社会参画で 対している。 ジンでででいる。 ででででもいるででできた がったがったなどがったなと がったがかかまに女性 がい、参加者に女性	が根強く、おかしい男女共同参画の名ので、男女、これからのが、男女やに社会が、男女をに社会が、男ないこれがいいな性も平等に社会が、とように思う。参加に思う。参加では、さまで、世級を得られた。	見点を大切にしての自分の生き方においます。配慮が必要なることは、ことをメッセーの大学生からは「因が組み合わさっ」「普段女性の感	調和点を見出し、私 関する意欲などが 方など、通常のサ とても大切なことだ -ジとしてしっかりと 自分の偏見は結構 っているのだと感じが	は自身も周りの人も現れていた。 一ビス(業務)時でと思った」など、防発信したおかげで たくさんあるんだというものがどのよ	も、誰もが生きやす でも考え方として役 が災を通しての女性 で、多様な価値観を と分かった。女性の で化がアンケートに	が呪縛を解くことが、 い社会を目指して少 立つ内容」「災害時を きの社会参画の意義が を尊重し、幅広い視野 の会社の重役とか社 現れていた。 な的に知れたのが非常
令和2年度課題										
への取り組み状況令和3年	【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 ・withコロナの状況下、オンラインで講座を実施する機会が増えるため、事前に丁寧な説明・案内・サポートを行い、デジタルデバイドが生じないようにする。 【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ①講座が与える効果や不足している分野などの見直し。 ②伝える内容の精査と資料のアップデート。									
+度課題への取り組	④男性参加率【令和4年度(①カリキュラム②スタッフの	Eアッ 202 への 开修	パと内容の見直 2年度)における。 見直し。	上記課題への取り	組み方針】					
和み方針	④昨年度の誤	題	を踏まえ、企業の					検討。ウィメンズ	カレッジと合同講座	をも企画し、グループ

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	7	市役所における男女共同参画の推進	1 車部
取り組みの名称	1	公平な人事評価に基づく管理・監督職への女性の登用促進	人事課

・令和3年4月1日付けにおいて、課長級へは全昇任者54人中8人(試験8人)の女性職員が昇任した。

令 和 ・令和3年4月1日付けにおいて、主査級へは全昇任者157人中67人(試験46人、選考21人)の女性職員が昇任した。

参	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
7		%	8.9	9.5	9.9	10.5	ı	A
指標		%	24.8	24.8	25.5	26.8	-	Α
	全職員に占める女性職員の割合	%	33.1	33.5	34.4	35.0	1	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

全指標において年々増加傾向にあるため、順調であると評価した。

評 価 の 理

由

3 年 度

2

2

年 度

実 施 概 要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令和3年度課長級・主査級昇任試験の女性職員の受験率(課長級31.5%、主査級40.3%)は、いずれも男性職員の受験率(課長級45.3%、主査級62.0%)より低 和 かった。 3

しかし、前年度に比べ女性職員の受験率(課長級1.7ポイント、主査級3ポイント)は増加し、職場環境やワークライフバランスの改善等、令和元年度に策定した特定 事業主行動計画に基づく女性職員の管理・監督職への登用促進に向けた取組の効果が徐々に出てきている。

|女性の管理・監督職を増やすための取組として、女性の昇任に対する不安解消を図るため、事務の効率化・簡素化の検討など時間外勤務の削減に向けた取組、 |また、柔軟な働き方を推進していくため、勤務時間の繰上げ繰下げやテレワークの実施等に取り組みながら、女性職員の受験意欲を高め、男女の性差なく昇任して| の いくことが可能な環境の整備が必要である。 分

析 【令和2年度(2020年度)に残った課題】

引き続き、女性の昇任への不安解消をはじめ、仕事と家庭を両立できる職場づくり等に取り組む必要がある。 2

度課 題

年

IJ 組 H

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

令和元年度に策定した特定事業主行動計画に基づき、勤務時間の繰上げ繰下げやテレワーク(在宅勤務制度、サテライトオフィス等)など柔軟な働き方を推進する 取 とともに、時間外勤務及び庁舎管理のルールを設定し、労務管理を徹底していくなど仕事と家庭を両立できる職場づくりに向けた取組を実施した。

況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

引き続き、女性の昇任への不安解消、職場環境やワークライフバランスの改善に取り組む必要がある。

度課 題

年

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・女性管理職登用に関する職員アンケートの実施。

・業務の見直しや効率化、所属内の業務配分の均等化等により、時間外勤務の削減に取り組む。

組 ・毎週水曜日及び給料等支給日をノー残業デーとして設定し、当日は庁内掲示板及び庁内放送にて周知を行い、職員の定時退庁を推進する。

・年次有給休暇や仕事と家庭の両立を支援する制度の活用等を積極的に促進する。

参	I
画	l
会	l
議	l
の	l
意	l
見	l

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	7	市役所における男女共同参画の推進	人事課
取り組みの名称	2	ポジティブ・アクションの推進にあたっての女性職員のキャリア形成への支援	人材育成センター

①自治大学校及び熊本県市町村職員研修協議会主催の女性職員育成研修

(リーダーシップやコミュニケーション及びキャリアデザイン等の派遣研修)

和 (1)自治大学校「第1部・第2部特別課程」 3

《目的》 年

「地方公務員女性幹部養成支援プログラム」として位置づけられた研修であり、将来の女性幹部職員として必要な能力の向上に資することを目的とし職員を派遣す 度 2

《実施状況等》

新たに庁内公募を行わず、令和2年度に決定していた職員を派遣した。(令和2年度は、新型コロナ感染拡大の影響で研修が中止された。) 2

(2)熊本県市町村職員研修協議会「女性ステップアップセミナー」

年 《目的》

度 女性職員の働き方や自らのキャリアプランについて、入庁後を振り返り、自分の能力を活かせる組織貢献スタイルや今後のキャリアビジョンを考える研修に派遣 する。 実施

《実施状況等》

年度当初、熊本県市町村研修協議会が主催する研修について、所属長あて通知及び全庁掲示板にて案内を行ったが、当研修への応募が無く、令和3年度も派遣 要 者なし。

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	①-(1)自治大学校「第1部·第2部 特別課程」派遣者数	名	1	1	0	1	1	Α
標	①(2)「女性ステップアップセミナー」派遣実施回数	回	1	1	0	0	1	В

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

①(1)目標どおり、1名の派遣を行ったため

評 ①(2)派遣希望者が無く、目標の1名派遣ができなかったため 価

の 理 由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

|自治大学校派遣については、新型コロナ感染拡大期(第5波)ではあったが、熊本市を含め全国から幹部職員を目指す自治体女性職員が集まった。

政策立案能力や行政管理能力の習得のため、講義・グループ演習・ディベート演習・政策形成レポート演習を通して、1か月間他自治体の女性職員と切磋琢磨しな 3年度 がら主体的に研修に取り組み、派遣を通して女性幹部職員候補の育成ができた。

事 業 の 分 析

度 課 題 【令和2年度(2020年度)に残った課題】

■①(1)令和3年度派遣者を令和2年度決定者とし公募をしなかった為、研修についての職員への情報提供不足。

①(2)応募者無し 年

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

①(1)国等への派遣職員と合わせて、庁内公募を行った。

取 ①(2)継続実施し、活躍できる女性職員を増やす

IJ 組 H 況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 ①(1)応募職員の減少

3年度課題 ①(2)応募者無し

へ の 【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①(1)募集・選考方法の見直し

①(2)情報提供の見直し 組

方 針

H

画 会議 の 意見

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	7	市役所における男女共同参画の推進	↓東無
取り組みの名称	3	年次有給休暇等の取得促進や超過勤務の削減、市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進等、職場環境の整備	人事課

┃ 長時間労働による健康被害防止、ワークライフバランス等の観点にたち、通常業務における時間外縮減の取組を実施。

▲ 各局(区)に対しては、事務の効率化や業務の生産性向上に積極的に取り組んでもらうよう依頼。

令 │ なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対応等が見込まれたことに加え、全国都市緑化フェア等市全体での対応を要するものもあり、人員体制等の見通しが不透明な 和 │ 状況であったことから、目標値設定は見送った。 3 │

年 1 超過勤務の削減に向けた取組

- 度 時間外勤務33. 1%縮減(対H27時間外勤務実績比)
 - ・「労務管理及び庁舎管理の徹底」の周知・徹底
 - ・時間外勤務命令の上限の設定(原則、1か月45時間以下かつ年360時間以下)
 - ・週休日や休日の時間外勤務は原則命じない。(やむを得ず週休日や休日に時間外勤務を命じる場合は、担当部長に事前報告)

②休暇取得促進

2

2

年

度

- ・休暇計画表の作成・活用の周知
- ・年次有給休暇の取得促進(最低5日以上の取得促進、年末年始の年次有給休暇取得促進等)
- | ・夏期休暇の連続取得促進

施 ③新たな働き方に関する取組

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時的在宅勤務の実施
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための繰り上げ、繰り下げ勤務の実施

参	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 考 指	1人あたりの年平均時間外勤務 時間数(市長事務部局)全体	時間	152	160	161	184	ı	С
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

│令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応業務の増加や緑化フェア等に伴う時間外勤務が増えており、1人あたりの年平均時間外勤務時間数も増加したもの 平│と思われ、時間外勤務の削減には至らなかったため、C評価とした。

価の理

由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 令和3年度は、感染者の増加やワクチン接種等の新型コロナウイルス対応や、緑化フェアへの対応等、市全体で対応が必要となる業務が増加したことで、1人あたりの年平均時間外勤務時間数も増加したと思われる。一方で、年休の平均取得日数や男性の育児休業取得率については、令和2年度と比較し増加しているため、 年 休暇を取りやすい環境整備が図られ、ワークライフバランスの推進に繋がったといえる。

度事業の分析

度課題

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

- ・年次有給休暇等の取得促進について、職員が気兼ねなく取得できる職場環境づくり、業務見直しや一部職員に偏らない業務配分などの業務マネジメントが必要。

| |【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・毎月15日の子育ての日(子育て関連の休暇促進)に合わせて、年休や夏休の取得促進・休暇計画表の活用について掲示板で全庁周知を行った。

組み状況

題

方 針

(令和3年度(2021年度)に残った課題

・超過勤務の削減について、感染者の増加等による新型コロナウイルス感染症対応や、緑化フェア等のイベント対応など、市全体で対応が求められる業務が増えている中ではあるものの、今後も継続して、業務の見直しや効率化、生産性の向上に継続して取り組む体制を構築していくことが必要

・年次有給休暇等の取得促進について、新型コロナウイルス対応等で職員の疲労の蓄積も懸念されることから、計画的かつ積極的な取得をより促していくことが必 要

D 【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

|・引き続きこれまでの取組を継続することに加え、適正な労務管理のため、出退勤打刻の徹底を行う。

・心身を健康に保ち、より良い市民サービスが提供できるよう年休の取得目標である平均取得日数16日に加え、職員が最低5日以上取得するよう所属長に働きかける。また、引き続き、男性の育児休業・休暇の取得促進とも合わせて、年休等の取得促進に取り組む。

参	
画	i
会	
参画会議の意見	
の	
意	
見	$oldsymbol{1}$

施策の方向性 I 市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備 									担当部署			
具体的施策												
取り組みの名称 ④ 各種ハラスメントや性的マイノリティに関する職員研修の実施												
令和3年度(2021年度)実いかな社 象一 方 研員職 加る会時者で調査 員職 加る会時者で記述 (【実 談市日参講 一	ような社会の実現に向け、性的マイノリティについて正しく学ぶためのセミナーを実施した。 【日 時】 令和3年(2021年)11月1日 ~ 令和4年(2022年)3月31日 【対 象 者】 市民、事業者及び市職員等 【テ ー マ】 「性の多様性を尊重する熊本市をつくろう」 【講 師】 渡辺大輔氏(埼玉大学教育機構基盤教育研究センター准教授) 【実施方法】 熊本市公式youtubeチャンネルでの動画配信(市職員向けには、Microsoft Streamにて同内容を配信) ②相談員研修の開催 本市職員が性的マイノリティの基本的知識と当事者を取り巻く現状、相談を受ける側の基本姿勢等について身に付けるために実施した。 【日 時】 令和4年1月26日(午前・午後に分け実施)											
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	指標名 単位 基準値 実績値 実績値 実績値 (H30) (R元) (R2) 目標値 (R8) 自己評価(A・B・C・Z・-)											
参 考 指 	_		-	-	-	-	-	-	-			
標												
				自己評価の評価基準	——————— 準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新	· 型コロナウィルスの	影響により規模等縮小 ↑			
評												
価の					_							
理由												
	の組	占を跡まえ事業	の分析を行ってく	<u>'ださい</u>								
新型コロナウィ												
↑ 【令和2年度(2				網1-11 生入工	71°-+1.							
和 令和2年度は、 2 年	新型	!コロナウイルス	感染症拡大の影響	響により、集合研修	多ができなかった。							
度 課 課												
題	2021호	年度)における上	:記課題への取り	組み状況】								
邦	イルス	、感染症拡大の	影響により、集合で	研修の実施ができ	なかったが、相談	(員研修は、オンライ	インにて実施する	ことができた。				
り 組 み												
状												
↑【令和3年度(2		年度)に残った誤 ・感染拡大の影響			できかかった							
3 年	1 / / /	心态未加入切影	音ものり、別修寺の	の対面での天心が	(64,012)							
度 課 題												
^												
取りが型コロナウィ	新型コロナウイルスの感染状況に留意しながら、開催時期・開催方法について検討し動画配信やオンライン、対面での実施も含めより多くの職員が受講できるよう											
組 な効果的な力) み 方 針	は刈未的は力法で研修内容を快割りる。											
参	•••••	••••••	••••••		•••••	•••••	••••••	•••••				
画会議												
議 の 意 見												

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	7	市役所における男女共同参画の推進	コンプライアンス推
取り組みの名称	4	各種ハラスメントや性的マイノリティに関する職員研修の実施	進室

【職員研修】

||全職員を対象とした「コンプライアンスと公務員倫理」に関する研修や階層別研修において、様々なハラスメント防止に関する啓発を行った。

和【管理職等を対象としたハラスメント防止研修】

音 管理職自身がハラスメントについての正しい知識等を学び、ハラスメントを起こさせない共通認識を組織に浸透させることが重要であるため、管理職等を対象とした ま ハラスメント防止研修を行った。

【職員倫理月間(12月)】

- |・自身の普段の行動や発言、姿勢や心構え等を振り返り、自身がハラスメントの行為者となる可能性の大きさを確認するためのセルフチェックを実施した。
- ┃・「熊本市ハラスメント対策方針」を職場に掲示するとともに、朝礼・終礼等の機会を捉えて職場内での周知を行った。

4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考	_	_		1	_		1	-
指標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

評価の理由

年度

実施概要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 ・ハラスメントセルフチェックにおいて、男女共同参画の視点に立ったチェック項目を設定するほか、職員研修においてセクシュアルハラスメントやマタニティハラスメ 和 ント防止等について理解促進を図り、女性の活躍を推進する環境整備に繋げた。

業の分析

年度事

う【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・相談窓口やコンプライアンス担当監、外部相談員へ職員からハラスメントに関する相談が寄せられていることから、引き続きハラスメント防止に関する意識啓発が 必要である。

年度課題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・ハラスメント実態調査の結果から対応が必要と判断した、経験の浅い主査とその所属長を対象として、外部講師によるハラスメントセミナー(ハラスメントと指導の違いや適切な部下指導の方法等)を実施した。

・職員のハラスメント防止に関する意識醸成を目的に、具体的事例やエピソードを用いた研修や職員掲示板での啓発を行った。また、相談窓口について職員掲示板 等で定期的に情報提供を行うことで職員からの相談を促し、個別事案について適切に対応した。

み状況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

||・ハラスメントに関する相談件数が高止まりしていることから、引き続きハラスメント防止に関する意識啓発が必要である。

・度課題へ

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

^取 |・管理職自身がハラスメントについての正しい知識等を学び、ハラスメントを起こさせない共通認識を組織に浸透させることが重要であるため、管理職等を対象とし ^り |たハラスメント防止研修を実施する。

「「たい・ラステント」 「・職員倫理月間において、所属ごとに管理職によるハラスメント防止に関する講話を実施する。

┍ート・ハラスメント防止に関して職員掲示板を活用した啓発を行うほか、相談窓口について定期的に情報提供を行う。

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	7	市役所における男女共同参画の推進	
取り組みの名称	4	各種ハラスメントや性的マイノリティに関する職員研修の実施	人権政策課

①ハラスメントや性的マイノリティをテーマとした職場研修の推進

・職員人権教育研修計画において、各所属で取り組むテーマに「女性に関する人権問題」と「性的マイノリティに関する人権問題」についての選択肢が含まれてお り、各々の職場において研修する機会を提供した。 和

・各所属における研修で活用するためのハラスメントや性的マイノリティをテーマとしたDVDの貸出を実施した。

②新規採用職員や昇級者を対象とした研修の実施 度

3

2 0 2

年 度

実 施 概 要

の 玾 由

年 度 事 業 の 分 析

2 年 度課 題

IJ 組

状 況

度 課 題

2 方 針 ・新規採用職員や主査級昇任者等、各職位の昇級のタイミングでハラスメントや性的マイノリティを含む人権課題についての講義を実施した。

	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	各種ハラスメントや性的マイノリ ティに関する職員研修を実施した 所属の割合	%	-	46.4	100	17.1	増加	В
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

令和2年度の職員人権教育研修計画では、各所属で「ハラスメント」について話し合う機会を設けることを研修の必須項目としていたが、令和3年度では、「女性に関 |する人権問題」、「性的マイノリティに関する人権問題」、「様々な人権問題(ハラスメント等)」について話し合うテーマとしての選択肢は含まれているものの、必須項 目ではなかったため減少したと思われる。 価

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

職員人権教育研修計画において、各種ハラスメントや性的マイノリティに関する職員研修を実施した所属の割合は減少したものの、必須項目ではないにもかかわら ず、実施された項目別の割合は上位にあることから、職員の関心が高いと思われる。 3

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

組織的にハラスメント防止に取り組むためには、研修等を継続して実施し、意識改革をしていく必要がある。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の 職員人権教育研修計画において、各職場で様々な人権課題について話し合う機会(年に2回)を設けることを必須とした。 取

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

ハラスメント防止や性的マイノリティへの理解を深めるため、研修用の教材の提供や講演会等の開催など、職員が身近に学ぶことができる機会を増やしていく必要 年

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

の 令和4年度も引き続き職員人権教育研修計画において、各職場で様々な人権課題(各種ハラスメントや性的マイノリティの人権問題含む)について話し合う機会を年 に2回設けることを必須とする。 組

-	参	
Ιī	画	
1	_ 会	
	羊	
5	我	
15	ソー	
	恵	
	■l	

施策の方向性	Π	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	8	女性の起業・就業促進	男女共同参画セン
取り組みの名称	1	「資格取得講座」「再就職支援セミナー」「働き方相談所」等、就労に結びつく学習機会、相談の実施	ターはあもにい

①ユニバーサルマナー検定3級資格取得講座

[内容] 高齢者や障がい者への基本的な向き合い方や声かけ方法を学ぶ講座を実施。「ユニバーサルマナーとは」「人と人との違いを考えよう」「自分とは違う 人のことを思いやり、適切な理解のもと行動しよう」などを学ぶ講義に加え、ワークを行い理解を深めた。

「講師】 田中利樹氏(株式会社ミライロ) 「参加者] 29名(女性21名、男性8名)

②再就職・職場復帰への1st STEP ~先輩ママの再就職体験談に学ぼう!

「内容」 子育て中の女性が再就職を目指すときに壁となる、子どもの預け先、家事・育児・仕事の役割分担、ワーク・ライフ・バランスや自身の働き方などについ て、先輩ママの体験や工夫しているポイントについて話を聞いた。また、自身の3年後、5年後、10年後のキャリアプランを立てるワークを行い、将来像を明確にする ことで、復職・再就職に向けて前向きな一歩を踏み出す機会とした。

[講師] 内田美香(はあもにい職員・国家資格キャリコンサルタント)事例発表者2名 [参加者] 13名

③はあもにい働き方相談所

2 0

[内容] 熊本市と労働局が「熊本市雇用対策連携協定」を締結。それに基づいた事業計画において、女性の活躍推進、また、出産・育児等で離職した女性の再 就職支援や、仕事と子育ての両立支援による働きやすい職場環境の整備推進を掲げている。平成28年10月、女性のライフステージに対応した就労支援の一つとし て開設。月に1回、当センター応接室で、ハローワーク職員が就業や転職に関する相談に対応(ただし、紹介状の発行は不可)。一人1時間程度。予約優先。 [参加者] 2名(女性2名)

2 ④あなたのアイデアで地域課題を解決しよう! ソーシャルビジネス基礎講座

[内容] 地域の課題を解決する社会起業家を目指すソーシャルビジネスの基礎的な考え方を学び、自身のアイデアを具体化し、事業計画を立てる講座を実施。 [講師] 中川直洋氏(内閣府地域活性化伝道師・総務省地域力創造アドバイザー)事例発表者:原田文子氏(NPO法人KP5000代表・平成29年度当講座受講 度 生) [参加者] ①13名(女性9名・男性4名) ②12名(女性8名・男性1名) のべ25名

⑤もう悩まない!キャリアアップのためのコミュニケーション講座~苦手な人を克服するヒントをつかもう~

[内容] 職場等で人との付き合い方に悩む人が、仕事を続け、自己向上ができるよう、苦手意識を感じる人に対応する際の心理状況や対応改善につながるヒン トを学ぶ講座を実施した。

[講師] 福島和見氏(株式会社Apeiro-gon代表取締役) [参加者] 18名(女性14名、男性4名)

⑥よんでよんでのかい

[内容] 絵本や大型絵本、紙芝居の読みきかせや、手遊び、ふれあい遊びなどを季節催事なども絡めて紹介。絵本は館内情報資料室などからおすすめの本や季 節の本などを紹介し、情報資料室の利用促進も同時に行った。

[講師] 講師はあもにい幼児室職員 [参加者]【対面】のべ22組49名 【オンライン】のべ36組92名

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座数	0	_	5	6	6	10	_
標	セミナー・講座 受講生数	人	_	.386	455	243	2500	_

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座・イベント数: 熊本市男女共同参画課との協定により2021(令和3)年度は該当講座実施数を10→5に変更しているため 評 セミナー・講座・事業参加者数 : 熊本市男女共同参画課との協定により2021(令和3)年度は該当講座実施数を10→5に変更しているため

മ 玾

由

価

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①多様性が求められる現代社会において、さまざまな業界においてバリアフリーに対する知識と対応する技能を持つ人材が必要とされている。「ユニバーサルマ ナーとは」「どんな人がどんなことに困っているのか」「代表的な声かけ方法」など、多様な人の心理状況やコミュニケーションの取り方を知り、どのように行動すれば よいのかを考え、実際に行動するための学びの場とした。今回の申込者の受講理由からは、今後の仕事に役立てたいという声が全体の1/3ほど確認できた。 ②子育て中の女性が再就職を目指すとき、働き方や、子どもの預け先、家事・育児・仕事の役割分担などさまざまな不安を抱えている。同じ経験をした先輩から同じ 目線で話を聞くことで不安を軽減し、先を見通したプランを立てることで再就職へのモチベーションを高めた。また、働き方相談所など再就職に向けた情報提供を |行った。参加者から仕事相談につながったという声も届いた。

和 ③はあもにいで行う社会参画支援事業(資格取得・起業家支援・再就職支援講座等)では、キャリアプラン・ライフプランを考える機会を設け、働き方相談所で個別相 3┃談を受けながら、働く準備を整えていくというワンストップ支援が可能。1カ月に1度ではあるが、じっくり相談できる機会となっている。ただし2021年はコロナ禍による 年 中止や外出自粛で相談者は2名。

度 ④社会起業家を育成することで、地域に魅力的な仕事を作り出し、地域を活性化することができると考え、講座を実施。起業は、出産、子育て、介護などライフイベ |ントとの両立がしやすく、柔軟で多様な働き方ができると注目されている。参加者のプランには心疾患患者へのICT活用、在宅医療、産前産後の総合ケア、シングル マザーの雇用など、地域活性化・社会課題解決を目指したものがあった。

⑤人間関係に起因する離職は、継続することで得られるはずだったキャリア形成の機会を損なうだけでなく、再就職先等新たな活動場所での人間関係構築におい て不安を抱いたり、本人の自己肯定感の低下を招くことにもつながる。講座を通して、現状の改善につながるヒントや、よりよい人間関係構築の手法を学ぶことで、 就業継続あるいは再就職へのモチベーションを高めた。

⑦参加する保護者の年齢層がM字カーブの下降ラインに重なるため、男女共同参画についてだけでなく、再就職支援講座や資格取得講座などの情報を積極的に 提供。そこから興味のある講座に参加→働き方相談所を利用する人も出てきた。

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】 和 ・コロナ感染症対策として3密を避けるオンラインで実施する際、講師および受講生のICTに対する熟練度合が講座内容と受講満足度に大きく影響することがあっ 2 年 た。 度 課 題 【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 の ・受付の段階からオンラインに変更される可能性を説明することに加え、実際オンラインになった場合は、受講者への事前のフォローや講師との打合せを綿密に行 取 ij 組 2 状 況 【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ①2級取得の希望がアンケートにあったが、人数が多いと体に装着する器具を複数の人数で共有したり、介助練習でお互いの体に触れたりと、コロナ禍では講座対 応が難しい面もある。 ②2021年度は新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン開催に変更となったが、受講者は子どもを見ながらの参加となった。 ③新型コロナウイルス感染症が拡大し、イベント自粛が続く中、積極的に広報することは難しかった。 和 4 マインドを高めた受講生が、講座終了後次のステップへ向かうことのできる情報提供や団体連携等。 ⑤講座終了後のさらなるフォローアップ。 年に「職場の人間関係」は退職理由の上位にある。コミュニケーションの悩みは、その場を離れることで解決することばかりではない。新たな場での人間関係構築に対 度。する不安となったり、本人の自己肯定感の低下を招く場合もある。 課 ⑦コロナ過など感染症流行期の中止措置。 題 の 取 り【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 |組||①人数をしぼって開催するなど、学んだことをさらに実際の生活に活かせるようなフォローアップができないか今後検討。 み ②感染症流行拡大がおさまれば、対面で、低年齢児からの託児を実施。 方 3 LINEを活用した広報ツールの拡大。 針 |④情報発信や起業家セミナー・イベントなどの案内。 ⑤学び直しにつながる講座の実施。 ⑥生きやすさ、働きやすさにつながる、スキルアップを目的とした講座の開講。 ⑦オンライン実施の日数増加。

参	
画	
会	
竒の	
意	
見	

具体的施策 2014年37.00名称	11	市氏一人ひと	とりが活躍でき	る任会塚項の登	備				担当部署
11401.00	8	女性の起業	- 就業促進						
7り組みの名称	1	「資格取得講	媾座」「再就職	 支援セミナー」	「働き方相談所」	等、就労に結び	「つく学習機会、	相談の実施	┫しごとづくり推進 ┃
「TOSE E	界にの参ンン21士人(サを爰合催め共加とや9実材男ポ配件同一就催加いで、一般711一電数別	参加企業171社、 一般では では では では では では では では では では	参加求職者624 意。 求人企業35社 ついてセミナーを 介護業界におけて者7人(男1人、する窓 で望者に対する窓 の配慮から性別	開催。 る雇用確保を目的。 (6人)、就職者7名(<u>)</u> 《口を設置し、ハロ-	として資格取得講覧 男1人、女6人) -ワークとの連携 <i>0</i>	座を開講 。	業相談等を実施。		
参加求職		K(LGBTへの配別 名	慮から性別記載な <u></u> 単位	まし) 基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·
合同就職面記(平成21年度			Д	_	1,748	1,168	843	820	А
介護福祉士等数		研修の受講生	人	_	11	15	8	15	С
①合同就職司 となった。今行 ④介護福祉コ	面談会 後も、	の実施について コロナ禍における	る企業と求職者の		重要な施策である。	ことから、継続して	実施する。		り、目標値を上回る糸 た。
① 合同就職司 との介護福祉: ② 介 ② 介 ② 「一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇 一 〇	面談会: 設も実 (2020 合同京	の実施について コロナ禍における 活者研修は、募集 年度)に残った記 t職説明会につい 年度)における	では、コロナ禍に。 る企業と求職者の 長時期に感染状況 果題】	はり対面での開催が出会いの場として記が急激に悪化した	重要な施策である。 ことで、15人の申。	ことから、継続して	実施する。		

_	
参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

日 煙 だれもがともにいきいきと 個性と能力を発揮できるまち

-	I	市氏一人ひと	こりか活雌でき	る社会環境の整備	Ī				担当部署
L体的施策 -	8	女性の起業・	就業促進						男女共同参画セン
り組みの名称	2	マザーズハロ	ユーワーク等 <i>σ</i>)関係機関との連携	による就業	に関する情報提	 供		ターはあもにい
「内容」 「	仕事と 1回、	三分側局が「熊々二子育ての両立」 当センター応接5 女性2名)	ト 用権 州 州 東 連 : 支援 に よる 働 き ・ 室 で 、 ハ ロ 一 ワ ー	透励を] を神福。それ やすい職場環境の整値 -ク職員が就業や転職	を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	*計画において、多 だいる。平成28年10 に対応(ただし、紹	(性の治避推進、)月、女性のライス 介状の発行は不	また、田座・ 育 児 フステージに対応 「可)。 一人1時間和	等で離職した女性の した就労支援の一つと 呈度。予約優先。
指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·
1	-		-	-	-	-	-	-	_
									D影響により規模等縮小
1		がない、相談者が			一クなどを紹介	としている。			中の女性に有効と考え
【令和2年度		でい、相談者が 手度)に残った誤				たしている。	,		中の女性に有効と考え
		でい、相談者が 手度)に残った誤		から方相談所の利用者		たしている。			中の女性に有効と考え
【令和2年度 ・労働局(ハロ 【令和3年度 ・マザーズハ	コーワ- (2021 ³	「ない、相談者が 手度)に残った誤 一ク)の事情によ	る派遣制限と働	かままま かっぱ あまま かっぱ あまま かっぱ あまま かっぱ	減少。	としている。			中の女性に有効と考え
【令和2年度 ·労働局(ハロ 【令和3年度 ·マザーズハ 【令和3年度 ①新型コロナ	コーワ- (2021 ⁴ ローワ	「ない、相談者が (ではないではできます。) に残った説 (ではないではないできます。) におけるよう ではないではないできます。 (ではないできます。) に残った説 (ではないできます。) に残った (ではないできます。) にないできます。 (ではないできます。) にないできます。 (ではないできますないできます。) にないできます。 (ではないできますないできます。) にないできます。 (ではないできますないできますないできますないできますないできます。 (ではないできますないできまないできますないできますないできますないできますないできまないできまないできまないできまないできまないできまないできまないできま	こ記課題への取り 携。広報機会と	かき方相談所の利用者	・減少。 曽やす。	トしている 。			
【令和2年度 ・労働局(ハロ で で で で で で で で で で で の の の の の の の の	コーワ- (2021 ³ ローワ (2021 ³ -ウイル	(ない、相談者が (また) (また) (また) (おける) (まな) (まな) <td>こ記課題への取り 携。広報機会と 対し、労働局側が</td> <td>からの中止の申し出が</td> <td>が減少。 曽やす。 続いたり、イベ</td> <td>いる。</td> <td></td> <td></td> <td></td>	こ記課題への取り 携。広報機会と 対し、労働局側が	からの中止の申し出が	が減少。 曽やす。 続いたり、イベ	いる。			
【令和2年度(ハロード) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	コーワ- (2021 ⁴ ローワ (2021 ⁴ ウイル (2022 ⁴ と症流れ	(ない、相談者が (でません) (でません) (でません) (でおける) (でおける) (でい、相談者が (でおける) (できない)	こ記課題への取り 携。広報機会と 携。広報機会と で記課題への取り に記まし、労働局側が	が が が が が が が が が が が が が の 中 止 の 中 に の に に に に に に に に に に に に に	きやす。 続いたり、イベ	ことでいる。 これでは、 これでは	積極的に広報す	ることは難しかっ	不可)。1人1時間相談中の女性に有効と考え

施贸	頭策の方向性 ┃ Ⅱ ┃市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備									
具体	本的施策	8	女性の起業	・就業促進						しごとづくり推進室
	川組みの名称	2				連携による就業に	関する情報提供	#		しことうくり推進主
令和3年度(2021年度)実施概要	①熊本労働局台風により	主催書面	令和2年度「子 劦議。	育て女性等の就職	哉支援協議会」へ の	の出席				
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標		-		-	-	-	-	-	-	-
標										
					自己評価の評価基	L 準: A 順調である E	3 あまり順調でない	C 順調でない Ζ 新	「型コロナウィルスの影	響により規模等縮小 ↑
評価の理由 令和3年度事業の分析	男女共同参画			その分析を行ってく	ださい。					
和2年度課題			₹度)に残った፤							
への取り組み状況				上記課題への取り	組み状況】					
和3年度課題への			F度)に残ったi	果題】 上記課題への取り	組み方針】					
取り組み方針										
参画会議の意見										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	8	女性の起業・就業促進	男女共同参画セン
取り組みの名称	3	「起業家支援セミナー」の開催等、女性の起業への支援及び雇用の創出	ターはあもにい

①あなたのアイデアで地域課題を解決しよう! ソーシャルビジネス基礎講座;

度 ②テレワーク推進学習会

| 「内容」 熊本県中小企業家同友会と共催で実施(今期で4年目)。比較的テレワークが取り入れやすく、女性の就業率が高い総務・経理部門に焦点を当てて、テ | 2 | レワーク導入に向けた学習会を7~10月の各月1回行った。〈具体的内容〉自社の現状把握と課題抽出および課題設定、ツール活用例紹介、ツールを用いた分析法 | 0 | の紹介など

[講師] 鏡照美氏(熊本県中小企業家同友会女性部会会長) [参加者] ①8名 ②5名 ③7名 ④7名 のべ27名

┡ │③テレワーク推進事業/コワーキングスペースの運営

^支 2013(平成25)年5月に開設したコワーキングスペースの利用拡大やテレワークの啓発、推進のため実施。

※新型コロナウイルス感染拡大防止による、市主催事業等の中止・延期の対応を受け、下記期間はスペース閉鎖および新規登録受付を停止。

☆ | 期間:2021(令和3)年4月24日(土)~6月28日(月)、7月31日(土)~9月30日(木)、2022(令和4)年1月21日(金)~3月21日(月・祝) ※新規受付停止は3月31日ま 概 | で延長

要 2021(令和3)年度の新規登録者は12名(合計171名) 年間利用者のべ183名

<u>*</u>	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座数	回	1	3	3	3	3	Α
	セミナー・講座 受講生数	人	ı	336	397	235	400	В

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座・事業数:数値目標を達成しているため

セミナー・講座・事業参加者数:数値目標を達成していないため

価の理

由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①起業は、出産、子育て、介護などライフイベントとの両立がしやすく、柔軟で多様な働き方ができると注目されている。参加者年齢は10代~60代までで、7割が女令性。会社員4割、自営業4割。高校生の参加もあった。参加理由は、いずれ起業したい、すでに起業している、企業内事業のビジネスモデル作りのため、NPO立ち上和 げのためなど。

②市民がテレワークなど多様な働き方を選択できるよう、それに対応できる企業を増やすことを最終目標に、テレワーク移行を目指したICT活用の業務改善を目指し、開講。テレワークで就業を目指している女性の参加もあった。

③コワーキング(Coworking)とは、スペースを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイル。コスト削減や利便性に加え、交流・社交を通して仕事のシェアリングができたり、才能ある他の人の分野の人たちと刺激し合うことで新しい仕事を創造するなど、仕事上での相乗効果がある。新規登録のうち5人が女性。

業の分析

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

ね┃・平日昼間に連続2日の開催にしたところ、参加したいが日程調整が難しいとの声もあり、集客が難しかった。(ソーシャルビジネス講座)

2年度課題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の一・受講生の声を参考に、令和元年と同様、土日二日間の開催にもどす。

取り組み状

況

度課題

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①マインドを高めた受講生が、講座終了後次のステップへ向かうことのできる情報提供や団体連携等。

②定員の充足。対象を「テレワークを導入したい企業」、主な内容を「総務・経理部門」としたため、間口が狭くなり、結果として申込みも少なかった。

③ニーズの吸い上げ。

P【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①情報発信や起業家セミナー・イベントなどの案内。

ৢ ②テレワークに対する一般の認識やニーズの読み取り、「なぜ、男女共同参画センターがテレワークを推進するのか」というテーマも含め、推進の方法を再検討。 み ③利用方法の見直し。

み方針

矣

9	
画	
会	
>画会議の意見	
の	
意	
見	

頭策の)方向性	п	市民-	-人ひと	りが活躍でき	る社会環境の	 整備						担当部署
体的	 的施策	8	女性0	D起業・見	 就業促進								産業振興課
収り組	みの名称	j 3	「起第	美家支援	セミナー」の	開催等、女性(の起業への支援及	び雇用	用の創出				─ (起業・新産業支援 室)
		!	!		R3実績※女性のみ								•
計 日	支援機関名			事業名 事業概要		_	83美績※ 参加者	割業者					
3 手 隻 2	有本領	商工会議	所	女性起業 ※R2未開		(全4回以上 ・経営に関す	業直後の女性を対象) る知識の習得、質の高い 作成の支援を行う。	ハビジ	13名 (※0名)	5名 (※0名)			
D 2 1 手	(株)は<	ぐくみ		女性起業》 ※R3未開	家スクール 催	『創業ノウ	対象(全5回程度) ハウ』や『税務』『経理 し、将来的な実務に役立		※O名 (5名)	※O名 (3名)			
足)尾拖既要				ジ ブくまもとう AWARD 創業ラーニ	レマネジメントカレ チャレンジャー ニングカフェ	してスタート ・講座形式に か、ビジネス 優れたプラン	を目指す女性、社会起う間もない女性を対象 て経営実務について学らプランコンテストを開催の実現を目指す。	ぶほ	38名 (19名)	4名 (5名)			
-				を援事業計画 		(創業者についてに 	は過年度参加者も含む) 		 .績値	実績値	<u> </u>	 目標値	
		旨標	名 ———		単位 	(H30)	(R元)		R2)	(R3)		(R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 号 旨		-			_	-	-		-	-		-	-
票													
平							L L L L L L L L L L L L L L L L L L L	3 あまり	順調でない	C順調でなり	、 Z新雪	≝コロナウィルス0	の影響により規模等縮小
番 各: 理 由 男:					するものであるた	こめ	基準: A 順調である E	3 あまり川	順調でない	C順調でない	、 Z 新四	⊍コロナウィルス <i>0</i>	の影響により規模等縮小
田の里日 今回3 甲度事業の分	女共同参性起業家	き画の視	点を踏む	まえ事業 <i>の</i> いては、新)分析を行ってく 型コロナウイルス	こめ ださい。						≝コロナウィルス0	の影響により規模等縮小
面の里由 今回3 F度 F 関	女共同参 性起業家 ーシャル・	≽画の視 ズスクーマネジッ	点を踏っ ルにつし シトカレ	まえ事業 <i>の</i> いては、新)分析を行ってく 型コロナウイルス とチャレンジャー	こめ ださい。	により中止。					≝コロナウィルス <i>0</i>	の影響により規模等縮小
面の里由 合口3 手度事業の分析 合口2 手度果夏への双ノ姐分犬 各	女共同参 性起業家 一シャル・	※画の神 マスクーマネジン (2020	ルについ シトカレ 年度) に	まえ事業の いては、新 ッジ/くまも 残った課)分析を行ってく 型コロナウイルス とチャレンジャー	さい。 ださい。 ス感染症の影響 -AWARD/創業 -	により中止。					<u>⊎</u> コロナウィルス0	の影響により規模等縮小
面の里由 令印3年度事業の分析 令印2年度果頃へのなり組み状況 令印3年度果頃へのなり組み状況 令回4年度	女 共 同 参 性 起 来 ル つ う 和 2 年 序 の う 和 3 年 6 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月	※画の将 マネジッ (2020 (2021	点を踏った。 ルト 度 (こカレ) (こカレ)	まえ事業の いては、新 ッジ/くまも 残った課	②分析を行ってく 型コロナウイルス 。とチャレンジャー ①課題への取り	さい。 ださい。 ス感染症の影響 -AWARD/創業 -	により中止。					≝コロナウィルスの	の影響により規模等縮小
面の里由 令印3年度事業の分析 令印2年度果題への収り組み状況 令印3年度果題 各 男 女ソ マー・デー マー・	女 共 同 参 性 起 来 ル う 和 2 年 所 3 年 所 3 年 所 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	まて、マクーママネジンを(2020	点を踏った。 ルシー 年 (アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	まえ事業の いでは、新さい。 残った課題 おける上記	②分析を行ってく 型コロナウイルス かとチャレンジャー 国】	たさい。 R R R R R A W A R D A W A R D A M A A M A A M A A M A A M A A A A A A A A A A A A A	により中止。	いては				≝コロナウィルスの	の影響により規模等縮小
面の里由 合口3 手度事業の分析 合口2 手度果頭 の収り且分犬兄 合口3 手度果頭 名 男 女ソ 【 新 一	女 性 か	までである。 では、	点 点 た か に 大 度 度) に た た た の に 力 に た に た に た に た に た に た に に に に に に に に に に に に に	まえ事業の いつジ/く な、まま まかった。 まかった。 まかった。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 ま	②分析を行ってく 型コロナウイルス かとチャレンジャー 国】	ださい。 R R R R R R R R R R R R R	により中止。 ラーニングカフェにつ	いては				≝コロナウィルスの	の影響により規模等縮小

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

		目	標 だれもが	ともにいきいきと	と、個性と能力を発	揮できるまち				
施第	での方向性	I	市民一人ひと	とりが活躍でき	る社会環境の整備					担当部署
具体	的施策	8	女性の起業・	・就業促進						しごとづくり推進室
令和3年	組みの名称 ④ 就業機会が少ない障がい者・母子家庭の母等を継続して雇用した事業主への雇用奨励金や職業訓練受講料助成等の経済支援 ①障がい者・母子家庭の母等雇用奨励金 市内在住の障がい者 (身体・知的・精神)、母子家庭の母等を継続雇用した事業所に対して雇用奨励金を交付。 [交付額]重度障がい者:月額6,000円×最大12か月 その他:月額4,000円×最大12か月 【交付実績】交付件数 46件(障がい者 26件 母子家庭の母等 20件)、交付額 1,140千円(障がい者 660千円、母子家庭の母等 480千円) ②職業訓練受講料助成 雇用保険受給資格のない失業者に対し、職業訓練センターの講座受講料の半額を助成。 [交付額]受講料の半額(同一年度内において1人1講座限り) 【交付実績】交付件数 11件、交付額 215千円									
<u> </u>	指		名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	障がい者・母- 奨励金	子家原	色の母等雇用	件	-	69	54	46	-	В
	職業訓練受講	青料 助	成	件	-	18	19	11	-	В
					自己評価の評価基準	E: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z	新型コロナウィルスの影	と響により規模等縮小 ↑
守和3年度事業の分析	①障がい者・1 ②職業訓練受	母子習	家庭の母等雇用	は、女性の割合が	ください。 は、申請件数が減り 下降しており(男性・	かしており、コロ ラ +2、女性▲10)	ナ禍における就職E 、女性の就業意欲	困難者の雇用抑制 の減少が示唆さ	削が示唆される。 れる。	
	①障がい者・ ②職業訓練受	母子家	家庭の母等雇用 -助成は、求職者	奨励金について (等のニーズに沿	は、女性の就業抑制でたる。					要がある。
の取り組み状況	①障がい者・	母子》	家庭の母等雇用		が、おりません。 は、労働局を通じたターと連携し、求職も					
			年度)に残った詩	果題】 上記課題への取り	J組み方針】					
参画会議の意見										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	8	女性の起業・就業促進	フじょナゼ冊
取り組みの名称	⑤	「母子・父子自立支援プログラムの策定」「母子家庭等自立支援給付金の支給」等、ひとり親家庭に対する就労支援	子ども支援課

①自立支援プログラム

3

年度

2

2

1

年

実施

概

要

平成19年1月から母子・父子自立支援プログラム策定員を設置し、児童扶養手当受給者で就労意欲がありながら十分な就労が行えない者に対し、面接等を実施し個々の事情に応じた自立支援プログラムを作成し、ハローワークとの連携をとりながら継続的な支援を行う。

プログラム策定件数: 104件

・就職件数:80件

②母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業

母子家庭の母又は父子家庭の父が、安定した職に就くことを目的として、市が指定した資格取得のための講座等を受講し修了した場合、受講料の一部を助成し、母子家庭等の自立を支援する。

•助成件数:7件

•助成金額:977千円

度 ③母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業

母子家庭の母又は父子家庭の父が、1年以上の修業期間を必要とする資格を取得する場合、経済的な援助を行うことにより安定した職に就くための支援を行う。

•助成件数:64件

•助成金額:69,282千円

							_	
4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
tヒ	①自立支援プログラムの策定	件	94	119	123	104	-	В
標	稻 付金 事 耒	件	5	7	4	7	ı	Α
	③母子家庭等高等職業訓練促進 給付金事業	件	81	83	66	64	-	В

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

①市政だよりやホームページ等による周知を図っているものの、基準値を上回ったため。

②市政だよりやホームページ等による周知を図っており、基準値を下回ったため。

価 ③市政だよりやホームページ等による周知を図っているものの、基準値を下回ったため

の理由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①新型コロナウイルスの影響を受け、件数が減少した。

②建築CADマスターや宅地建物取引士等、福祉関係以外の部門も受講する者が増えた。

③昨年度と比較し、大きな助成件数の増減はなかった。

度事業の分析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和し、就労支援ナビゲーターと連携しながらアフターケアに努める。

②③ホームページやラインによる周知

度課題

年

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

①就労意欲の動機付けを図り、相談者に合った就労支援となるよう、ハローワークや熊本市社会福祉協議会と連携を取りながら自立促進に向けた新規事業(住宅 支援資金貸付)の支援に取り組んだ。

②③市政だよりやホームページの内容を精査し、ラインによる周知を行った。また、訓練修了後にも現在の就業状況について再度調査を行う等のきめ細かな支援を 実施した。

組み状況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①利用率向上のため支援制度の新たな周知方法を開拓する。

②③ひとり親家庭への総合的な支援窓口としても機能するよう、関係部署とも連携しながら、更なる利用促進の実施に努める。

- 度課題へ

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

取 ①各区保健子ども課担当主査及び母子父子相談室の自立支援員に対し策定員からの説明会を実施し、支援制度の理解を深め、周知徹底についての認識共有を 切 付った。

②③熊本市社会福祉との連携を図りながら、受給者の養成機関最終学年時等、個々のタイミングに応じてプログラム策定と高等職業訓練促進資金住宅支援資金貸付の案内チラシを送付する等、資格取得への意欲及び卒業後の就労に結び付く支援に取り組んだ。

画	
会	
議	
の	
意	

見

参

 施策	 この方向性	П	市民一人ひ	たりが活躍でき						担当部署		
具体	k的施策	が施策 8 女性の起業・就業促進										
取り	組みの名称	6	 <i>"</i> 「女性相詞	 炎デー」「女性 <i>の</i>)ためのビジネス	 く合同相談会」	 の開催等、女性	 Eの社会進出 ²	 や新事業展	一 (起業・新産業支援 ニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニニ		
令和3年度(2021年度)実施概要	①事業名 事業説明 実績 ②事業名	:女() : 女() : () :	生相談デー 生中小企業診 11回開催) 和3年度実績 生のためのビシ 生士業(弁護士 22回開催)	くまもと森都心プラ 新士・融資相談員等 相談者11人(女性・ ジネス合同相談会の・司法書士・社労士 参加者:4人(女性・	による女性目線で のみ))開催 ・税理士外)と女性	のビジネス無料	相談を通じて女性	の社会進出や新	新事業を応援する。			
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)		
参考指		-		-	-	-	-	-	-	-		
標 -												
_				1	 自己評価の評価基準	集: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない	<u> </u>)影響により規模等縮小		
理由 令和3年度事業の分析	指定管理者の自主事業のため 男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。 ①については、昨年度を8名下回った。 ②については、昨年度を1名下回った。											
和2年度課題	取組みへの相	談者		課題】 更なる増加に向けて 上記課題への取り		に努める。						
の取り組み状況	ビジネス支援 [・] ついては参加	センク	ヌ—HPやメール 1人減少した。	マガジン、ダイレク	祖み仏が』トメール、チラシ、フ	フェイスブック等を	を活用し、広報周知	に努めたものの	の、①については相	談者が8人減少し、②		
和3年度課題へ	令 【令和3年度(2021年度)に残った課題】 取組みへの相談者・参加者数の増加に向けて、更なる広報周知の強化に努める。 「製造機関」 「関係」 「関係」 「関係」 「関係」 「関係」 「関係」 「関係」 「関											
取	【令和4年度(令和4年度より 果的な広報周	りリニ	ユーアルオー:	上記課題への取り プンするビジネス支	組み方針】 援施設「XOSSPOII	──NT.」として、HP+	ウメールマガジン、	ダイレクトメール	 ッ、チラシ、フェイスフ	ブック等を活用し、更に		
参画会議の意見												

施領	 6の方向性	П				モ揮 Cさるまり :備				担当部署
具体	本的施策	8	女性の起業・	就業促進						曲光士控制
取り	組みの名称	7	家族経営協定				担い手の育成お	よび活動支援		一 農業支援課
令和3年度(2021年度)実施概要							の周知を行った。 ける経営参画支	援を行った。		
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標		にお 定締	ける家族経営 結率	%	17	18	16	20	20	В
標										
				自己	と評価の評価基準: A	 順調である B ある	 まり順調でない C 順詞	調でない Ζ 新型コロ	ナウィルスの影響し	より規模等縮小 ↑
評価の理由 令和3年度事業の分析 令和	上記指標上 現状では「家! 間などでの協 【令和2年度(iの視 では! 族間」 定締結	点を踏まえ事業 目標である20% での取り決めと! 結も多くなってき	ンての意味合いが ている。 !題】	「、「家族経営協定	り、今までの夫婦 「 <u></u>	間での取り決め以	の仕事の役割分担 外にも、父-子間や	や労働条件の明況・	月確化であったが、 ├─夫婦─子供夫婦
2年度課題へ							XI-31-05 00			
の取り組み状況	①継続して家	族経;	営協定締結を推			の活動支援や各種	種研修会を通じた原	農業分野における	経営参画支援を	行う。
令和3年度課題へ	【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ①農業従事者の高齢化や新規就農者数の低迷により、農業従事者が依然として減少傾向にある。 ②認定農業者女性の会会員の高齢化等により、研修会等への参加者が減少傾向にある。									
の取り組み方針	継続して家族 務める。	経営†	協定締結を推進		。議会女性の会の			業分野における経営		
参画会議の意見										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	9	女性のキャリアアップ支援	田女共同参南部
取り組みの名称	1	女性の活躍推進に向けた事業の実施	男女共同参画課

国の地域女性活躍推進交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響をより強く受けた女性への支援を行うことで、女性の雇用の安定、社会との絆・つなが りの回復を目指し、誰一人取り残さない男女共同参画社会の実現に向けて事業を実施した。

①【男女共同参画型再就職支援事業】

コロナ禍で再就職への課題を抱える子育て中の女性を対象に、正規職員雇用に向けた就労支援を行った。

事業 名:「子育て女性のための再就職応援講座」

日 時:令和3年9月28日(火)から10月15日(金)まで土日を除く毎日(午前10時から午後4時まで)

場:熊本市男女共同参画センター はあもにい

参加者:9名(体調不良等で4名辞退のため) うち4名就職

実施内容:再就職体験者との交流会、再就職準備セミナー、再就職実践講習、キャリアコンサルティング、企業との面談会の実施

②【女性のつながりサポート事業】

2 |孤独・孤立等で不安を抱える女性が社会とのつながりを回復するためのサポートを行った。

実施内容(1):熊本市男女共同参画社会の実現に向けたアンケート調査 実施期間 :令和3年12月6日~令和4年2月28日

実施対象:熊本市内にお住いの10代以上の女性回答数:2,228件

実施内容(2):孤独・孤立等で不安を抱える女性を対象とした居場所づくり

イベント名:「女性のためのつながるマルシェ」

日 時:令和3年12月17日(金)、18日(土)令和4年2月25日(金)、26日(土)(午前10時から午後4時まで)

会 場:熊本城ホール

参加者:4日間合計 1,451名(相談者数 138名)

その他:来場者に対し、必要な方へ生理用品及び衛生用品を配布

<u> </u>	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考	-	_	_	ı	-	ı	ı	-
指標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

価の理由

評

和

3

年

度

2

0

1

年

度

実施

概

要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①子育て中でブランクのある女性については、コロナ禍において雇用調整の対象となった非正規雇用職員への再就職が特に多く、正規雇用での再就職を目指したと 1 ころだったが、企業と本人の条件が一致しないなどの理由により、結果的に9名中4名が再就職することができた。再就職した4名のうち2名が正規職員、2名が非正規 2 職員での雇用となった。ただし、今回の受講をきっかけに、職業訓練に通われたり得意分野を活かした就職活動を継続されるなど、女性の社会参画への後押しに寄与 2 することができた。

②については、コロナ禍で社会との絆・つながりが薄くなり、様々な困難や不安を抱える女性を対象に、現状のお困りごと等の調査や居場所づくり、寄り添った相談支援ができ、孤独感や自己否定の解消につながり、このことによって、女性が社会参画するためにも次の一歩として寄与することができた。

|【令和2年度(2020年度)に残った課題】

2 年度課題

組み

分析

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

|子育て中の女性を対象とした再就職支援事業の中では、実際に再就職を体験した子育て中の女性の体験談や交流会の他、子育て世代の女性が活躍している企業と |の面談会を実施した。その他、ラジオ(おはよう熊本市)を活用した「ポジティブアクション」や「固定的性別役割分担意識」についての情報提供や啓発を行った。

状 況 令**『**

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 家庭での家事・育児等を主に担う役割分担意識が根強く残る中で、コロナ禍であっても女性がスキルを身に付け活躍できる支援や女性の様々な困難や不安に寄り 添った支援を継続して実施することが必要。

の【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響をより強く受けた女性への支援を継続して行う。

の取り組み方針

· 度課題

参	
画	
会	
参画会議の意見	
の	
意	
見	

施策	 の方向性	П	市民一人ひと	:りが活躍でき	る社会環境の整備	 備				担当部署
具体	的施策	9	女性のキャリ	リアアップ支援						男女共同参画課
取り	組みの名称	2	「女性の活躍	星応援協議会く	まもと」の開催に	による経済団	体や関係機関等	との連携強化	í	万 女共问参回誅
令和3年度(2021年度)実施概要	横成団体:全12団体 協議内容:各団体の活動内容報告、意見交換 主な意見:各職場での仕事と家庭生活との円滑かつ継続的な両立支援の必要性 ・女性の職業能力の習得及び向上のための支援、モチベーションを上げる環境づくりの必要性 ・各団体との情報共有、連携の緊密化について ・経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの推進を企業のトップに推奨したい。									深め、それぞれの取り組
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	 実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指				_	_	_	_	_	_	_
指標										
121										
					白己証価の証件は	生・Λ 順調 マセス	R おまい順調でわり	○ 順調でおい	Z 新型コロナウィルスの:	
						二、 人 川民間 てめる				が買になりが送み船が、「
守和3年度事業の分析 令和2年度課題への	女性の活躍推 【令和2年度(新型コロナウ	推進に「 2020年 イルス 2021年	関する関係各団 (下残った課 感染症拡大の (原染における上	₹題】 影響により開催が ま記課題への取り	伏や課題等を共有す で で遅れた。			±右することが	できた。	
取り組み状況					MICIMREU、T W/		以りよこ の並 <i>力</i> に		CC120	
和3年度課題への	新型コロナウ	イルス 2022 ^全	₹度)における上	影響により対面で :記課題への取り	の開催ができず、流 組み方針】				1 La	
取り組み方針	開催時期・開 [/]	惟方 法	く について、新型	<u>"</u> コロナウイルス0	ル感染状況の見通し	ンが立たない中 ⁻	であっても、書面や	WEBも視野に	入れできるだけ早期!	こ判断し開催する。
参画会議の意見										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	9	女性のキャリアアップ支援	男女共同参画セン
取り組みの名称	3	「キャリアアップセミナー」等女性の意欲と能力向上を図るための講座の開催	ターはあもにい

①第8期はあもにいウィメンズカレッジ(全10回)

[内容] 熊本市における男女共同参画社会の実現を目指し、政策や方針決定の場に参画し、活躍できる指導的地位に立つ女性人材の 発掘や養成を目的として開講。2021年度で8期となる。

完備や食成を目的として開講。2021年度で8期となる。 [講師] 澤田 道夫氏(熊本県立大学総合管理学部教授)、鈴木 桂樹氏(熊本大学法学部名誉教授)

野田 恭子氏(Career Wave代表/熊本学園大学招聘教授)、谷口 絹枝氏(日本近代文学研究者)

八幡 彩子氏(熊本大学大学院教育学研究科教授)、平野 みどり氏(元県議会議員)ほか

[参加者] 20人(女性) のべ149人

②対話の手法を使って主体性を発揮しよう! ファシリテーション講座

[内容] ワークショップにおける合意形成の進め方を学び、実践する講座。多様な意見を出し合い、発表するプロセスを体験。また、自らの意見を人前で発言する練習の機会とした。

[講師] 平田隆之氏(NPO法人市民プロデュース理事長)

[参加者] 15名

度

0

2

年

度

[〒] |③もう悩まない!キャリアアップのためのコミュニケーション講座

| [内容] 職場等で人との付き合い方に悩む人が、仕事を続け、自己向上ができるよう、苦手意識を感じる人に対応する際の心理状況や対応改善につながるヒン | トを学ぶ講座を実施した。

【講師】 福島和見氏(株式会社Apeiro-gon代表取締役) [参加者] 18名(女性14名、男性4名)

2 4 女性のキャリアとワーク・ライフ・バランス

| [内容] 当館館長より熊本市男女共同参画センターの業務の紹介・講座主旨の説明。その後ワーク・ライフ・バランスについて、ワークを組み込んだ講義を行っ | t-

[講師] 熊野たまみ氏(株式会社adapt next.代表、協働アドバイザー、コミュニティ・カウンセラー)

[参加者] 32名(女性)

☑ ⑤テレワーク推進学習会

施 [内容] 熊本県中小企業家同友会と共催で実施(今期で4年目)。比較的テレワークが取り入れやすく、女性の就業率が高い総務・経理部門に焦点を当てて、テ概 レワーク導入に向けた学習会を7~10月の各月1回行った。〈具体的内容〉自社の現状把握と課題抽出および課題設定、ツール活用例紹介、ツールを用いた分析法要 の紹介など

[講師] 鏡照美氏(熊本県中小企業家同友会女性部会会長) [参加者] ①8名 ②5名 ③7名 ④7名 のべ27名

⑥ユニバーサルマナー検定3級資格取得講座

[内容] 高齢者や障がい者への基本的な向き合い方や声かけ方法を学ぶ講座を実施。「ユニバーサルマナーとは」「人と人との違いを考えよう」「自分とは違う 人のことを思いやり、適切な理解のもと行動しよう」などを学ぶ講義に加え、ワークを行い理解を深めた。

[講師] 田中利樹氏(株式会社ミライロ) [参加者] 29名(女性21名、男性8名)

⑦あなたのアイデアで地域課題を解決しよう! ソーシャルビジネス基礎講座;

[内容] 地域の課題を解決する社会起業家を目指すソーシャルビジネスの基礎的な考え方を学び、自身のアイデアを具体化し、事業計画を立てる講座を実施。 [講師] 中川直洋氏(内閣府地域活性化伝道師・総務省地域力創造アドバイザー)事例発表者:原田文子氏(NPO法人KP5000代表・平成29年度当講座受講 生) [参加者] ①13名(女性9名・男性4名) ②12名(女性8名・男性1名) のべ25名

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座数	回	1	5	5	7	5	Α
	セミナー・講座 受講生数	人	ı	389	331	753	300	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

|セミナー・講座・事業数:数値目標を達成しているため

評 セミナー・講座・事業数:数値目標をほぼ達成しているため

価の理由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①2021年度のウィメンズカレッジの参加者の属性は、会社員が47.1%。職場におけるキャリアアップを目的に参加を決めた人も多く、「永年勤務する中で、業務・職務 上、資料作成や発言することが増え、大変苦慮していた。今回、結論ファーストの論理的思考、文書作成法を受講し、文章の組み立て方、具体性も持たせ説得力が 出ることを学習し、早速今月の資料作成に活かそうと思う」などの意見からもスキルアップの効果が見えた。

②会議や話し合いに主体的に参加し、他の参加者の発言を引き出しながら合意を形成するファシリテーションスキルは、職場や地域活動、PTAなどさまざまな場面で必要とされているため、キャリアアップ・スキルアップの手段の1つとして実施。「すぐにでも実践したい」「モヤモヤが消えた」などの感想が寄せられ、ファシリテーションスキルの能力向上に役立ったと考える。

和 ③退職理由の上位に入る「職場のコミュニケーション」の悩みに対し、思考の整理法や多様な価値観の理解を高めるきっかけとした。参加理由としても「今後の仕事 3 に役立てたい」が一番多く、「人間関係を円滑にするヒントを得た」という声が寄せられた。

年 (④「『仕事か? 生活(・自分)か?』。究極の2択を迫られた際、自分はどちらを選ぶのか」というワークでは、そこにはない新たな選択肢を作るという柔軟性を発揮す度 る学生もおり、こうした若い層が増えていくことが楽しみに感じられた。100歳までのライフプランを考えるワークでは「30・40・50・60などこれから自分がどのように過ご事 していくのか考えるのが思ったより難しく、でも楽しかった」という声もあり、ほとんどの生徒が「長く働く」イメージでプランを書き込んでいた。

♥ |⑤脳科学の話は、「女性と男性の脳は違う」という考えではなく、「共感型」「問題解決型」の二手に対話時とっさに分かれるという講話で、これはビジネスシーンにも ♥ |大きく影響してくる。上司がなりやすい、部下がなりやすい脳の思考パターンを学ぶことで「家庭や職場の人間関係がスムーズになりストレスも減って生きやすくなり 。 |そう」「職場でも活かせる内容」という声が届いている。

「 ⑥SDGsへの関心は年々高まっており、誰もが住みやすく暮らしやすい共生社会の実現に向けての気運も高まっている。さまざまな業界においてもバリアフリーに対する知識と技能を持つ人材が必要とされていると考え、実施。感染症流行拡大に伴い、オンラインで実施。

⑦社会起業家を育成することで、地域に魅力的な仕事を作り出し、地域を活性化することができると考え、講座を実施。起業は、出産、子育て、介護などライフイベ ントとの両立がしやすく、柔軟で多様な働き方ができると注目されている。参加者の7割が女性。

令	【令和2年度(2020年度)に残った課題】
和	
2	カンラーンでの大幅に 1500で 良中の60 CC 9大幅 150で 当日 1 ラングで、応 57c 大 大幅 15次 大幅 15次 で 150 0 5 7 c。
年度課	
度	
課	
題	
^	【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】
の	・申し込み受付時点でのヒアリングや事前の説明など、丁寧に実施し、安心してトラブルなく受講できるよう配慮した。
取	「中し込み支付時点でのこうプラグで事前の説明など、」学に失心し、女心してドブブルなく支誦できるより記慮した。
IJ	
組	
組み	
状	
状況	
	【令和3年度(2021年度)に残った課題】
	①コロナ禍で進まなかった、期を超えた修了生との交流や意見交換の場の創出。
	①コロケ 間で進まながった。
	③講座構成や受講者へのわかりやすい内容提示。
令	④講座構成や受講者へのわかりやすい内容提示。
和	⑤特になし。
	⑥2級以上の実技を含む講座の実施。
3	⑦マインドを高めた受講生が、講座終了後次のステップへ向かうことのできる情報提供や団体連携等。
牛士	
年度課	
課	
題	
^	
の	
取	【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】
IJ	①フォローアップ講座や講座内グループワークの復活。
組	②特になし。
み	③講師との講座目的に関する密な共有。
方	④講師との講座目的に関する密な共有。
針	⑤特になし。
	⑥実施内容の検討。 ◎ はお客信はお機力ととしています。
	⑦情報発信や起業家セミナー・イベントなどの案内。
参画	
画	
会議	
の	
意	
意 見	

	目	標 だれもが	ともにいざいざと	:、個性と能力を	発揮できるまち												
施策の方向性	П	市民一人ひ	とりが活躍でき	る社会環境の整	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				担当部署								
具体的施策	9	女性のキャ	リアアップ支援						男女共同参画セン								
令和3年度(2 女女会 (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (3 で) (4 で) (4 で) (5 で) (5 で) (6 で) (7 (7 で) (7 (7) (7)	ーン男子のと第2 対象をはいる。 一、大学のは一次では、 一、大学のも、 一、大学のも、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	 (カレッジ ~今で は同参画社会の 、企業の成長戦 知識~いま、な 知識 目:鈴木桂樹氏(1) 一) [参加者] 学習会 や中小企業家同	は略としての男女共 なぜ、どんな男女共 熊本大学法学部名] 17人(男性) 友会と共催で実施	男女共同参画とダ 性の意識や企業 同参画、SDGs、L 同参画なのか 第 名誉教授)第2回 のべ28名	イバーシティ〜 ・組織の環境・制度 GBTなど男女共同 32回: SDGs×ジュ : 熊野たまみ氏(S	を変えることと女 司参画とダイバーシ こンダー平等×ダィ DGs de 地方創生	性へのエンパワメ νティについて学ぶ イバーシティ&イン ゲーム公認ファシ ^リ	ントは両輪で必 機会を創出する クルージョン第3 Jテーター) 第	ターはあもにい要。ウィメンズカレッジと 5講座とした。第1回:男 3回:多様性を認め合うだ 第3回:森あい氏(弁護 部門に焦点を当てて、テ								
			~10月の各月1回1 N企業家同友会女	性部会会長)[:		②5名 ③7名 ④7:											
指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)								
参 考 指 標	_		_	_	_	_	-	-	_								
				自己評価の評価基	- 準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新	「型コロナウィルスの	D影響により規模等縮小								
帝和3年度事業の分析 の対象には の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に	参画社 、SDG: ジタル 夏とした ケート	t会の実現のたら s、LGBTなどの 化の伸展が経営 まま改善できな からは「参加企)学習機会を作った 営にプラスを与える い状況にある。自 業の事例、取り組	識や企業・組織の こ。 っということを認識し 社の現状把握と言	ン、人材確保、ワ− 果題抽出および課	-ク・ライフ・バラン 題設定など、企業	スの向上などを重 の取り組みを前進	要項目として捉え	の成長戦略としての男 えているものの、実際は が析を中心に啓発機会を								
和 ・企業の意 2 年度 課題	哉がテ	レワーク導入に	前向きになり、女性		つながっているか	の実態把握に至っ	っていない。		【令和2年度(2020年度)に残った課題】 ・企業の意識がテレワーク導入に前向きになり、女性の働き方改善につながっているかの実態把握に至っていない。								
、【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 ・参加企業に対する後追い調査を実施し、状況把握を行う。 目 は																	
況	(2021	左帝)に従った	=田 旦百 ソ														
令和3年度 ①男性参加 ②定員の充 課題へ	率アッ 足。対		[し。 7を導入したい企業		診務・経理部門」と	したため、間口が犭	挟くなり、結果として	て申込みも少なが	かった。								
令和3年度課題への取り組み方針 【令男定 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の	率アッ 足。対 ((2022 参画の フィン対で	プと内容の見直 象を「テレワーク 年度)における。 基礎について等 する一般の認識	し。 7を導入したい企業 上記課題への取り 学び、女性活躍推 やニーズの読み取	組み方針】 進やダイバーシテ スり、「なぜ、男女も	ィの実現に向け自 も同参画センター:	社や業界で生かt がテレワークを推え	せる有益な情報提 進するのか」という	供。 テーマも含め、扌	かった。								

	目	標 だれもが	ともにいざいざと	:、個性と能力を	発揮できるまち												
施策の方向性	П	市民一人ひ	とりが活躍でき	る社会環境の整	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				担当部署								
具体的施策	9	女性のキャ	リアアップ支援						男女共同参画セン								
令和3年度(2 女女会 (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (2 で) (3 で) (4 で) (4 で) (5 で) (5 で) (6 で) (7 (7 で) (7 (7) (7)	ーン男子のと第2 対象をはいる。 一、大学のは一次では、 一、大学のも、 一、大学のも、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	 (カレッジ ~今で は同参画社会の 、企業の成長戦 知識~いま、な 知識 目:鈴木桂樹氏(1) 一) [参加者] 学習会 や中小企業家同	は略としての男女共 なぜ、どんな男女共 熊本大学法学部名] 17人(男性) 友会と共催で実施	男女共同参画とダ 性の意識や企業 同参画、SDGs、L 同参画なのか 第 名誉教授)第2回 のべ28名	イバーシティ〜 ・組織の環境・制度 GBTなど男女共同 32回: SDGs×ジュ : 熊野たまみ氏(S	を変えることと女 司参画とダイバーシ こンダー平等×ダィ DGs de 地方創生	性へのエンパワメ νティについて学ぶ イバーシティ&イン ゲーム公認ファシ ^リ	ントは両輪で必 機会を創出する クルージョン第3 Jテーター) 第	ターはあもにい要。ウィメンズカレッジと 5講座とした。第1回:男 3回:多様性を認め合うだ 第3回:森あい氏(弁護 部門に焦点を当てて、テ								
			~10月の各月1回1 N企業家同友会女	性部会会長)[:		②5名 ③7名 ④7:											
指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)								
参 考 指 標	_		_	_	_	_	-	-	_								
				自己評価の評価基	- 準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新	「型コロナウィルスの	D影響により規模等縮小								
帝和3年度事業の分析 の対象には の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に の対象に	参画社 、SDG: ジタル 夏とした ケート	t会の実現のたら s、LGBTなどの 化の伸展が経営 まま改善できな からは「参加企)学習機会を作った 営にプラスを与える い状況にある。自 業の事例、取り組	識や企業・組織の こ。 っということを認識し 社の現状把握と言	ン、人材確保、ワ− 果題抽出および課	-ク・ライフ・バラン 題設定など、企業	スの向上などを重 の取り組みを前進	要項目として捉え	の成長戦略としての男 えているものの、実際は が析を中心に啓発機会を								
和 ・企業の意 2 年度 課題	哉がテ	レワーク導入に	前向きになり、女性		つながっているか	の実態把握に至っ	っていない。		【令和2年度(2020年度)に残った課題】 ・企業の意識がテレワーク導入に前向きになり、女性の働き方改善につながっているかの実態把握に至っていない。								
、【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 ・参加企業に対する後追い調査を実施し、状況把握を行う。 目 は																	
況	(2021	左帝)に従った	=田 旦百 ソ														
令和3年度 ①男性参加 ②定員の充 課題へ	率アッ 足。対		[し。 7を導入したい企業		診務・経理部門」と	したため、間口が犭	挟くなり、結果として	て申込みも少なが	かった。								
令和3年度課題への取り組み方針 【令男定 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「令男」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の」で 「の	率アッ 足。対 ((2022 参画の フィン対で	プと内容の見直 象を「テレワーク 年度)における。 基礎について等 する一般の認識	し。 7を導入したい企業 上記課題への取り 学び、女性活躍推 やニーズの読み取	組み方針】 進やダイバーシテ スり、「なぜ、男女も	ィの実現に向け自 も同参画センター:	社や業界で生かt がテレワークを推え	せる有益な情報提 進するのか」という	供。 テーマも含め、扌	かった。								

施領	策の方向性	П	市民一人ひ。	とりが活躍でき	る社会環境の整備	担当部署				
具体	本的施策	9	女性のキャリ	リアアップ支援						男女共同参画課
	川組みの名称	_			いて、事業所の自					
	①市のホーム 	ペーシ	ジ上で、女性活	躍に関する情報も	ナイトの提供と周知を	を行った。(女性	のキャリア形成支持	援サイト、仕事の	と育児 カムバック支持	援サイト等) ー
令 和	②女性の活躍	応援 心事業	協議会くまもとに	にて、労働局から	の情報提供として女 推進法に基づくえる	性の活躍応援	協議会くまもとにて 情報提供を行った	、経済団体や党	労働者団体、関係団 体	を通じ「女性活躍推進
3 年 度										
度(③フンオ (おは	より!	長本巾)を活用し	した! ホンナイノア?	クション」や「固定的「	性別 役制分担。	忌・誠」につい (<i>の</i> / if	「釉提供や啓発	を行つた。	
2										
2										
年 度										
\smile										
実施概										
要										
				<u> </u>	1		1	<u> </u>		
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参					(1122)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
参考指				_	_		_	_		_
標										
					自己評価の評価基準	4: A 順調である	В あまり順調でない	C 順調でない	Z 新型コロナウィルスの影	と響により規模等縮小 ↑
価										
の 理						_				
由										
令				美の分析を行ってく 送付やホームペー	ください。 −ジ、ツイッター等SN	VISA 2215	シアの活田笙を活	田した国知を行	ニュニレができた	
和 3	正来-四体寺。	\ 0).)	一フレット寺の	医内 やホームハー	ーン、フィッダー等の	136,477	17の心用寺で心	用した同知で1.	JEZN CATE.	
年度										
事業										
の分										
析										
令和	【令和2年度(2				義会くまもと」につい [・]	て 新刑コロナ	カイルス成込庁坊・	ナの影響によい	関係が遅れた	
2	世後の情報徒	1共07/	成女である! 女	1生0万百吨1心7友 肋高	我去へよもと」」こ りい	し、机空コロノ	ノ1ル人心呆症仏.	人の影音により	用惟か遅れた。	
度課										
題	V	2001 5	- 	1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 =	AD a Ab YO					
への即	コロナ禍で集合	今開催	ははできなかった	上記課題への取り たが、7月に各団体		且状況や情報を	取りまとめ翌月に	共有することが	できた。その他の機会	での啓発や情報共有
取りの	は実施すること	とがで	きた。							
組みは										
状況										
令和			∓度)に残った詞 機会である「女	· ·	義会くまもと」につい ⁻	て、新型コロナ	ウイルス感染症拡:	大の影響により	対面での開催ができ	ず、活発な意見交換、
3年	情報交換の場									
度課題										
題への	【会和4年度/	2022¢	王庶)にむける	ト記理題への問じ	組み方針】					
取り	「女性の活躍」	芯援協	議会くまもと」	こついては、開催	時期・開催方法につ	いて、新型コロ	ナウイルスの感染	状況の見通した	が立たない中であって	も、書面やWEBも視野
取り組み方	に入れできるだ 	こけ早	・期に判断し開	惟する。						
方針										
		•••••			······					
参画										
会議										
の 意										
見	Ī									

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	10	多様な働き方への理解を促す情報の提供	男女共同参画セン
取り組みの名称	1	ワーク・ライフ・バランスに関する講座の開催等による啓発及び情報の提供	ターはあもにい

①女性のキャリアとワーク・ライフ・バランス

[内容] 当館館長より熊本市男女共同参画センターの業務の紹介・講座主旨の説明。その後ワーク・ライフ・バランスについて、ワークを組み込んだ講義を出前で行った。

[講師] 熊野たまみ氏(株式会社adapt next.代表、協働アドバイザー、コミュニティ・カウンセラー) [参加者] 32名(女性)

②テレワーク推進学習会

[内容] 熊本県中小企業家同友会と共催で実施(今期で4年目)。比較的テレワークが取り入れやすく、女性の就業率が高い総務・経理部門に焦点を当てて、テレワーク導入に向けた学習会を7~10月の各月1回行った。〈具体的内容〉自社の現状把握と課題抽出および課題設定、ツール活用例紹介、ツールを用いた分析法の紹介など

[講師] 鏡照美氏(熊本県中小企業家同友会女性部会会長)

3 │ [参加者] ①8名 ②5名 ③7名 ④7名 のべ27名

₹ |③第8期はあもにいウィメンズカレッジ(全10回)

[内容] 熊本市における男女共同参画社会の実現を目指し、政策や方針決定の場に参画し、活躍できる指導的地位に立つ女性人材の

発掘や養成を目的として開講。2021年度で8期となる。

澤田 道夫氏(熊本県立大学総合管理学部教授)、鈴木 桂樹氏(熊本大学法学部名誉教授)

野田 恭子氏(Career Wave代表/熊本学園大学招聘教授)、谷口 絹枝氏(日本近代文学研究者)

八幡 彩子氏(熊本大学大学院教育学研究科教授)、平野 みどり氏(元県議会議員) ほか

┃ [参加者] 20人(女性) のべ149人

。 実 |④テレワーク推進事業/コワーキングスペースの運営

を 2013(平成25)年5月に開設したコワーキングスペースの利用拡大やテレワークの啓発、推進のため実施。

概 |※新型コロナウイルス感染拡大防止による、市主催事業等の中止・延期の対応を受け、下記期間はスペース閉鎖および新規登録受付を停止。

^長 |期間:2021(令和3)年4月24日(土)~6月28日(月)、7月31日(土)~9月30日(木)、2022(令和4)年1月21日(金)~3月21日(月・祝) ※新規受付停止は3月31日ま 「で延長

2021(令和3)年度の新規登録者は12名(合計171名) 年間利用者のべ183名

⑤テレワーク推進事業/HPでの周知

当センターホームページで「テレワーク推進」ページを作成、情報提供を行っている。

2021(令和3)年度「テレワーク推進」ページの閲覧者(ページビュー数) 1,625

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座数	回	-	4	4	5	4	Α
	セミナー・講座 受講生数	Д	ı	365	311	391	300	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

|セミナー・講座・イベント数: 数値目標を達成しているため

『 セミナー・講座受講生数 : 数値目標を達成しているため

価の理由

年度課

組み状況

0

2

年

度

[講師]

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①ワーク・ライフ・バランスに関する個人ワークの回答を近くの席同士でシェアし、仕事と生活に対するそれぞれの考えや違いを体感する形で進行。「ワーク・ライフ・バランスを深く考えることで、自分の将来のためになると思った」などの声もあり、ワーク・ライフ・バランスへの理解・意識が高まっていることがわかった。

令 ②従業員の生き方・働き方が多様となってくる現代。それに対応できる人材育成・雇用継続との準備としてテレワークという新しい選択肢を示した講座。ICT活用、テ □ レワークといった会社体制の導入がワーク・ライフ・バランスの推進という効果も生み出す意識が芽生えたと考えている。講座後、2社が具体的な導入に取り組み始 3 めたという報告を受けた。

「③カリキャラムの第8回テーマ。受講生の声「自分のワーク・ライフ・バランスはどうだろうかと考えさせられた講座でした。なかなか地域社会との繋がりがない生活の中で、縦ではなく横との関わりもとても大切だとおもいました」「ワーク・ライフ・バランスについて、即、実際できる内容だと思った。他の参加者の方たちが、日々どんなことに注目して、何に取り組んでいらっしゃるのかを知り、一緒に頑張っていこう!!と思った」など、受講生の意識の高まりを感じた。

[6] |④ワーク・ライフ・バランスの実践につながる働き方の一つ、テレワークの推進は会館の重点項目と考え、実施している。

☆ ⑤ワーク・ライフ・バランスの実践につながる働き方の一つ、テレワークの推進は会館の重点項目と考え、実施している。 析 ┃

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

[】] ・テレワーク導入に関心はあるが、導入する時間やコストがないという企業担当者の声が多数あった。

題 【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

│・新型コロナウイルス感染症拡大により、ワーク・ライフ・バランスを推進するテレワークという働き方は、もはや企業の継続に必須の働き方となった。テレワーク導入 │|によるメリットを明確に打ち出して啓発していきたい。

参	
画	
会	
誦	
σ	
息	
兄	—

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	10	多様な働き方への理解を促す情報の提供	男女共同参画セン
取り組みの名称	2	テレワークをはじめとした柔軟な働き方に関する講演会や勉強会の開催等による啓発及び就業支援	ターはあもにい

①テレワーク推進学習会

| [内容] 熊本県中小企業家同友会と共催で実施(今期で4年目)。比較的テレワークが取り入れやすく、女性の就業率が高い総務・経理部門に焦点を当てて、テロンローク導入に向けた学習会を7~10月の各月1回行った。〈具体的内容〉自社の現状把握と課題抽出および課題設定、ツール活用例紹介、ツールを用いた分析法の紹介など

┃[講師] 鏡照美氏(熊本県中小企業家同友会女性部会会長)

度 [参加者] ①8名 ②5名 ③7名 ④7名 のべ27名

2テレワーク推進事業/コワーキングスペースの運営

0 |2013(平成25)年5月に開設したコワーキングスペースの利用拡大やテレワークの啓発、推進のため実施。

2 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止による、市主催事業等の中止・延期の対応を受け、下記期間はスペース閉鎖および新規登録受付を停止。 1 | 期間:2021(令和3)年4月24日(土)~6月28日(月)、7月31日(土)~9月30日(木)、2022(令和4)年1月21日(金)~3月21日(月・祝) ※新規受付停止は3月3

[|] | 期間:2021(令和3)年4月24日(土)~6月28日(月)、7月31日(土)~9月30日(木)、2022(令和4)年1月21日(金)~3月21日(月・祝) ※新規受付停止は3月31日ま | で延長

度 2021(令和3)年度の新規登録者は12名(合計171名) 年間利用者のべ183名

表 3テレワーク推進事業 / HPでの周知

| 2021(令和3)年度「テレワーク推進」ページの閲覧者(ページビュー数) 1,625

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座数	回	-	3	3	3	3	Α
	セミナー・講座 受講生数	人	-	170	190	210	200	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座・イベント数: 数値目標を達成しているため セミナー・講座受講生数: 数値目標を達成しているため

価の

理由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

^{††} ①多様な働き方を選択できるよう、それに対応できる企業を増やすことを最終目標に、テレワーク移行を目指したICT活用の業務改善を目指し、開講した。講座後、 ↑ 2社が具体的な導入に取り組み始めたという報告を受けた。

②ワーク・ライフ・バランスの実践につながる働き方の一つ、テレワークの推進は会館の重点項目と考え、実施している。 ③ワーク・ライフ・バランスの実践につながる働き方の一つ、テレワークの推進は会館の重点項目と考え、実施している。

度事

業の分

析

度

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和 ・会館として初めての完全オンライン連続講座として実施し、音声不調などオンライン特有の課題や、対面講座とは異なる参加者へのフォロー方法を考慮する必要 性を感じた。

課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、テレワーク導入が必然的となった企業も多い。はあもにいにおいてもオンライン講座の実績を積み、様々なトラブル対応や 参加者への配慮事項などをマニュアル化していきたい。

り組み状況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①定員の充足。対象を「テレワークを導入したい企業」、主な内容を「総務・経理部門」としたため、間口が狭くなり、結果として申込みも少なかった。

②感染症流行拡大によるスペースの閉鎖、交流の場の消失。

③情報更新がなかなかできていない。

年度課題

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

| ①テレワークに対する一般の認識やニーズの読み取り、「なぜ、男女共同参画センターがテレワークを推進するのか」というテーマも含め、推進の方法を再検討。 | ②感染症流行拡大が落ち着き次第、広報、周知。

③HP内容の見直し。

参	I
画	ı
会	ı
議	ı
の	ı
意	I
見	l

方

		目	示 /これもか	ともにいさいさと	≤、個性と能力を勢	光押 じざるまり				
施領	乗の方向性 アンティア	I	市民一人ひる	とりが活躍でき	る社会環境の整	E 備				担当部署
具体的施策 11 事業者と		事業者と連携	連携したワーク・ライフ・バランスの推進						男女共同参画セン	
令和3年度(20	組みの名称 ① 企業活動の先進的取り組み事例の紹介等、地場企業に向けたワーク・ライフ・バランスに関する情報提供 ターはあもにい ①テレワーク推進学習会 [内容] 熊本県中小企業家同友会と共催で実施(今期で4年目)。比較的テレワークが取り入れやすく、女性の就業率が高い総務・経理部門に焦点を当てて、テレワーク導入に向けた学習会を7~10月の各月1回行った。 [講師] 鏡照美氏(熊本県中小企業家同友会女性部会会長) [参加者] ①8名②5名③7名④7名のべ27名									
21年度)実施概要										
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標		_		_	_	_	_	-	-	-
					自己評価の評価基	準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z	新型コロナウィルスの	影響により規模等縮小
評価の理由										
令和3年度事業の分析	男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。 ①講師は長年テレワークに取り組んでおり、企業におけるツール活用例、ツールを用いた分析法の紹介などを講座内で実施。またヒアリングによる自社の現状把握 と課題抽出および課題設定のほか、個別相談会にも対応した。									
令和2年度課題	【令和2年度(2020年度)に残った課題】 ・チャットツールを活用し、過去の参加者の合同グループを作成したので、情報交換やテレワーク推進の場として活用していきたい。									
への取り組み状況	【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 ・企業のテレワーク導入後の取り組みについて、モデル事業や相談先の情報を講座の情報提供するなど、フォローアップしていく。									
和3年度課題へ	【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ①女性の活躍やワーク・ライフ・バランスの充実といった企業の風土や社会の意識。									
の取り組み方針	①定期的な情	報発(言とつながりが		との関わりの継続					
参画会議の										

		目:	標 だれもが	ともにいきいきと	:、個性と能力を発	き揮できるまち				
施策	 の方向性	п	市民一人ひと	 :りが活躍でき	 る社会環境の整	 備				担当部署
具体	的施策	11	事業者と連携	馬したワーク・	ライフ・バラン	スの推進				男女共同参画課
	組みの名称	1	企業活動の気	上進的取組事例	の紹介等、地場	企業に向けた	フーク・ライフ	・バランスに関	する情報提供	为文共同多画味
	男女共同参 対象者:市内 おお 開催 関開作	プロに居ないます。アルスのでは、アルのでは、ア	関する理解を深 住し、通勤し、3 10人以上見込 数: 6講座 : 597人 マ: ・セクハラ ・DV、デ・ ・LGBTの	めることを目的としては通学する者でまれる集会、研修 ・パワハラの防止ートDV(2講座) 基礎知識(2講座	:構成され、かつ、当 等を主催する市民 <u>:</u> (2講座)	á該出前講座への 及び事業者		うことにより、		
4	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 考 指			ランスをテーマの開催回数	回	5	0	0	0	5	С
標										
					自己評価の評価基準	集: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新	新型コロナウィルスの	影響により規模等縮小 ↑
評価の理由 令和3年度事業の分析	新型コロナワ	ウイル	ス感染拡大によ		(ださい。 百方式による研修カ LGBTやDVなど、の					
			年度)に残った詩 には新型コロナウ		防のための取組は	継続することとし	ているが、現段階	 での申し込み状況	の大きな改善は身	
への取り組み状況	必要に応じ	て、各	講座の講師のり		組み状況】 とお願いするなど、	個別の状況等に	柔軟に対応を検討	けしている。		
和3年度課題へ	感染拡大の	収束7		、講座受講者数6	り増加を図ることが	課題。				
の取り組み方針				:記課題への取り 犬況を注視しなが	組み方針】 ら、個別の状況等に	こ柔軟に対応を植	食討し、リモートでの	り実施を含めた講	座の開催を検討す	⁻ る。

ŧ,	参画会議の意見	
Ī	画	
1	会	
Ī	義	
(の	
į	意	
	見	

施贸	である。									
具体	本的施策	11	事業者と連携	患したワーク・	ライフ・バラン	vスの推進				子ども政策課
取り	組みの名称	_				者等へのワーク			W 1 = 7	
令和3年度(2021年度)実施概要	・令和2年度は	新型	コロナウイルス!	感染症の影響で募	集を中止していた	職場環境の整備を こが、令和3年度は 業認定事例集」を作	募集を再開し、新	規企業11社を含む	じ24件を新たに	忍定した。
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	認	定件	 数	件	77	77	92	116	260	В
指標										
										影響により規模等縮小 ↑
評価の理由 令和3年度事業の分	西									
			∓度)に残った誤 上をしたため、誤		付式等も実施でき	きず、制度の周知の)機会が少なかった	<i>t</i> =。		
への取り組み状況	制度の周知を	図る <i>†</i>	とめ、認定企業(–	憂良企業認定事 例	集」を作成し、企業	業や各大学へ配布	万を行い、市ホー	ムページにも掲載した。
和3年度課題へ	認定企業を増	やすが		にインセンティブカ		≧企業の声として、	「認定マーク」の作	成を希望する意見	見が多数聞かれ	た。
の取り組み方針	【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 令和4年度は認定マークの作成をはじめ、企業のインセンティブに繋がるような取り組みを進め、認定件数の増加に繋げる。									
参	••••••	•••••								
・画会議の意見										

	目材	票 だれもがとも	にいきいきと	こ、個性と能力を勢	発揮できるまち				
施策の方向性	П	市民一人ひとり							担当部署
具体的施策 		事業者と連携し							── 男女共同参画課
〒和3年度(2 ・男女共同参正 ・男女の ・男女の ・男女の ・男女の ・男女の ・男女の ・男女の ・男女の	画出前 プ)及 画に関 引に居	.び事業者等が主催 関する理解を深める 住し、通勤し、又は: 10人以上見込まれ 数: 6講座 : 597人	する研修等(ことを目的と 通学する者で る集会、研修 ワハラの防山 DV(2講座)	に講師を派遣し、専 している。 ○構成され、かつ、 ○等を主催する市民 上(2講座)	『門知識や経験を 当該出前講座への	生かした講座を行	うことにより、		
指	標	名	 単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 考 指 票	_		-	-	-	-	-	-	-
				】 自己評価の評価基	L 準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z	▲ 新型コロナウィルス <i>0</i>	D影響により規模等縮小
13 能となるため、 主度 しかしながら	今後、育児	の制度のあり方に [、]	ついて情報収 をの申込がな	集を行った。				未の万制収待・天	·婦間での交代取得も可
印 ①男女共同参 としたが、回答 変ワーク・ライ 課題	·画社: ・数が フ・バ	伸び悩んだ。 ランスに関する出前	業意識・実態 が0件と	こなっているため、1					WEB上での回答も可能 なるよう検討が必要。
が 取 り ②ワーク・ライ 組 み 犬 兄	画社: フ・バ		業意識・実態 対講座が0件と	調査の実施はない	ため、次回の実施企業や地域が興味	色に向けて引き続き 未を持って学習して	を情報収集を行う もらえるような魅	。 力のある講座 <i>と</i> な	なるよう検討が必要。
印 ワーク・ライン 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	フ・バラ		講座が0件と		≧業や地域が興味	を持って学習して	もらえるような魅力	カのある講座とな	るよう検討が必要。
以 育児・介護体 組 み ち 計	*業法	手度)における上記 が令和4年4月1日	から段階的に	こ施行されることを					検討する。
参 画 会 義 の 意 見									

施策	の方向性	П	市民一人ひと	とりが活躍でき	る社会環境の整	·····································				担当部署
具体	的施策	11	事業者と連携	隽したワーク・	ライフ・バラン	ノスの推進				フじも本生田
取り	組みの名称	3	育児・介護に	木業法など関係	法令の情報収集	[と周知				子ども政策課
ے	子育て支援優また、熊本市 また、熊本市 男知を図ってし	木一.	*業」として応募 ムページの「若	のあった企業を訪 年層に対する少子	i問した際、情報収 子化に関する情報	7集した育児・介護 提供・意識啓発事	休業法の制度概要 業」の中で、子育で	要について周知を でしやすい職場環境	図った。 竟の整備の必要性	生について掲載し、広く
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 考 指		_		_	_	_	_	_	_	_
指 –										
1示										
					目己評価の評価基 	·準: A 順調である 	B あまり順調でない 	C 順調でない Z 新	「型コロナウィルスの 	影響により規模等縮小 ↑
評価										
の理由										
由										
令				の分析を行ってく		佐久にウはて 声:	並に入業ににこて	- LASTEL AS A	>**!-+\ハナ!+ -	├
和 3	られる平も月の 多かった。	月元	,几度怀未达0		□和4十段からの)	加1リーPリアで、争	別に正来に伝える	ことができたが、1	と未にのいては、さ	まだ認識がない企業も
令和3年度事										
業										
の分析										
ᆜ	今和2年度(2	ባ2በ	F度)に残った詩	型題】						
和 2	13和2千及(2	.020-	ドラバース ブロ							
年度課										
課題										
の	令和3年度(2	2021호	F度)における上	上記課題への取り	組み状況】					
取り組										
組み状況										
	今和3年度(2	0021左	F度)に残った詩	型兒 】						
和日					又得の促進などが.	進められる中で、1	企業が自社にあわ	せた両立支援制度	度を取り入れること	こができるよう支援する
年度課	ひ安かめる。									
題										
の【) 【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】									
り組	【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 企業に向けた両立支援制度に関するセミナーの実施や、子育て支援優良企業認定事業の周知を図り認定件数を増やすなど、企業の両立支援制度の充実に向け、 社会全体の機運醸成を図る。									
取り組み方針										
		•••••								
参 画		•••••								
参画会議の		•••••								

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	12	子育て・介護に関する支援	子ども・若者総合相
取り組みの名称	1	「児童手当」「子ども医療費の助成」等、子育て家庭に対する経済的な支援や相談体制の充実に向けた取組	談センター

総合的相談事業

令

和

3 年

度

2 0 2

年

度

実施概要

・子ども・若者に関する相談に応じ、関係機関の紹介、情報の提供及び助言を行い早期支援につなぐ。 電話相談(平日8:30~21:00)、面接相談(平日8:30~17:15)、メール相談を行っている。

〇令和3年度 相談の状況

-総相談実件数 2,892件

年度	電話	面接	メール	合計
2	6,382	16	350	6,748
3	2,364	26	502	2,892

•相談対象者別の実件数

	THEORY SALES OF THE SALES OF TH									
ź	年度		乳幼児	小学生	中学生	高校生	その他の10代	20歳以上	不明	合計
	2	件	327	649	454	344	218	3,598	1,158	6,748
	2	%	4.8	9.6	6.7	5.1	3.2	53.3	17.2	100
	2	件	75	273	222	208	26	2,022	66	2,892
	3	%	2.6	9.4	7.7	7.2	0.9	69.9	2.3	100

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	子ども・若者総合相談センター	件	7,433	6,036	6,748	2,892	2,900	_
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

令和3年度の取組み方針である子ども・若者が抱える問題の早期発見のための広報啓発活動、及び支援に繋げるための関係機関との連携の強化、並びに複雑か 評 つ深刻化した相談に必要な的確な判断と情報提供等を行うための相談員研修などにより目標達成出来た。 価

理由

の

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

・当センターは、こども・若者に関する相談に応じ、関係機関の紹介、情報の提供及び助言を行い早期支援につないでいる。

全ての相談者に対し、傾聴し、気持ちに寄り添い対応している。

開所から8年を経過し、相談者の傾向として初回相談者よりも継続相談者の割合が高くなっている。

相談対象者別の傾向として、20歳以上については、将来不安・生活問題に関する相談が増加傾向にあり、必要に応じて関係機関の案内及び連携を行った。 また、若者自身の相談件数が増加(長期化)しており、精神的不安や人間関係の悩みなど直接支援につなげない気持ちの受け皿となっている。

度事業の分析

和

3

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・相談内容の複雑化・深刻化に対応するため、引き続き相談員へのスキルの向上及び相談員間の情報共有が必要。

・第5回子ども・若者支援地域連絡会議にて、相談者の課題について早期発見・早期介入及び連携の重要性を再確認。

2年度課題

の

和

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・相談内容の複雑化・深刻化に対応するため、引き続き相談員へのスキルの向上及び相談員間の情報共有が必要。

取り組み状況

度課題

組み方針

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・相談員間の情報共有と実務相談に沿った課題を題材に外部講師による研修をより充実し、相談員の資質並びに対応力の向上を目指す。

・継続相談者について、個別に抽出・管理し、相談員間の情報共有を行い、状況の変化に応じた円滑な支援へつなぐ。

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

72

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	12	子育て・介護に関する支援	フ ド 4 十 4 平 - 田
取り組みの名称	1	「児童手当」「子ども医療費の助成」等、子育て家庭に対する経済的な支援や相談体制の充実に向けた取組	子ども支援課

①児童手当の支給

和3年度(2021年

度

実

施

概

要

次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学生以下の子どもの養育者に「児童手当」を支給する。

支給額(月額)

 日本
 日本
 日本
 15,000円

 日本
 日本
 15,000円

 第1子・第2子
 月額
 10,000円

 第3子以降
 月額
 15,000円

 中学生
 月額
 10,000円

所得制限 夫婦+子ども二人の場合 収入960万円(所得736万円) ※扶養人数一人につき、所得額にて38万円増減あり 夫婦+子ども一人の場合 収入917.8万円(所得698万円)

〈実 績(各年度2月末)〉

年度	受給者数(人)	支給児童数(人)						
H28.2月定期時	56,221	95,668						
H29.2月定期時	55,751	94,947						
H30.2月定期時	55,435	94,666						
H31.2月定期時	54,945	94,192						
R2.2月定期時	54,502	93,380						
R3.2月定期時	53,808	92,278						
R4.2月定期時	52,149	89,361						

②子ども医療費助成(ひまわりカード)

養育者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの健康保持と健全な育成を図るため、子どもの医療費を助成している。

また、平成30年1月受診分から助成対象者を小学校3年生から中学校3年生までに拡充し、平成30年12月受診分から小学校4年生から小学校6年生までの自己負担額を1200円から700円に改正した。

〈実 績〉

年度	助成件数
H27	1,102,435
H28	1,071,042
H29	1,075,328
H30	1,113,418
H31	1,171,100
R2	925,320
R3	1,017,390

平成30年1月から中学3年生まで拡充 平成30年12月から自己負担額改正

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	①児童手当の支給	人	94,192	93,380	92,278	89,361		Α
	②子ども医療費助成(ひまわりカード)	件	1,113,418	1,113,418	925,320	1,017,390		Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

①児童手当の給付

」児童手当の申請を受け支給要件を満たす者について認定し児童手当を支給を行っている。また、6月に現況届を送付し、届出のあった者については、継続認定し、児童手当の支給を行っている。

の②子ども医療費助成

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①児童手当の給付

中学生以下の子どもの養育者に支給を行い、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援している。

②子ども医療費助成

度 H30.12月に子ども医療費助成制度の自己負担額を入院・通院ともに小学校4年生から小学校6年生までを1200円から700円に改正し、現行制度が継続するこ事 とで、経済的に厳しい状況にある子育て世帯に対して、突発的な支出となる医療費を補助することで安定した生活を築くことができ、児童のさらなる健全な生活環境 業 づくりに寄与している。

計【令和2年度(2020年度)に残った課題】

②子ども医療費助成

2 より有効な検証を行うには、当該事業の実績だけではなく、制度改正における市民の負担感等を把握する必要がある。 年

題 【 へ【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の②子ども医療費助成取りませんの名は

制度改正前後の負担感及び、子育て施策について市民アンケートを実施し、市民の負担感等を把握した。

み状況

組

分析

度課

令	【令和3年度(2021年度)に残った課題】
和	
1 2	②子ども医療費助成
3 年	市民アンケートの結果、「対象年齢を拡大してほしい」「診療代と薬代と両方掛かるのは大変」という意見が多く、経済的負担の軽減の要望に答える必要がある。
年	「カン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
度	
課	
題	
^	
മ	【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】
H77	
取	②子ども医療費助成
19	経済的負担の軽減の要望に答えるため、対象年齢の拡大等実現に向けて検討する。
組	柱が町貝担の軽減の安全に合えるにの、対象中断の拡入寺美境に向いて快割する。
み	
方	
針	
	!
•••••	
参	
画	
会	
議	
の	
意	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	12	子育て・介護に関する支援	贝 克幼 狄 国迪
取り組みの名称	2	多様なニーズに対応した保育サービスの充実等待機児童解消に向けた取組	保育幼稚園課

- ①平日保育サービス・・・幼稚園から認定こども園への移行、地域型保育事業の普及促進により、保育の受け皿を165人増加。
- ②延長保育サービス・・・実施園 公立 19園 私立238園(内、助成154園)
- ③一時預かり事業・・・実施園 公立19園 私立154園(内、助成9園)

|④障がい児保育サービス・・・実施園||公立19園(中度より重い8人、中度13人、軽度108人)| 和

私立87園(中度より重い20人、中度34人、軽度233人)

⑤児童発達支援事業・・・実施園(併設) 公立4園 私立3園(内訳:保育園1、幼稚園1、NPO法人1) ⑥保育所等職員研修・・・保育所等職員(認定子ども園、私立幼稚園等職員を含む)が子どもに関わる多くの課題に対応できるよう

知識と技術を学び、より高い専門性を身に付けていくため、人権保育研修会、障害児保育研修会等、当初予定20回 ⇒2回(集合研修にて)実施した。回数の減少は新型コロナウイルスの影響によるもの。

⑦保育サービス第三者評価の実施・・・実施園(累計) 公立20園(平成26年度で終了) 私立53園

⑧認可外保育施設への指導及び支援・・・保育環境の充実と児童の処遇向上のため立入調査を実施(当初予定44施設→実施施設34施設) 2 園児賠償責任保険、職員研修費、児童や職員の健康診断費、医薬・衛生材料の購入 1

経費及び調理担当職員の検便経費、防災設備や衛生管理を適切に行うための備品購

入経費、乳児保育及び障がい児保育への支援を行った。

度 ⑨幼稚園就園奨励費補助···私立17園(対象人数2,231人)

度

年

⑩潜在保育士の再就職支援・・・保育士不足を解消するため、保育士就職支援研修会を年2回(7月.1月)実施した。

また、保育士再就職支援コーディネーターを1名配置し、再就職を希望する保育士に対する支援(相談、あっせん等)を行った。

⑪保育士等の処遇改善・・・私立保育所等における人材確保対策を推進する一環として、保育士等の処遇改善に取り組む施設へ資 要 金の交付を行った。

	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
	平日保育サービス 待機児童数(3月1日現在)	Д	590	734	455	338	減少	А
	延長保育サービス実施園数	箇所 (園)	公立19園 私立244園	公立19園 私立241園	公立19園 私立217園	公立19園 私立238園	拡大	В
	ー時預かり事業 実施園数(私立助成)、延利用者 数	箇所 (園)(人)	10か園 11,378人	10か園 10,309人	9か園 7,837人	9か園 6,881人	拡大	С
参	障がい児保育サービス 実利用者数(軽度・中度)	,	公立(軽度99人、 中度14人、中重 9人)私立(軽度 186人、中度30 人、中重15人)	度194人、中度	公立(軽度108 人、中度13人、 中重8人)私立(軽 度221人、中度 42人、中重24人)	33人、中度34	拡大	Α
参考指標	児童発達支援事業 実施園数	箇所 (園)	公立4か園 私立3か園	公立4か園 私立3か園	公立4か園 私立3か園	公立4か園 私立3か園	拡大	А
	熊本市保育所職員合同研修会実施		19回	17回	2回	10回	拡大	Α
	保育サービス第三者評価の実施 事業を実施した保育所数(累計)	箇所 (園)	公立は終了 私立46か園	公立は終了 私立52か園	公立は終了 私立53か園	公立は終了 私立54か園	公立は終了 私立は拡大	А
	総円外体目他設への指導及の文 援 助成施設数	施設数	99施設	123施設	14施設	34施設	拡大	В
	幼稚園就園奨励費補助 該当者数、事業費(減免及び補助 額)	人 千円	2,917人 385,577千円	2,231人 144,032千円	幼児教育・保育 無償化に伴い事 業廃止	幼児教育・保育 無償化に伴い事 業廃止	-	-
	潜在保育士の再就職支援	人	▪研修会参加 25人	•研修会参加 14人	·研修会参加 15人	•研修会参加 18人	拡大	В
	保育士等の処遇改善	施設数 千円	250施設 1,911,782千円	252施設 2,196,940千円	256施設 2,291,500千円	257施設 2,341,530千円	拡大	А

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

- ①入所申込数は増加しているものの、待機児童数は減少したため。
- ②令和2年度よりは増加したものの、全体では減少傾向であるため。
- ③新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少したため。
- ④障がい児の保育所等での受け入れは、公立・私立とも増加傾向にあるため。
- ⑤児童発達支援事業の実施園は変わらないが利用者は年々増加しているため。
- ⑥新型コロナウィルスの影響により、実施予定であった18回が中止となったため。
- ⑦第三者評価が実施されたため。
- ⑧新型コロナウイルスの影響により、立入調査の対象施設を新規開所施設及びベビーホテルに絞って実施したため。

⑩新型コロナウイルスの影響により、予定していた就職フェアが2回のうち1回が中止となったが、就職研修会は、予定通り2回実施でき、相談対応や就職あっせん から就職後のフォローアップまで継続した支援で、潜在保育士の掘り起こしが進んでいるため。

⑪私立認可保育所が257施設に増加し、職員の賃金改善が図られたため。

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。 ①待機児童の解消に向け、保育の受け皿を拡充し、3月1日現在の待機児童数は455人であるが、令和3年4月1日 現在の待機児童はゼロとなった。 ②新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度よりは増加したものの、全体では減少傾向である。 ③新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少した。 和 |④障がい児の保育所等での受け入れは、公立・私立とも増加傾向にあり、順調に推移している。 ⑤新型コロナウイルスの影響で利用者の制限を行ったため、利用者数は減少しているが、巡回相談保育園の障がい児保育のアドバイスなどの成果もあげている。 ⑥保育所職員等の子どもに関わる多くの対応の中で特にニーズの高い、人権保育及び障害児保育の2分野について人数制限を行う中で集合型研修を開催すること |で保育士の質の向上に努めた。 ⑦第三者評価が実施された。 │⑧新規に開所した認可外保育施設及びベビーホテル34施設に対し立入調査を実施。認可外保育施設における児童処遇や保育環境の向上を図り、保護者が子ども മ 分 を安心して預けられる環境整備に努めた。 ⑪就職フェアや研修会を感染対策を講じて開催し、就職支援を行うことで、保育所等の保育士確保を支援した。 ⑪私立認可保育所が257施設に増加し、職員の賃金改善が図られた。 【令和2年度(2020年度)に残った課題】 ①未満児の受け皿の増加を図るなど、実質的な待機児童解消に努めていく必要がある。 ②今後も目標値である全園での実施に向け、未実施園に対し事業実施を働きかけていく必要がある。 令 ┃③一時預かりの受け入れが進むよう、さらなる支援の充実に努めていく必要がある。 和北今後も保育所等での障がい児の受け入れが進むよう、障がいの程度や保育士の配置状況等を踏まえ、さらなる支援の充実に努めて いく必要がある。 ⑤療育のスキルを上げること、保育所の障がい児保育の指導い例も増えている。療育と指導の両立が課題。 ⑥開催時期、研修テーマ、講師等を検討し、保育ニーズに即した研修をオンライン等を利用した形で継続して実施していく必要がある。 ⑦今後も未実施園に第三者評価の実施を促進していく必要がある。 題 8 令和元年度以前に立入調査を実施した施設を含め、改善が見られない施設に対し、継続して指導を行っていく必要がある。 Ѿハローワークや県福祉人材センターと連携のうえ、潜在保育士に対するきめ細やかな支援を行う必要がある。 ⑪賃金改善等保育士等の処遇改善を行うよう促進していく必要がある。 取 組【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 |引き続き上記課題への取り組みを進めることで、多様なニーズに対応した保育サービスの充実や実質的な待機児童解消の実現を目指す。 状 況 【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ①保留児童をふくめた実質的な待機児童解消に努めていく必要がある。 ②今後も目標値である全園での実施に向け、未実施園に対し事業実施を働きかけていく必要がある。 令 ■③一時預かりの受け入れが進むよう、さらなる支援の充実に努めていく必要がある。 |和||④障がい児の保育所等での受け入れは、公立・私立とも増加傾向にあり、順調に推移してと共に、重度の障がいや医療的ケア児の保育ニーズへの対応に努める必 3 要がある。 年 | ⑤児童発達支援事業の実施園は変わらないが周りの放課後デイサービス等の増加により、利用者の選択肢は増えている。質の向上が課題。 度 | ⑥新型コロナウイルス感染症の影響で集合型研修を開催が厳しくなったことにより、オンラインに切り換えて質の向上に努めた。 ⑦公立保育所の評価終了から期間が空いている。更新が必要。 題 8 新型コロナウイルス感染症の影響により、全施設への立入調査が実施できていない。 |⑩再就職を希望する保育士に対する支援(相談会)が、新型コロナウイルスの影響により予定通に実施できていない。 取 ⑪引き続き賃金改善等保育士等の処遇改善を行うよう促進していく必要がある。 L) 組 3 方 針 画

参 画 会 議 の 意 見

		目	標 だれもが	ともにいきいきと	≤、個性と能力を発	揮できるまち				
施策	の方向性	I	市民一人ひ	とりが活躍でき	る社会環境の整備	Ħ				担当部署
具体	的施策	-		護に関する支援	<u>-</u> ー・サポート・1					一 青少年教育課
令和3年	電視 では、日本にて足められた。放麻後光星又接負認定負格研修」を本用で開催し、41名が受講し、38名が負格認定を受けた。 ②施設整備の充実 厚生労働省が定める面積基準である児童1人当たり1.65㎡を満たすよう狭隘施設の整備を進めており、プレハブ施設を1ヶ所新設し、学校製所行った。									
	指	標	 名	単位	基準値 (H30)	 実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標	児童育成	クラ	ブ開校施設	箇所	91	92	92	92	92	А
					自己評価の評価基準	: A 順調である	B あまり順調でない	C順調でない Z新	f型コロナウィルス <i>の</i>)影響により規模等縮小 ↑
令和3年度事業の分析	日標を達成しているため 男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。 ①主任支援員を配置することにより、適切な児童への指導及び円滑なクラブ運営を行うことができた。 ②施設整備については、施設増設による規模の適正化を図り、児童の生活環境を改善することができた。 また、新たに11のクラブで高学年受け入れを行い、保護者の就労等の機会の確保に繋がった。									
和2年度課題	・前年度に引	き続き		もがを狭隘なクラフ	ブについて環境整備	を行う必要があ	5 శేం			
の取り組み状況	・適切な規模で	で実が	をするため、学校		組み状況】 レハブ施設の建設な	さどで既存クラ	ブ室の別室を新たい	こ開設した。		
令和3年度課題への取る	【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ・前年度に引き続き、基準条例に基づき狭隘なクラブについて環境整備を行う必要がある。 【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 ・適切な規模で実施するため、学校施設の利用やプレハブ施設の建設などで既存クラブ室の別室を新たに整備し、希望する保護者(入会には就労等の要件あり)が利用できる環境をつくることにより、男女がともに就労等で社会に参画できる機会の確保に努めていく。									
参画会議の意見										

		目	標 だれもが	ともにいきいきと、	個性と能力を発	揮できるまち				
施領	後の方向性	П	市民一人ひと	りが活躍できる	社会環境の整備					担当部署
具体	本的施策	12	子育て・介護	護に関する支援						│ 一 子ども支援課
取り	組みの名称	3	児童育成クラ	ヺブ、ファミリー	・サポート・セ	ンター、病児・	病後児保育事業	美等による子育で	乙支援	一 するも又抜味
	(1) ファミリー・サポート・センター〈熊本〉 【会員数】依頼会員 2,372人 協力会員 746人 両方会員 69人 計3,187人 【ファミリーサポートセンター講習会】 ①会員講習受講者 (依頼会員…毎月、協力会員…年4回) (1)依頼会員231人 (2)協力会員30人 計258人 (内、両方会員2人) ②フォローアップ講習受講者 ⇒中止(新型コロナウイルス感染拡大のため) ③地区交流会参加者数 22人(しめ縄つくり) ④協力会員交流会 26人(会員からの活動発表 3名の方より体験談、フォスタリングアグリより里親制度について、意見交換) ⑤全体交流会参加者数 92人(親子でバルーンアート体験!) ⑥出張講習会⇒中止(新型コロナウイルス感染症の拡大のため) (2)病児・病後児保育 児童が病気あるいは病気回復において、保護者が家庭で保育を行うことができない期間、一時的に施設で保育を行う。									
年										
度)	エーネホー	<u>施設</u> ハ	(名	利用者数(H29) 671	利用者数(H30) 574	利用者数(R1) 470	利用者数(R2) 37	利用者数(R3) 61		
実	みるく病児		<u> </u>	701	646	694	250	391		
施概	グリム病児	保育室		717	619	626	148	180		
要	キンダーハ	•		614	556	-	-		※H30年度で事	業廃止
	病児保育 <i>み</i> 病児保育エ			1,526 904	1,151 746	1,392 695	699 384	1,008 406		
	病児保育室	いちこ		480	517	451	172	263		
	病児・病後リ			948	844	732	295	374 276	※D1左0日か こ	車 ₩ 閏₩
	ヘニーヘア	<u>ホール</u> 合記	▲熊本乳児院 計	- 6,561	- 5,653	276 5,336	189 2,174	3,059	※R1年6月から	尹未用炻
						(1-	/			
糸	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3) 	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考	ファミリー・サ	ポート 件数	・・センター活動	件	2,738	2,317	2,441	3,399	_	Α
指標		11 22	•							
1234										
評価の理由 令和3年度事業の分析	(1)ファミリー・ ・市政だより(2)病児・病	ナポー のほ <i>だ</i> 多児伢	トセンター事業 か、熊本市LINE ⁷ R育事業	の分析を行ってくだ などのSNSを活用し 響下にあっても、地	会員募集を行うな					
令			丰度)に残った課	· — —						
和 2			-トセンター事業 ′ア団体との連携	等により協力会員	の確保を図る。					
年				の確保を図る。(新		の影響により令和3	年度へ延期)			
度課題	 (2)病児・病{ ・近隣自治療	–		て話を進めており、	令和3年度に協力	∃締結を行う。				
^ E				:記課題への取り組						
	(1)ファミリー・	サポー	-トセンター事業				<u> </u>			
り組				ら子育てほっとサポ 且親の獲得を目指す						
H	(2)病児・病後	見保	育事業			ᄦᆉᅜᅥᄝᆀᅄᇄ거 ᅑ	. ᆽᄼ <u>쌔ᄶ</u> ᅜᆫᄌᄱ	ن <i>در</i> د		
状況	・令和3年度	に新た	とに益城町と相2	互利用についての協	協定を締結した。					
令			丰度)に残った課							
和 3	(1)ファミリー ・協力会員 <i>0</i>		トセンター事業							
年度課題	(2)病児・病後	火児保	育事業	て話を進めており、	令和4年度に協定	'締結を行う。				
<u>へ</u>				:記課題への取り組	み方針】					
取り			-トセンター事業 ⁵ ボランティア団	体との連携等により	」協力会員の確保:	を図る。				
組み	(2)病児•病征		R育事業			_, , , ,				
方針	I*連携目治体(ル協定	ミ締結及び相互:	利用についてホーム	ムベージやチラシ等	テで周知を行う。				

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

施領	E策の方向性 Ⅱ 市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備 担当部署										
具体	-体的施策 12 子育て・介護に関する支援									子ども政策課	
	J組みの名称 ④ 子育て応援団体等が主催する子育てイベントの周知強化等による誰もが参画できる子育て支援 熊本市結婚・子育て応援サイト(以下「サイト」)において、子育て支援に関する各種制度やイベントの紹介、子育てに関するQ&Aの他、親子にやさいおでかけマップ、病児・病後児施設空き状況照会システム、保育所等空き状況システムなどの検索機能を搭載し、最新の情報を提供している。また、子育て応援団体等の団体情報やイベント情報をサイトに掲載し、さらに市公式LINEなどで配信を行うなど、利用者へのブッシュ型広報にも積極的に取り組んだ。行政のみならず民間団体の広報を支援することで、多くの主体が参画し、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを推進している。										
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参考指標	サイトへ	のア	 クセス数	件	3,255,034	3,349,213	10,625,221	13,407,737	3,450,000	Α	
指標											
					 自己評価の評価基準	: A 順調である	 B あまり順調でない	C 順調でない Z 親	 「型コロナウィルスの景	災響により規模等縮小 ↑	
評価の理由	毎年、アクセス	く数が	増加しているた	:め。							
〒和3年度事業の分析]	・子育て等に問 ・民間団体の	員するイベン	民間団体のイクトは、母親と子の	どものみならず、ダ	ださい。 責極的行い、市公式 と親と子どもの遊び(LINE等もあわt こ関するイベン	せて配信を行ったこ トも複数あり、男性	とでアクセス数も [‡] の育児参画に寄 <i>[‡]</i>	曽加した。 うした。		
	子ども食堂なる	ど、子		る団体は増加してい	いる中で、子育て応 持	援団体の新規領	登録が3件と前年比	であまり増加しな	かった。		
の取り組み状況。	子育てを支援	する団	団体で登録して		祖み状況』 て、サイトを活用する	るメリットなどを	伝え、新規登録を積	責極的に案内した。	ことで、10団体には	曽加した。	
和3年度課題へ	民間団体にお	いて、		が増えているものの	つ、子どもの未来応打						
の取り組み方針	【令和4年度(子どもの未来	2022至応援基	∓度)における」 基金助成団体∜	ニ記課題への取りホ >子ども食堂の団々	組み方針】 本に対して、サイトを	活用するメリッ	トを伝え、さらに登録	緑数を増加するよ	う取り組みを行う。		
参画会議の意見											

 亜策の方向性	T 1		と、個性と能力を ・る社会環境の整					担当部署		
具体的施策	12 子育て・介護	隻に関する支援	į					人 遊児吟钿		
以組みの名称			障がい者に対す					一 介護保険課		
 1 介護保険制度に係る適正な要介護認定並びに良質な介護サービスの提供のための研修を行った。 ①介護認定審査会委員研修 ②介護認定調査員研修 2 介護保険制度の市民の理解や効果的な介護サービス利用のために情報発信等を行った。 〇介護保険情報誌「介護保険知得情報」、パンフレット「くまもとの介護保険」の発行 ○市政だより・ホームページによる広報 										
指	標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R5)	自己評価(A·B·C·Z		
参 65歳以上の 言 票	元気高齢者の割合	%	78.17	78.31	78.75	78.94	78.46	A		
			 自己評価の評価基準	↓ έ. Λ ∥百囲で ある [2 あまい順調でない	こ 順調でない フ 新	・ 刑コロナウィルフ <i>の</i>	影響により規模等縮小		
_ 高齢化が進む	ン中、要介護認定率が	低下しており、65					, /-/////////////////////////////////	** 目・一い ハルド 寸相り		
平 西 D 里 由	画の視点を踏まえ事業		/ L\$ \L.							
・介護サービス利用前の介護サービス事業者からの説明の理解度 84.3% ・居宅介護(予防)サービスの満足度 78.7% ・不満の理由 利用限度額内での受けられるサービス量が少ない 【施設サービス利用者】 ・施設入所前の施設から説明の理解度 88.9% ・施設サービスの満足度 88.0% ・不満の理由 利用料金が高い 等 ※アンケート名:「熊本市介護サービスアンケート調査」 対象者: R3.8月現在介護サービス利用者 対象数: 2,235名 回答数: 1,014名(回答率 45.4%)										
中 ・介護保険 を ま ま ま ま ま ま	(2020年度)に残った課 制度を適正に運用して	いくために、継続		人々への周知徹原	底が必要。					
	(2021年度)における上 負等の介護保険制度に									
帝 【令和3年度 ・介護保険制 あること。 果 盟	(2021年度)に残った課 度を適正に運用してい	くために継続して		々への周知徹底が	、必要であること、	自立支援•重度化	防止の取組に係	系る更なる工夫が必 <u>!</u>		
┆┆╸継続して、説	(2022年度)における上 恩定調査員等の介護保 作成するケアマネジャ	と険制度に関わる	人々への研修を乳	ーーーーーー 実施する。 深めていく。						
参 画 会										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	12	子育て・介護に関する支援	『辛む』、人口 /ひ ケラナル 三田
取り組みの名称	5	施設・在宅介護等高齢者・障がい者に対する介護・福祉サービスの充実	障がい保健福祉課

1①児童発達支援

障害児につき、児童発達支援センター等に通わせ、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行った。

〇実施事業所:87カ所(令和4年3月31日時点)

〇自己負担額:原則サービス利用料の1割 (生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

② 放課後等デイサービス

学校に就学している障害児につき、授業の終了後又は休業日に児童発達支援センター等に通わせ、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行った。

〇実施事業所:168カ所(令和4年3月31日時点)

〇自己負担額:原則サービス利用料の1割 (生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

: ③短期入所事業

和

2

度

施

理由

業の分析

〇実施事業所:指定事業所27カ所(令和4年3月31日時点)(うち、障がい児を「主たる対象者」としている事業者13カ所)

〇自己負担額:原則サービス利用料の1割(生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

4 障がい児等療育支援事業

家庭訪問、外来による療育相談指導、福祉サービス情報提供、総合的支援などを行った。

- ┃ ○実施施設:くまもと江津湖療育医療センター、三気の家、熊本県こども総合療育センター(外来療育のみ)
- 〇在宅支援訪問療育指導事業:1件
- 〇在宅支援外来療育指導事業:488件

要 ⑤夏休みの障がい児・家族支援事業

。 夏休み期間中、小中学校・特別支援学校在籍の障がいのある児童を日中の間預かることにより、障がいのある児童の健全育成、家族の介護負担の軽減を図った。

※平成29年度以降、事業休止 ⇒ ②に記載の「放課後等デイサービス」へ移行

6居宅介護事業

日常生活を営むことが困難な重度の心身障がい児等がいる世帯に対して、ホームヘルパーを派遣し、適切な家事・介護などの障害福祉サービスを提供した。 〇実施事業所:88箇所(令和4年3月31日時点)(うち、障がい児を「主たる対象者」とする事業所84箇所)

〇自己負担額:原則サービス利用料の1割(生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
	①実施事業所数 ※基準値は、 児童発達支援の事業所数	箇所	55	67	77	87		Α
\$	放課後等デイサービスの事業所 数		103	129	113	168		Α
参考指標	③サービス延べ利用日数(児童のみ)	日	4656	4190	2512	2,345		Z
標	④実施件数 (在宅支援訪問療育指導事業)	件	45	19	1	1		Z
	④実施件数 (在宅支援外来療育指導事業)	件	1693	1449	500	448		Z
	⑤実施箇所数	箇所						
	⑥サービス延べ利用日数(児童のみ)	時間	6737	6712	6535	8289		Z

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

①②事業所数が順調に増えており、事業所選択の幅が広がっているため。

評 ④R2年度から児童発達支援センター機能強化事業を東区で開始したことに伴い、事業を実施する事業所が4ヵ所から3ヵ所に減少したこと、また新型コロナの影響 で実施件数は減少している。ただし、児童発達支援センター機能強化事業の中でも療育指導を行っており、サービスの需要には対応できていると考えられる。 の ⑤放課後等デイサービスの充実を図ってきたことから、利用者のニーズがなくなっているため、H29以降事業休止

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

□ | ①②利用者数は今も増え続けており、事業所数も同様に増え続けている。

| | ④当事業については、障害福祉サービス受給者証を持たないこどもやその保護者を支援し、男女にかかわらず利用ができる事業である。近年は、定期的に療育を | | 行う児童発達支援や放課後等デイサービスを利用する利用者の増加により、障がい児等療育支援事業の実施件数は減少傾向にあるが、R2年度から南・東区で | | 開始した児童発達支援センター機能強化事業の中でも療育指導を実施している。

⑤放課後等デイサービスが充足してきたことから、本事業の必要性が低下しているため、H29以降事業休止

↑【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和 ①②コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度については実地指導へ行けていなかった。今後も事業所数は増える見込があるため、引き続き質の担保が課2 題となってくる。

年 (④障がい児療育等支援事業は、障害児通所支援を受けられない児童(保護者が障がいの受容ができず、受給者証を持っていない児童等)の療育支援を行う場とし度 (で、今後も継続していく必要がある。また、南・東区で実施している児童発達支援センター機能強化事業の他の区への拡充を図っていく。今後も児童発達支援セン 男 (ター機能強化事業の実施施設数を拡大し、市全体の障害児療育体制を整える必要がある。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の ①②令和3年12月現在で27事業所へ実地指導を行った。また事業所の指定に際し、事前面談を行うことで療育に対する考えや支援の内容を確認することができ、 取 質が担保できる事業所を選定している。選定基準等を明確にしていくことが今後の課題である。

| ④引き続き、障がい児療育等支援事業を実施し、障害児通所支援を受けられない児童(保護者が障がいの受容ができず、受給者証を持っていない児童等)の療育 | 支援を行う場を確保していく。また児童発達支援センター機能強化事業の実施について、南・東区に加えて北区での実施を行うことで地域の療育支援体制を整えて | 状 | いく。

況 ⑤令和2年度も事業休止

81

の【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

題 持向上を図る必要がある。

取 ①②令和5年2月現在で63事業所へ実地指導を行った。また事業所の指定に際し、事前面談を行うことで療育に対する考えや支援の内容を確認することができ、質 が担保できる事業所を選定している。選定基準等を明確にしていくことが今後の課題である。

| 個 | ④引き続き、障がい児療育等支援事業を実施し、障害児通所支援を受けられない児童(保護者が障がいの受容ができず、受給者証を持っていない児童等)の療育 | 支援を行う場を確保していく。また児童発達支援センター機能強化事業の実施について、南・東区に加えて北区での実施を目指し、地域の療育支援体制を整えて | 針 | いく。

•••••	
参画会	
議の金	
意 見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	12	子育て・介護に関する支援	支 松石划 ==
取り組みの名称	6	民生委員や校区社会福祉協議会等との連携による地域福祉活動の充実	高齢福祉課

○高齢者の見守り事業の実施

│ 市内27箇所に設置されている地域包括支援センターに高齢者見守り事業担当職員を配置し、民生委員と連携の下、70歳以上の高齢者の方に対して戸別訪問 │等による実態把握を実施している。なお、平成30年度(2018年度)より、地域包括支援センターの業務負担軽減のため、訪問対象条件及び実施期間を見直した。

令和4年(2022年)3月末現在の実績(令和3年(2021年)4月住民基本台帳データに基づく調査)

訪問対象人数 35,794人

下記のいずれにも該当する方

- ・70歳以上の方のうち民生委員、地域包括支援センターとの関わりがなかった方
- ・住民票上、1人世帯または世帯全員が65歳以上である方
- ・介護保険及び総合事業を利用していなかった方

調査済人数 10, 106人

(内訳)

令 和

3

年

度

2

0

年度

実

聞き取り済人数 9,272人 調査を拒否した人数 168人 入院・転居していた方 666人

概 │○地域でのサロン活動の展開

□ ふれあい・いきいきサロンを市内658箇所で展開。校区社会福祉協議会、民生委員、地域包括支援センター、区役所等が連携して、地域での健康づくりや介護予□防等の取り組みを実施している。

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	65歳以上の元気高齢者の割合	%	78.17	78.31	78.75	78.94	78.46	Α
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

|新型コロナウイルスの影響にも関わらず、見守りの訪問実績は増加している。

住民主体の通いの場の数は増加しており、計画の指標である「65歳以上の元気高齢者の割合」も増加しているため。

価の理

由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 見守り事業について、新型コロナウイルス感染症の流行時期には、計画的に見守り訪問が実施できなかった。

年度事業の分析

3

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和一・新型コロナウイルス感染症の影響がある中でのサロンの運営方法や研修会等の実施方法について検討が必要。

|・見守り事業について、今後は見守り対象者の選定方法についても検討していく必要がある。

2年度課題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ、見守り対象者について、特に見守りや生活状況把握等が必要と考えられる世帯を優先する等優先順位をつけて実 取 施した。

取り組み状況

度課題

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

見守り事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画的に見守り訪問が実施できていない。

▋ふれあい・いきいきサロンごとに感染症対策等を講じた活動を行っているが、サロン同士の情報交換、意見交換などの交流の場が設けられていない。

の【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

見守り事業について、優先順位を付けて実施する。

% いまい・いきいきサロンの運営者に対し、感染症対策を徹底し密にならない開催方法等を工夫しながら研修会を実施する。研修を通し、効果的な運営方法や活動 機続について情報共有を図る。

み方針

ı	参	
	画	
	会	
	参画会議の意見	
	の	
	意	
	見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	13	家庭生活等仕事以外の生活への男性の参画支援	大江 党羽钿
取り組みの名称	1	「子育てやボランティアに関する父親向け講座」「親子参加型講座」等家庭生活に関する講座の実施	生涯学習課

家庭生活に関する公民館主催講座の開催(家庭教育学級を除く)

講座参加者数計: 1,333人

和 (1)ライフセミナーの開催

令

3

度

2

2

年 度

実 施 概 要

- ①男性料理教室 開催なし
- ②男性が参加した料理教室 4講座 107人(女性102人参加 男性5人参加)【参考】料理関連講座は10館 15講座開催

(2)親子参加型講座の実施

- ①親子料理教室 1館 1講座 2人(うち男親0人、女親1人、保護者計1人):男親割合:0%
- ②ふれあい教室(子育てサロン、ビクス、ベビーマッサージ等) 13館 94講座 1,224人(うち男親33人、女親603人、保護者計636人):男親割合:5%

<u>*</u>	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	講座参加者数	人	4,251	3,800	1,147	1,333	増加	Z
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

新型コロナウイルスの影響により公民館休館(利用休止)が続き、主催講座の開催自体が減少したため。

当初予定190回→実施回数99回

価 の 理

由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

公設公民館では、誰もが利用しやすい公民館を目指して主催講座の開催に取り組んでおり、参加者を限定した(例:父親向け)講座は実施していない。R3年度はR2 年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で休館期間が長く、主催講座の講座数が減少している。また、男性の参加があった料理教室のみに絞っても、男 性参加率は5%であった。

親子で参加できる主催講座に参加した保護者のうち、男性の参加割合については、子育てサロン等のふれあい教室で5%であり、R2年度の9%と比較すると減少 |した。こちらも新型コロナウイルス感染症による閉館の影響により、例年と比較し講座数が減少している。

業 の 分 析

度 課 題

取

IJ 組 H

況

年度課

題

H 方 針

度

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和制新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新たな日常や新しい生活様式を踏まえた主催事業・講座の開催に取り組む必要がある。また、感染の状況次第では公 |民館が休館となり会議室等を使用できなくなるため、集合開催ではなく、オンライン等での講座開催等、検討していく必要がある。 年

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

料理関連講座15講座のうち6講座はオンラインによるもので、ふれあい教室の94講座のうち3講座はオンラインによるものである。試行錯誤の段階ではあるが、オン ラインでの講座実施も行っている。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

コロナ禍によって減少した参加者数を以前の水準に戻すことが求められる。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

コロナ禍の影響も少なくなってきており、令和4年度は1月時点では休館していない。従来通りの活動ができるようになってきたので、講座参加者数も回復傾向にあ る。 組

ı	参	
	画	
	会	
	参画会議の意見	
	の	
	意	
	見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	13	家庭生活等仕事以外の生活への男性の参画支援	男女共同参画セン
取り組みの名称	1	「子育てやボランティアに関する父親向け講座」「親子参加型講座」等家庭生活に関する講座の実施	ターはあもにい

①よんでよんでのかい

[内容] 絵本や大型絵本、紙芝居の読みきかせや、手遊び、ふれあい遊びなどを季節催事なども絡めて紹介。絵本は館内情報資料室などからおすすめの本や 季節の本などを紹介し、情報資料室の利用促進も同時に行った。

[講師] はあもにい幼児室職員

[参加者] 【対面】のべ22組49名 【オンライン】のべ36組92名

②~防災にアウトドアに大活躍~親子で簡単メスティンクッキング

[内容] 近年ブームとなっているアウトドアを入口に、簡単な料理を体験することで家庭における家事参画のきっかけとなることを目的に計画。また、防災に役立. つアウトドア用品を紹介することで、非常時の備えについて考える場とした。

[講師] 興梠公治氏(山都町歌瀬キャンプ場オーナー)

[参加者] 10組22名(女性8名、男性14名)

③市民グループ企画② パパカUP! 家族がもっと笑顔になるスマホカメラ講座

[内容] パパ向けには、スマホカメラ機能と併せ構図や家族写真を撮る際のマインドを学ぶ講座を実施。撮影を通じ、父子一緒に過ごす時間を楽しんでもらっ た。ママ向けには、産後も元気で美しくあり続けるための、産後の身体と心が軽くなる、ママのためのお話会として産後ケア講座を開催した。 [参加者] 2組7名

「実施団体」 熊本転入ママの会くまてん

④パパ応援企画「親子で元気におうち遊び」 度

[内容] 「家で遊ぶ」をテーマに、身近な新聞紙を使って子どもとお父さんが一緒になって身体を動かす遊びを実践する講座。心身のコンディションを健康に保 ち、親子関係を良好にすることを目的とした。

[講師] 水野直樹氏(一般社団法人スタディライフ熊本理事、papaラボ代表) [参加者] 8組22名 (親9名、子ども13名)

⑤無料防災出前講座「熊本地震を経験した私たちが提案する男女共同参画の視点に立った防災」

過去の災害の教訓をもとに、男女共同参画の視点に立った防災を学ぶ講座を実施。2018年度に作成した「男女共同参画の視点に立った防災ポイント BOOK」を基本テキストとし、立場によって困難や支援の形が異なってくることを知り、それぞれができる防災、支援について一緒に考えていく方法で講座を実施。 「参加者」 のべ508人(8団体) 伊井純子、田中美帆(はあもにい職員) [講師]

⑥はあもにいフェスタ

2

施

[内容] 男女共同参画のわかりやすい啓発、また、熊本市男女共同参画センターはあもにいの機能周知、市民ニーズを捉えたイベントとするため、参加市民団 体と協働で2日間実施。

(1)男女共同参画に関わる活動をする市民団体によるセミナー、バザー、ワークショップ等 (2)男女共同参画に関するクイズ(館内およびオンライン) (3)オンデマンド講演会(別報告ページあり)

[参加団体] 市民団体25団体(うち2団体が新型コロナウイルス感染不安を理由に途中辞退) [参加者] 2日間のべ1093名

⑦はあもにい提供ラジオ番組「なんだ~?ジェンダー!そ~なんだ!」

[内容] 毎月第3・第4土曜日10:40ごろからRKKラジオ「糸永・大輔ラジオやってます」内で放送中(約5分間)。はあもにい職員とパーソナリティーがさまざまな視 |点から「ジェンダーってどんなこと?」をわかりやすく語り合う。また第1週と第2週は講座やイベント案内などのインフォメーションを放送。過去の放送は、YouTubeで 視聴可能。

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座数	回	-	13	11	7	8	В
	セミナー・講座 受講生数	人	_	129	138	1793	280	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

|セミナー・講座・イベント数: 数値目標を達成していないため |セミナー・講座受講生数 : 数値目標を達成しているため

価 の 理

曲

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①親と子のふれあいの場を、目につきやすいエントランスで実施。コロナ禍で子育て中の家庭が孤独感に陥らないようオンラインでも実施。父親も一緒に参加する 姿を見ることができた。

②男性が家事に参画するための入り口として、男性の料理に対する興味を高め、家事に取り組むきっかけとなるよう実施。「料理教室」のタイトルだと男性の参加率 |が低くなるため、人気の「キャンプ」をテーマに持ってきたところ、定員はすぐに埋まった。

③市民グループ企画として実施。男女共同参画推進のためには、男性の育児協力が不可欠。実施団体は、育児の中での男性の役割はさまざまだが、今回は「家 |族写真」に着目したとのこと。いつもママが行うからママの役割、という役割分担固定の解消を「写真」を題材に考え、写真を通して夫婦のコミュニケーションを増や し、男性が家庭での役割を広げ、夫婦・家族の多様性を深めるキッカケづくりとした。

年 |④男女共同参画社会を実現するためには、男性が働き方を見直したり、家事育児へ積極的に取り組んだりすることが不可欠。「親子が触れ合えたことが一番良かっ 度「た」という感想からも、一緒に創作・実践する中で親子のコミュニケーションを活性化し、父親が子育てへの参画意識を高める機会となったことが伺える。

事 ⑤平時からの男女共同参画社会実現に向けての活動推進を広げる際、男女共同参画の視点に立った防災は、性別を問わず誰にもその重要性が理解しやすい 業 ├テーマ。ただし家庭内の防災に関しては母親が担っている家庭も多い。今回、子育てサークルの申し込みもあったことから、講座を通してそうした固定的役割分担意 |識の課題についても伝えた。

⑥はあもにいフェスタは市民協働イベントで、2021年度は25団体が参加。さまざまな分野で活躍する団体があるが、表題の件については講演会や情報交換会、 ワークショップなどを通じ、発信・啓発が行われた。くまもと健やか家庭サポートによる「家族時間が100倍楽しくなる!ステキな夫婦関係をつくるお話会」など。 ⑦熊本における男女共同参画に関する意識で、啓発がなかなかいきわたらないのは男性と若年層といわれている。この番組では聴取率が男性は女性の7倍、中で も40・50・60代の男性が多く聞いているというデータがラジオ局より提出されている。6月の男女共同参画週間には「男性の育休取得の壁」、12月には「ワーク・ライ フ・バランス」をテーマに放送を行った。

令	【【令和2年度(2020年度)に残った課題】
和	・感染症対策により、講義中心の講座となり、グループワークや積極的な交流の機会を持つことが叶わなかった。
2	心不正月不にのう、時後十七の時性になり、ラブ・ラ・「我性力の人間の成立と同じには、「「かある」とに
年	
度	
一田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	
課題	
^	【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】
の	▶・適切な感染対策を図り、メンズカレッジとウィメンズカレッジを全て同日に開催することで、男女双方の意見を交換する場を設ける。
取	
IJ	
組	
2	
状	
状況	
	【令和3年度(2021年度)に残った課題】
	①対面は平日の午前中ということもあり、母親の参加が多く、父親や共働き世代の参加が少なかった。
一令	②簡単クッキングは普段料理をすることが少ない参加者にとっては良かったが、子どもの補助に終始する保護者も多く、自分で作り上げるという達成感は物足りな
和	かったのではないかと感じた。
	③コロナ禍による参加者のキャンセル。
_	④親子向け講座における男女共同参画についての分かりやすい啓発方法。
度	
課	
題	⑦テーマを厳選し、分かりやすく、親しみやすいアレンジで伝えることに努めていきたい。
1~	
の	
取	
19	②取り組み意義を考えた講座の企画・実施。
組	③市民グループ企画のためなし。
24	
方	10 14 1 12 33 GC C IX/110/C1 M2DH3/C-12/M 7 1 7 4 H2B6
	⑤大規模災害が起きた時の共働き家庭の課題など、夫婦間で起きる困難や平時からの対策について引き続き啓発。
針	
	⑦メールや聴衆層を踏まえたわかりやすいシナリオ作成。
	I .

参	
画	
<u> </u>	
語	
の	
意	
見.	
,,,	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	13	家庭生活等仕事以外の生活への男性の参画支援	男女共同参画セン
取り組みの名称	2	関係機関等と連携した男性の子育てや介護等への参画に関する情報提供の実施	ターはあもにい

①~防災にアウトドアに大活躍~親子で簡単メスティンクッキング

[内容] 近年ブームとなっているアウトドアを入口に、簡単な料理を体験することで家庭における家事参画のきっかけとなることを目的に計画。また、防災に役立つ アウトドア用品を紹介することで、非常時の備えについて考える場とした。

[講師] 興梠公治氏(山都町歌瀬キャンプ場オーナー)

[参加者] 10組22名(女性8名、男性14名) 和

2

②パパカUP! 家族がもっと笑顔になるスマホカメラ講座(市民グループ企画)

[内容] パパ向けには、スマホカメラ機能と併せ構図や家族写真を撮る際のマインドを学ぶ講座を実施。撮影を通じ、父子一緒に過ごす時間を楽しんでもらった。マ 度 マ向けには、産後も元気で美しくあり続けるための、産後の身体と心が軽くなる、ママのためのお話会として産後ケア講座を開催した。

[実施団体] 熊本転入ママの会くまてん [参加者] 2組7名

0 ③パパ応援企画「親子で元気におうち遊び」 2

[内容] 「家で遊ぶ」をテーマに、身近な新聞紙を使って子どもとお父さんが一緒になって身体を動かす遊びを実践する講座。心身のコンディションを健康に保ち、 親子関係を良好にすることを目的とした。

度 [講師] 水野直樹氏(一般社団法人スタディライフ熊本理事、papaラボ代表) [参加者] 8組22名 (親9名、子ども13名)

実 ④はあもにい提供ラジオ番組「なんだ~?ジェンダー!そ~なんだ!」

[内容] 毎月第3・第4土曜日10:40ごろからRKKラジオ「糸永・大輔ラジオやってます」内で放送中(約5分間)。はあもにい職員とパーソナリティーがさまざまな視点か ら「ジェンダーってどんなこと?」をわかりやすく語り合う。また第1週と第2週は講座やイベント案内などのインフォメーションを放送。過去の放送は、YouTubeで視聴可 能。

							_	
4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標	_	-	-	ı	-	ı	ı	_
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

価 の 理 由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①親子で参加し、同じ料理を作り成功した体験を共有し、家庭で実践しようという意欲を高める効果を期待し、実施。講師は、山都町にある歌瀬キャンプ場のオーナー で、参加者と同世代。キャンプ場経営のほか料理動画のYouTube投稿や町営施設の指定管理、新たなキャンプ場を開設するなど多方面で活躍しており、参加者にとっ てこれからの生活を考える良い機会になったと思われる。

②市民グループ企画として実施。男女共同参画推進のためには、男性の育児協力が不可欠。実施団体は、育児の中での男性の役割はさまざまだが、今回は「家族写 真」に着目したとのこと。いつもママが行うからママの役割、という役割分担固定の解消を「写真」を題材に考え、写真を通して夫婦のコミュニケーションを増やし、男性 が家庭での役割を広げ、夫婦・家族の多様性を深めるキッカケづくりとした。

③家庭における男性の育児参画を促す目的で父子遊びの講座を企画。講師は2010年から、父親と子どもの遊び合いを楽しむ「PaPaラボ」を結成、代表を務めてい 事 業

④熊本における男女共同参画に関する意識で、啓発がなかなかいきわたらないのは男性と若年層といわれている。この番組では聴取率が男性は女性の7倍、中でも の |40・50・60代の男性が多く聞いているというデータがラジオ局より提出されている。6月の男女共同参画週間には「男性の育休取得の壁」、12月には「ワーク・ライフ・バ 分 |ランス」をテーマに放送を行った。

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和 ・コロナ感染症予防対策のため、日程変更や定員を減らすことを余儀なくされた。

度 課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・感染症のことを考慮し、オンラインでも実施可能な内容で企画する。

取 組 H 状 況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 1 簡単クッキングは普段料理をすることが少ない参加者にとっては良かったが、子どもの補助に終始する保護者も多く、自分で作り上げるという達成感は物足りなかっ たのではないかと感じた。

②コロナ禍による参加者のキャンセル。

③講座後のアンケートなどでの意見の吸い上げ。男性向け講座はほとんど意見の書き込みがない。

④テーマを厳選し、分かりやすく、親しみやすいアレンジで伝えることに努めていきたい。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

|①取り組み意義を考えた講座の企画・実施。

②市民グループ企画のためなし。

|③ネットフォームなどを使用し、気軽に記入できる仕組み作り。

|④メールや聴衆層を踏まえたわかりやすいシナリオ作成。

穸	ı
画	
会	
議	
の	
意	
見	l

87

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	14	貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	男女共同参画セン
取り組みの名称	1	ひとり親家庭等への生活支援や就業・資格取得支援、経済的支援等の実施	ターはあもにい

①ユニバーサルマナー検定3級資格取得講座

| 「内容] 高齢者や障がい者への基本的な向き合い方や声かけ方法を学ぶ講座を実施。「ユニバーサルマナーとは」「人と人との違いを考えよう」「自分とは違う | 人のことを思いやり、適切な理解のもと行動しよう」などを学ぶ講義に加え、ワークを行い理解を深めた。

'┃[講師] 田中利樹氏(株式会社ミライロ) [参加者] 29名(女性21名、男性8名)

☆ ②再就職・職場復帰への1st STEP ~先輩ママの再就職体験談に学ぼう!

~ │ [内容] 子育て中の女性が再就職を目指すときに壁となる、子どもの預け先、家事・育児・仕事の役割分担、ワーク・ライフ・バランスや自身の働き方などについ 2 │て、先輩ママの体験や工夫しているポイントについて話を聞いた。また、自身の3年後、5年後、10年後のキャリアプランを立てるワークを行い、将来像を明確にする 0 │ことで、復職・再就職に向けて前向きな一歩を踏み出す機会とした。

[講師] 内田美香(はあもにい職員・国家資格キャリコンサルタント) 事例発表者2名 [参加者] 13名

年 ③はあもにい働き方相談所度 「中窓」 **** また労働品

[内容] 熊本市と労働局が「熊本市雇用対策連携協定」を締結。それに基づいた事業計画において、女性の活躍推進、また、出産・育児等で離職した女性の再就職支援や、仕事と子育ての両立支援による働きやすい職場環境の整備推進を掲げている。平成28年10月、女性のライフステージに対応した就労支援の一つとして開設。月に1回、当センター応接室で、ハローワーク職員が就業や転職に関する相談に対応(ただし、紹介状の発行は不可)。一人1時間程度。予約優先。 [参加者] 2名(女性2名)

<u>*</u>	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	セミナー・講座 受講生数	人	ı	351	438	44	300	В
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

評価の理由

2年度課題

り組み

況

要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 ①SDGsへの関心は年々高まっており、誰もが住みやすく暮らしやすい共生社会の実現に向けての気運も高まっている。さまざまな業界においてもバリアフリーに対する知識と技能を持つ人材が必要とされていると考え、実施。感染症流行拡大に伴い、オンラインで実施。

②子育て中の女性が再就職を目指すとき、働き方や、子どもの預け先、家事・育児・仕事の役割分担などさまざまな不安を抱えている。同じ経験をした先輩から同じ度 目線で話を聞くことで不安を軽減し、先を見通したプランを立てることで再就職へのモチベーションを高める。また、働き方相談所など再就職に向けた情報提供を 事 行った。

業 ③就業や転職に関する相談にハローワーク職員が対応する(ただし、紹介状の発行は不可)。1人1時間相談が可能で、子供同伴も可。並ぶ必要もなく、個室でじっくの り相談することができ、またはあもにいの幼児室で1歳から託児もできるため、子育て中の女性に有効と考えている。ただし2021年はコロナ禍による中止や外出自粛分 で、利用者は女性2名。 析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和・働き方相談所に関して、新聞などの無料告知、チラシ等で広報を行っているが、なかなか利用者が増えない。

| |【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の取・講座と組み合わせてワンストップ利用を促進する。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

章 ②働き方相談所などへのつながり作り

課 ③新型コロナウイルス感染症が拡大し、労働局側からの中止の申し出が続いたり、イベント自粛が続く中、積極的に広報することは難しかった。 題

|【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①2級実施の検討。

②引き続きさまざまな講座や相談所の情報提示。

() ③今後、感染症流行の影響も少なくなっていくと考え、LINEを活用した広報ツールの拡大。 カー

参画会議の意

見

針

施	施策の方向性 I 市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備								担当部署	
具作	本的施策	14	貧困、高齢、	障がい等により	J困難を抱えた	女性等が安心し	て暮らせる環境	境の整備		しごとづくり推進室
取「	J組みの名称	1	ひとり親家庭	筐等への生活支持	爰や就業・資格	取得支援、経済	的支援等の実	施		しこと りくり推進主
令和3年度(2021年度)実施概要	①障がい者・母子家庭の母等雇用奨励金(再掲) 市内在住の障がい者(身体・知的・精神)、母子家庭の母等を継続雇用した事業所に対して雇用奨励金を交付。 【交付額】重度障がい者:月額6,000円×最大12か月 その他: 月額4,000円×最大12か月 【交付実績】交付件数 46件(障がい者 26件 母子家庭の母等 20件)、交付額 1,140千円(障がい者 660千円、母子家庭の母等 480千円)									
	指	 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参考指標	障がい者・母子 励金	-家庭	の母等雇用奨	件	-	69	54	46	-	В
揖										
					自己評価の評価基	基準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Ζ 新	型コロナウィルスの影	じ響により規模等縮小 ↑
評価の理由	男女共同参画(の視点	まを踏まえ事業(の分析を行ってくた	<u>:</u> さい。	度を下回ったため				
令和3年度事業の分析					. 申請件数が減少	いており、コロナ裕	における就職困	難者の雇用抑制が	示唆される。	
和2年度課題		子家	庭の母等雇用物	受励金については、		川に対応するため、	制度周知に継続し	して取り組む必要か	゙ ある。	
への取り組み状況	①障がい者・母	子家	庭の母等雇用物			リーフレットの配布	や、市HPによる広	5報を行った。		
令和3年度課題へ			(度)に残った課							
の取り組み方針				記課題への取り組						
参		••••••								
画会議の意見										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	14	貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	フじも士福田
取り組みの名称	1	ひとり親家庭等への生活支援や就業・資格取得支援、経済的支援等の実施	子ども支援課

①ひとり親家庭等日常生活支援

一時的に生活援助、保育サービスが必要な家庭及び生活環境が激変し、日常生活を営むのに支障が生じている家庭に家庭生活支援員を派遣し、ひと り親家庭の生活の安定を図るもの。

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3
派遣回数	28	5	15	89	173	104

②母子家庭等就業,自立支援事業

各種の相談や技能習得講座、教養講座、並びに児童健全育成事業、自主事業などを行い、ひとり親家庭及び寡婦の福祉の向上を図るための便宜を総 合的に提供することを目的とするもの。

〈利用件数〉(H18.4月~H29.3月指定管理者 H29年度以降業務委託)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3
相談	605	650	643	192	174	197
講座等受講	2,504	4,284	1,330	2,475	2,413	1,535
児童健全育成ふれあい	235	301	75	81	0	0
保育(託児)	322	504	203	341	415	93
面会交流	-	-	-	39	2	0
合計	12,466	13,788	2,251	3,128	3,004	1,825

③児童扶養手当の給付

父母の離婚等で父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給 するもの。

〈受給者数〉

和 3 年 度

2 0 2

年

度

実

施 概 要

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3
母	7,373	7,166	6,892	6,710	6,645	6,648
養育者	36	34	32	30	33	25
父	436	412	388	361	357	347
計	7,845	7,612	7,312	7,101	7,035	7,020

④ひとり親家庭等医療費助成

ひとり親家庭等における健康の増進及び福祉の向上を図ることを目的として、受給資格者が医療機関等に支払う本人負担額の2/3を助成するもの。 (但し、保険診療分に限る。)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3
受給世帯数	9,160	9,000	8,730	8,281	8,161	8,053

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参名	①ひとり親家庭寺日常生活文援	回	15	15	89	173	104	ı	Α
指	②母子家庭等就業・自立支援事業	件	2251	2251	3128	3004	1825	-	В
標	③児童扶養手当の給付	人	7312	7312	7101	7035	7020	-	В
	④ひとり親家庭等医療費助成	世帯	8730	8730	8281	8161	8053	_	A

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

①ひとり親家庭等日常生活支援

・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者は前年より減少したが、基準値を上回ったため。

評|②母子家庭等就業・自立支援事業

価 |・市政だよりやホームページ、ラインによる周知を図っているが、新型コロナウイル ス感染症の影響により、基準値を下回ったため。

の ③児童扶養手当の給付

理 |・所得基準に沿って認定を行い、低所得者への経済支援を図っているが、基準値を下回ったため。

由 |④ひとり親家庭等医療費助成

・本市独自制度として児童扶養手当の所得基準に準じて認定し、ひとり親家庭等の経済的支援を図っている。

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①ひとり親家庭等日常生活支援

・新型コロナウィルス感染症の影響が拡大したことで、利用者数の減少がみられた。

②母子家庭等就業,自立支援事業

和 |・新型コロナウィルス感染症の影響が拡大したことで受講者が減少した。オンラインで受講可能な講座で、できる限り受講が継続できるよう努めたが、メールマガジン |配信等も活用し、各種講座の案内等ひとり親家庭等に対する支援の周知に努めた。 年

|③児童扶養手当の給付 度

★ |・父母の離婚等で父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活安定を助け、児童の福祉増進を支援している。

* |④ひとり親家庭等医療費助成

の |・児童については18歳になった年度の3月31日まで、父又は母については養育している児童が20歳になる誕生月の末日まで(1日生まれの場合は前月末日まで)、 分 医療機関に支払う負担の一部を助成することで家庭の生活安定を助け、児童の福祉増進を支援している。

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

①ひとり親家庭等日常生活支援

▶・委託先の熊本市母子寡婦福祉連合会と連携し、ホームページやチラシの配布に努め周知を図る。 和 ||②母子家庭等就業・自立支援事業

|・熊本市母子家庭等就業・自立支援センターの職員と連携し、ホームページやメルマガの配信等で周知を図る。

毎∥③児童扶養手当の給付

・市政だよりやホームページにより、正確な情報を伝えることで事業の周知を図る。

課
■④ひとり親家庭等医療費助成

市政だよりやホームページにより、正確な情報を伝えることで事業の周知を図る。 題

へ【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 の一ひとり親家庭等日常生活支援 取・委託先の熊本市母子寡婦福祉連合会と連携し、ホームページ、チラシ、ラインを使い定期的な周知を図る。 ②母子家庭等就業・自立支援事業 組 ・ 熊本市母子家庭等就業・自立支援センターの職員と連携し、内容を精査しながらホームページやメルマガの配信等で周知を図る。 み ③児童扶養手当の給付 状 · 市政だよりやホームページの内容を精査し、正確な情報を伝えることで事業の周知を図る。 況 | ④ひとり親家庭等医療費助成 ・市政だよりやホームページの内容を精査し、正確な情報を伝えることで事業の周知を図る。 【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ①ひとり親家庭等日常生活支援 ・新型コロナウィルス感染症の影響が拡大したことで、利用者数、生活支援員の派遣時間数の減少がみられた。 ②母子家庭等就業・自立支援事業 ・新型コロナウィルス感染症の影響が拡大したことで受講者が減少したが、オンラインで受講可能な講座で、できる限り受講が継続できるよう努めた。また、メールマガ ジン配信等も活用し、各種講座の案内等ひとり親家庭等に対する支援の周知に努めた。 ③児童扶養手当の給付 ・父母の離婚等で父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活安定を助け、児童の福祉増進を支援している。 ④ひとり親家庭等医療費助成 3 ・児童については18歳になった年度の3月31日まで、父又は母については養育している児童が20歳になる誕生月の末日まで(1日生まれの場合は前月末日まで)、 医療機関に支払う負担の一部を助成することで家庭の生活安定を助け、児童の福祉増進を支援している。 課 題 の 取 り【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 組 1 ひとり親家庭等日常生活支援 み

・委託先の熊本市母子寡婦福祉連合会と連携し、ホームページ、チラシ、ラインを使い定期的な周知を図る。 方 | ②母子家庭等就業・自立支援事業 針 |・熊本市母子家庭等就業・自立支援センターの職員と連携し、内容を精査しながらホームページやメルマガの配信等で周知を図る。 ③児童扶養手当の給付 市政だよりやホームページの内容を精査し、正確な情報を伝えることで事業の周知を図る。 ④ひとり親家庭等医療費助成 市政だよりやホームページの内容を精査し、正確な情報を伝えることで事業の周知を図る。 参 画 会 議 の 意

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	14	貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	保護管理援護課
取り組みの名称	2	生活困窮にかかる相談窓口の充実	各区福祉課

①熊本市自立支援センターと連携し、生活保護に至っていない生活困窮者に対する第2のセーフティーネットとして、生活困窮者の意思を尊重 しながら解決のための相談・支援を行っている。、

【自立支援センターとの連携内容】

- ●生活福祉資金貸付について
- ●住居確保給付金について(生活自立支援センター)
- ●就労準備支援事業について(生活自立支援センター)
- ●家計改善支援;事業について(生活自立支援センター)

②相談内容により必要な事例については、専門機関等の情報を提供する。

【情報提供·案内先】

- ●生活保護相談、申請について(保護課)
- ●あんしん住み替えについて
- ●公営住宅について
- ●母子生活支援施設について(保健子ども課)
- ●フードバンク

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考	生活困窮相談件数	件	4,196	3,789	18,256	20,511	ı	_
指標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

生活困窮に関する相談件数であり、評価の項目が適さない

価 の 理

由

業 **ഗ** 分

度

課 題

24

評

令

和

3

年

度

2 0

2

1

年

度

実

施 概 要

- ・新型コロナの流行に伴う失業や収入減による相談が多く、特に住居確保給付金や総合支援資金等など金銭給付(貸付)のための相談が多い
- ・自立支援制度では生活再建が困難な場合は、生活保護受給のための相談となるケースが多い
- ・福祉相談支援センターとして、福祉課と生活自立支援センターの連携がとりやすい。特に緊急を要するケースについては、タイムリーな連携で |の支援の実施が可能となっている
- ・昨今のコロナ禍において、失業等による生活困窮や家庭環境の変化を起因としたDV、離婚の相談が増加している
- ・DVを原因とした別居等による困窮相談も見られる

析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

- 和 ・相談支援は、伴走型の支援が必要なケースが多く、令和元年度の課題は継続して取り組む必要がある。
- ・相談者の希望する条件に合う、住宅確保や経済的支援に対応することができない場合がある。
- ・生活保護に至らないが生活に困窮する、同居の家族と折り合いが悪く生活費の支援が受けられない、医療機関受診が妥当と思われるが病識 なく受診や治療に繋げない等の福祉課では対応困難な案件がある。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

- の ・相談者が生活困窮に陥らないため、関係機関へ迅速な繋ぎを行うとともに日頃から密な連絡体制の構築を行う。
- 取 ・相談者のニーズに合わせ、関係機関と連携を取りながら切れ目のない支援を行う。
- ・生活困窮の原因により、救済措置も多岐に渡っていることから、情報の収集や知識の習得に努める。
- ・相談者が精神的に安心できるような対応を心掛け、気軽に相談できるような相談者との関係を構築し、ひとりで抱え込まずいつでも相談できる 環境をつくる。 状

況 ☆ 【令和3年度(2021年度)に残った課題】

- |•高齢の相談者の場合、お金も家も借りることができないなど、支援に行き詰まることが多々ある
- ・病気や障害の受容が困難な方からの相談は、支援につながりにくく、傾聴による相談の対応では解決できない複合的な課題がある
- ・高齢の親世代が、中年期の子世代の将来を懸念するような相談も多く、社会情勢の変化を感じる相談も多い
- ┣・成人した親子間のトラブルの相談も年々増加傾向にある
- -R2と同様に精神的な病識がない相談者への対応。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・高齢者や障がいを持った方への支援を行う際の専門機関との連携が必要不可欠であり、相談員や窓口職員の対応スキル向上が必要である ・生活困窮者やその世帯が、自立へ向けた着実な一歩を踏み出せるよう、先導型・伴走型双方の視点を持って幅広い相談支援を展開する

組 H 方 針

題

മ

画	画		
会	会		
シ画会議の	議		
の	o		
意	意		
見	見		

施負	の方向性	П	市民一人	ひとりか	<u> </u>	 る社会環境の整f	 備				担当部署
具体	本的施策	14	貧困、高	齢、障か	い等によ	り困難を抱えたま	女性等が安心	して暮らせる環境	竟の整備		高齢福祉課
	組みの名称				首に対する 見	就労支援等の推議	進				同的证证标
令和3年度(2	(参考) ・令和3年度(2 ※シルバー人 ②高齢者技能 高齢者が技能 令和3年度は新 (参考)	的·知·2021年 2021年 1	豆期的な就会 下度)会員数 ンターとして センター管 を行うことか コロナウィル	労支援を行 z:2,256名 も、女性会 理運営 べでき ス感 なた。	【男性:1,558 会員の確保に 会と場を設け による休館に	人材センターへ助ける、女性:698名(3 こついては重点的に けることにより、高齢 はあったものの、実 、女性:208名】	0.9%)】 こ取り組むこととり	社会参加の促進を			
	 指	標	名		単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標		_			_	-	-	-	-	-	_
指標											
						自己評価の評価基準	≛: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z	新型コロナウィルスの景	と響により規模等縮小 ↑
令和3年度事業の分析		あるう	ンルバー人	材センター			男女が参加しや	すい講座となってい	ハるが、受講者は	t女性が8割を占め ⁻	ている。
和2年度課題		(ルス	感染症の恩	染拡大防		休館により、講座の	の未実施があった	: •			
の取り組み状況	また、令和2年	さいて 度に	:も、新型コI 検討したス ⁻	コナウィルマートフォ	ス感染症の	感染拡大防止のた	めの休館が約6	月程度あったが、『	開館時に可能な関	限りの講座を実施し	<i>t</i> =.
和3年度課題へ		が女性	生となってい	るので、見		体の受講者数増加	nさせる取り組 <i>み</i>	が必要。			
の取り組み方針	【令和4年度(だまない) 男女に限らず	20 <u>22</u> 3 受講し	年度)におけ しやすい講座	・る上記課 座を検討す	題への取り たるとともに、	組み方針】 受講者数を増やす	ため、ホームペ	―――― ―ジへの掲載やチ	ラシ等の配布に	よる周知広報の強化	比を図る。
参 画 ^											
√画会議の意見											

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	14	貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	
取り組みの名称	3	高齢者や障がい者に対する就労支援等の推進	障がい保健福祉課

①就労移行支援

就労を希望する障害者であって、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれるものにつき、生産活動、職場体験その他の活動の機会の提供その他の就労 に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、求職活動に関する支援、その適性に応じた職場の開拓、就職後

- における職場への定着のために必要な相談その他の必要な支援を行った。
- 〇実施事業所:20箇所(令和4年3月31日時点)
- 〇自己負担額:原則サービス利用料の1割 (生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

②就労継続支援A型

面常の事業所に雇用されることが困難な障害者のうち適切な支援により雇用契約等に基づき就労する者につき、生産活動その他の活動の機会の提供その他の 3 就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行った。

- 長 ○実施事業所:53箇所(令和4年3月31日時点)
 - 〇自己負担額:原則サービス利用料の1割 (生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

2 ③就労継続支援B型

度

施

由

分析

課題

組み状況

0 通常の事業所に雇用されることが困難な障害者のうち通常の事業所に雇用されていた障害者であってその年齢、心身の状態その他の事情により引き続き当該 2 事業所に雇用されることが困難となった者、就労移行支援によっても通常の事業所に雇用されるに至らなかった者その

- 他の通常の事業所に雇用されることが困難な者につき、生産活動その他の活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練度 その他の必要な支援を行った。
 - 〇実施事業所:73箇所(令和4年3月31日時点)
- 実 ○自己負担額:原則サービス利用料の1割 (生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

4就労定着支援

生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援(以下「就労移行支援等」という。)を利用して、通常の事業所に新たに雇用された障害者の就労の継続を図るため、企業、障害福祉サービス事業者、医療機関等との連絡調整を行うとともに、雇用に伴い生じる日常生活又

- は社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、指導及び助言等の必要な支援を行います。
- 〇実施事業所:13箇所(令和4年3月31日時点)
- 〇自己負担額:原則サービス利用料の1割 (生活保護受給世帯及び市民税非課税世帯は無料、市民税課税状況に応じて負担上限有り)

	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
	①全実利用者数(各年度3月末)· 女性実利用者数(各年度3月末)	Д	193•70	196•76	202•94	165•74	ı	В
参考指標	②全実利用者数(各年度3月末)· 女性実利用者数(各年度3月末)	Д	1012:349	996•348	1200•427	1215•445	-	В
	③全実利用者数(各年度3月末)· 女性実利用者数(各年度3月末)	Д	1189•494	1269·527	1477•631	1568•666	-	В
	④全実利用者数(各年度3月末)· 女性実利用者数(各年度3月末)	Д	31.17	68•27	89•33	89•29	-	В

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

| 障害福祉サービスは性別を理由に利用を拒否できるものではなく、基本的には障がい特性や本人の希望に基づき利用するサービスが決まるものであり、就労系の| | 障害福祉サービスを利用する女性が多いから女性が暮らしやすい、少ないから女性が暮らしにくいという話にはならない。 価 |

の ・それぞれのサービスにおいて年度ごとの実利用者数の増減はあるが、全実利用者数に対する女性の実利用者数の割合は大きく変化しておらず、また、女性であ理 ることを理由に就労系の障害福祉サービスを利用しづらいという話を聞くこともない。

、男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 ① 就労移行支援については事業所数は減少しているが、利用者数はほぼ変わらない。2年間の利用期間が定められており、利用が終了していく者もいるため、利用者数が急激に増えたりということはなく今後も緩やかに推移していくと思われる。

年 ②③就労継続支援A型及びB型については、A型の利用者数は年々減少しているのに対し、B型の利用者数は年々増加している。平成29年度に就労継続支援A型度 の基準の改正に伴い、それまで以上にA型事業に生産性が求められるようになったことで、それまでA型を利用していた者がB型に利用を移していっていることが考事 えられる。

業 |④就労定着支援については、就労移行支援等を経て一般就労している者の数が年々増加していることもあり、利用者数は増加傾向にある。 の |

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和 ・「評価の理由」欄にも記載のとおり、男女共同参画の観点で課題を挙げることはむずかしい。障害福祉の観点から課題を挙げるとすると、就労定着支援少し課題 があると言える。順調に利用者数は伸びてはいるが、就労移行支援等を利用した後一般就労した者の数から考えると、就労定着支援の利用者数は少なく、もう少し年 就労定着支援の利用者数が多くなってもおかしくないと考える。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の |・就労定着支援は一般就労した後6月経過後から利用が可能になるサービスであるため、一般就労者に対して就労定着支援の利用者が少ないということは、6月以取 | 上の就労定着ができていない利用者が多いともいえる。一般就労した後の6月間の支援を手厚く行うよう事業所に周知していく必要がある。

94

令 和 3 年	【令和3年度(2021年度)に残った課題】 「評価の理由」欄に記載しているとおり、障害福祉サービスは性別を理由に利用を拒否するものではないため、男女共同参画の観点から課題を挙げることは難しい。よって、令和3年度(2021年度)に男女共同参画の観点における課題はないと考える。
度課題への	
の取り組み	【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 男女共同参画の観点から課題を挙げることが難しいため、上記同様課題はないと考える。
方針	
参画会議	
の意見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	14	貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	レデレベノロザ准束
取り組みの名称	3	高齢者や障がい者に対する就労支援等の推進	しごとづくり推進室

①障がい者・母子家庭の母等雇用奨励金(再掲)

市内在住の障がい者(身体・知的・精神)、母子家庭の母等を継続雇用した事業所に対して雇用奨励金を交付。

【交付額】重度障がい者:月額6,000円×最大12か月 その他:月額4,000円×最大12か月

【交付実績】交付件数 46件(障がい者 26件 母子家庭の母等 20件)、交付額 1,140千円(障がい者 660千円、母子家庭の母等 480千円)

年 ②高年齢者無料職業相談 度

和

3

2

2

年 度

実 施 概 要 健康で就業意欲の高い高年齢者(原則65歳以上)の方の多様なニーズに対応するため、職業相談を実施。

- ・雇用、就業に関する情報(再就職関連情報、短時間就業情報などの提供)
- ・無料での技能講習会の案内
- ・仕事の探し方や履歴書の書き方などシルバー人材センターの相談員が常駐し、業務案内も実施。 相談件数 109件(男 51件、女 58件)

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考。	障がい者・母子家庭の母等雇用 奨励金	件	-	69	54	46	ı	В
	高年齢者無料職業相談	件	ı	114	95	109	ı	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

①障がい者・母子家庭の母等雇用奨励金については、交付件数が前年度を下回ったため、自己評価をBとした。 評

②高年齢者無料職業相談については、相談件数が前年度を上回ったため、自己評価をAとした。

価 の 理

由

事 業 の 分

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①障がい者・母子家庭の母等雇用奨励金については、申請件数が減少しており、コロナ禍における就職困難者の雇用抑制が示唆される。

和 ②高年齢者無料職業相談は、相談件数が増加しており、コロナ禍における高齢者の失業が示唆される。 13年度

析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

①障がい者・母子家庭の母等雇用奨励金については、女性の就業抑制に対応するため、制度周知に継続して取り組む必要がある。

2 年 ·度課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

①障がい者・母子家庭の母等雇用奨励金については、労働局を通じたリーフレットの配布や、市HPによる広報を行った。

IJ 組 H 状 況

取

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

令和3年度課題

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

への取り組み方針

画 [会議の 意見

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	14	貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	京松短礼部
取り組みの名称	4	高齢者世代が地域の支え手として活躍できる活動の支援等、活躍の場の拡充	高齢福祉課
○地域支え合	(八型-	サービス補助金	

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らすことができるように介護保険事業の介護予防・日常生活支援総合事業のうち、「介護予防・生活支援サービス」の1つ として「住民主体」による地域の支え合い体制の中で運営するサービスを支援する。(令和元年度からの事業実施) 和

・訪問サービス:4団体(延べ)

介護予防を目的として、主に住民ボランティア等、住民主体の自主活動として行う生活援助等の多様な支援

移動支援サービス:3団体(延べ)

通院や買い物等をする場合における住民主体による送迎前後の付き添い支援や通いの場への送迎

•通所サービス:26団体

定期的な利用が可能な自主的な通いの場の運営及び送迎

実 施 概

3

年

度

2

0

2

年

度

要

※複数のサービスを行っている団体あり

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	団体数	団体	I	14	26	31	27	Α
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

新規で住民主体の5団体が活動を開始している。

評 価 の 理 由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

地域の住民が主体となり実施するサービスを支援することで、地域の支え手の活動に寄与した。 和

事 業 の 分 析

3 年 度

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

新型コロナウイルス感染症の影響により、通所サービスの活動を自粛しなければならない期間があり生活不活発病等の心配がある。

年 度課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

新型コロナウイルスの影響による通所サービスの自粛期間中には団体運営者が参加者に対して電話により状況確認を行った。 取

自宅でできる介護予防の広報として、運動・栄養・口腔に関する、運動手帖の作成を実施した。 IJ

組 3 況

年 度課

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 ||今後も引き続き、自宅でできる介護予防についても啓発を行っていく必要があるとともに、各団体の新規立ち上げ及び継続的な運営ができるよう支援を行っていく必 要がある。

題 組 H

方

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた、運営支援を行う。

3	计	
••	••	•
17	参	
Ī	画	
1	슺	
=	恙	

の 意 見

 拖策の方向性	П	市民一人和	 とりが活躍でき	 る社会環境の ^慰	 &備				担当部署
具体的施策			<u></u>				 境の整備		7
取り組みの名			社会の推進に向						一 国際課
① 外国人	のため		口「熊本市外国人約						
	9、平成3		月までは「多文化共 人総合相談プラザ		「業」での相談件数	(「問い合わせ」を	含む)。		
	指 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·-
参 考 指	相談作	 牛数	件	6,961	4,035	1,115	908	4,035	Z
指 標									
									+
平 談」のみを また、新 り 以上より 里 由 男女共同	件数とし 型コロナ 、自己評 参画の視	て挙げている ウイルスの影響価については 見点を踏まえ事	。 響により国際交流 <i>会</i> Zとした。 業の分析を行って<	開設したことから。 全館が休館している	、相談件数のカウン	ント方法について料の相談は行わなか	情査を行い、令和:	元年9月以降は「女が減少した。	】 D影響により規模等縮小 一問い合わせ」を除く「相
評価の理由 令和3年度事業の分別 ま以 男 化	件型、	で学げている。 でウイルスのでは でウイルついては では、 はたで、 はたいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	響により国際交流会 Zとした。 業の分析を行ってく 行に伴い国際交流 者に寄り添った対 寄せられた相談は 引人からの相談 64	開設したことから、 会館が休館している ください。 で会館が休館となっ 応を行った。 次のとおり。 件	、相談件数のカウン る間は、原則対面の	ント方法について# の相談は行わなか	情査を行い、令和語のかったため相談件数 かったため相談件数 かも活用しながられ	元年9月以降は「 女が減少した。 日談対応を行った	
評価の理由 令和3年度事業の分析 令談 男 化 男 が のた上 女型的中で 相 令のた上 女型な和在日相「「談和み、よ 円口違名3留本談教出者 2 を新り 同口追年資 が育産に を がり は かい	件型、	マ学げている。 でウイルついては にウイルついては にからいまで、 はたいでは、 はたいでは、 はたいでは、 はたいでは、 はたいでは、 は、またができるができる。 は、またができるができる。 は、またができるができる。 は、またができるができる。 は、またができるができる。 は、またができる。 は、までができる。 は、までもでもでもできでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	響により国際交流会 Zとした。 業の分析を行ってく 行に伴い国際交流 者に寄り添った対 寄せられた相談は 別人からの相談 64 と 23件 を抱えていることも	開設したことから、 会館が休館している なださい。 で会館が休館となったを行った。 次のとおり。 件	、相談件数のカウンの制度の対象を表現である。	ント方法について# の相談は行わなか	情査を行い、令和語のかったため相談件数 かったため相談件数 かも活用しながられ	元年9月以降は「 女が減少した。 日談対応を行った	「問い合わせ」を除く「村
評価の理由 令和3年度事業の分析 令和2年度課題への取り組み状況談 男 化 【	件型、参ナ、度格の容に子関で、では、一度に対して、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	ボウイに ボウイに ボウイに を感上女 あ 56 相関 では、	響により国際交流会 とした。 業の分析を行って流 活行に寄り添相談に 活性られた相談 64 とりを抱えていることも 課題 で記課題 からの取り に記課題ののた。。	開設したことから、 会館が休館している だ会館が休館となっ でをおり。 件 多く、何度も相談に るのか、把握が葉	、相談件数のカウンの制度の対象を表現である。	ント方法について# の相談は行わなか	情査を行い、令和語のかったため相談件数 かったため相談件数 かも活用しながられ	元年9月以降は「 女が減少した。 日談対応を行った	「問い合わせ」を除く「村
評価の理由 令和3年度事業の分析 令和2年度課題への取り組み状況令和3年度課題へ談ま以 男新的令〇「〇 相 令相 令外 へ間 であ、よ 共型な和在日相「「談 和談 和国 和勝 和国 和供のた上 共型な3留本談教出者 2が 3人 3人 3件 3件 3人 3件 3件 4件	件型、 参ナ、度径、四三、関 度の 度用 度に数コ自 画ウを中格の容に子関(20年)(20年)のイ理中別配別関育連(202年)(202)とナ評(4)解に、偶(すてす)(201)第一、7)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)	に ウー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボ	響により国際交流会 とした。 業の分析を行って流 活行に寄り添相談に 活性られた相談 64 とりを抱えていることも 課題 で記課題 からの取り に記課題ののた。。	開設したことから、 会館が休館している に会館行とおい。 体ののか、相談に をののか、把握が業 組み状況】	、相談件数のカウンの制度の対象を表現である。	ント方法について# の相談は行わなか	情査を行い、令和語のかったため相談件数 かったため相談件数 かも活用しながられ	元年9月以降は「 女が減少した。 日談対応を行った	「問い合わせ」を除く「ホ

画	
会	
議	
の	
意	
見	
_	

施領	乗の方向性	П	市民一人ひとりが	活躍できん	 る社会環境の整備	Ī				担当部署
具作	体的施策 15 性的マイノリティへの支援・社会参画促進									
取点	J組みの名称									
令和3年度(20	- 「 ・対双が20i ②い双がかっついででは ・対のででである。 ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では	ペートナーシップ宣誓制度の運用 能本市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」に基づき、パートナーシップ宣誓制度を平成31年4月1日より実施。 対象者の要件:次の全てに該当する、一方又は双方が性的マイハティのカップル 双方が20歳以上であること いずれか一方が市内に在住、または本市に転入を予定していること 双方に配偶者がいないこと及び他にパートナーシップの関係にないこと 双方が近親者でないこと 合和3年度宣誓組数 1組 ペートナーシップ宣誓制度の都市間相互利用に関する協定の締結 ペートナーシップ宣誓制度は当該自治体でのみ有効で、他の自治体へ転出の場合は受領証等を返納が必要となり、再度転出先で改めて手続きを行うことは大 精神的及び経済的負担となることから、「パートナーシップ宣誓制度の都市間相互利用に関する協定書」を締結、相互で発行済の受領証等がそのまま活用でき うにしたもの。 協定締結自治体】 国間市(令和元年10月30日に協定を締結) 比九州市(令和2年4月1日に協定を締結)								
	指	標	名 .	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・ー)
参考指		_		_	_	_	_	-	_	_
指標										
175										
										14 ABT
					目己評価の評価基準: 	A 順調である 	B あまり順調でない 	C 順調でない - Z	新型コロナウィルスの影	影響により規模等縮小 1
評価の理由 令和	男女共同参画 ①パートナー?	の視,	<u>点を踏まえ事業の分材</u> 宣誓制度を希望された ≤都市間のパートナー	fを行ってく -方への対応	ださい。 なを適切に行い、宣誓	- 誓書発行につ:	なげることができた	。 3 山 小 各 七 級 当 1	- 0 t : t : 0 t -	
3年度事業の分析				ンツノ旦音(刊及伯 丑利用[€ 関9	る助たでが	し、旦言がのカック	/ ルの見代所の	こうながつだ。	
令和2年度課題			F度)に残った課題】 開始時より9組に増加	したが、今征	後も市民の理解促進	や性的マイノリ	リティ当事者への制	度周知について	工夫が必要。	
への取り組み状況へ	各種研修、セ	ミナー	F度)における上記課題等の機会を活用し、周			産進するほか、	当事者支援団体と	の意見交換会等	も活用し制度の周領	印を図っていく。
令和3年度課題へ	制度利用者が	まだる	F度)に残った課題】 Fだ少なく、今後も市民			当事者への制	度周知についてエ	夫が必要。		
の取り組み方針	【令和4年度(Ź 引き続き各種 く。	2022 ^全 研修、	F度)における上記課題セミナー等の機会を活	題への取り。 舌用し、制度	組み方針】 の周知を図ることで	市民の理解を	促進するほか、手	 続きガイドブック(の見直し等を含め制	度の周知を図ってい
参	······	•••••	•••••			•••••	••••••	•••••		······
>画会議の意見										

		目標 だれもか 	、ともにいきいきと 	、個性と能力を発 					1
	の方向性		とりが活躍できん		莆 ————————————————————————————————————				担当部署
	x的施策 組みの名称	1	リティへの支援 リティへの理解f		2.1 の間供は		エフナーケケ - AJ 1千 5A	· * • #	男女共同参画課
令和3年度(2021年度)実施概要	①性的マイハリティへの理解促進に向けた市民向けセミナー及び職員向け研修の開催 いかなる性別、性的指向、性自認であっても、一人ひとりの人権が事重され、個性や能力を十分に発揮しその人らしく生きられる ような社会の実現に向け、性的マイノリティについて正しく学ぶためのセミナーを実施した。 【日 時】令和3年(2014年)11月1日 ~ 令和4年(2022年)3月31日 【対 象 者】 市民・事業者及び市職員等 【テ ーマ】「性の多様性を尊重する熊本市をつくろう」 【講 師] 渡辺大輔氏(埼玉大学教育機構基数会育研究センター准教授) 【実施方法】 熊本市公式youtubeチャンネルでの動画配信(市職員向けには、Microsoft Streamにて同内容を配信) ②相談員研修の開催 本市職員が性的マイノリティの基本的知識と当事者を取り巻(現状、相談を受ける側の基本姿勢等について身に付けるために実施した。 【申】 令和4年1月26日(午前・午後に分け実施) 【参 加 者】 相談員等18名(熊本市11名、連携中枢都市7名)								
参 -	指		一ジを掲載、随時		実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一
参考指標		-	-	-	-	-	-	-	-
				自己証価の証価は	上進・Δ 順調である	R あまり順調でかい	こ 順調でかい フ	新刑コロナウィルス <i>の</i>	影響により規模等縮小
和3	①性的マイノリ ②性的マイノリ	<u>「の視点を踏まえ事</u> 美 リティへの正しい理解 リティ当事者・もしくは	の促進に向けたセ 家族や関係者から	ミナーを動画配信	- にて実施すること 性のある相談員!	で、性別や年齢に に対し研修を行 う こ	限らず啓発ができ; とで、その抱える[た。 困難等について理	
年度事業の分析	る心構えを身1 ③性的マイノル ④⑤いかなるで を行うことがで ⑥市の各課で	②性的マイノリティ当事者・もしくは家族や関係者から相談を受ける可能性のある相談員に対し研修を行うことで、その抱える困難等について理解し適切な対応ができる心構えを身に付けることができた。 ③性的マイノリティの基礎知識に関する出前講座は2件の開催であり、昨年度と同様であったが、1件は新型コロナウイルス感染拡大の影響により急遽中止となった。 ④⑤いかなる性別、性的指向、性自認であっても1人ひとりの人権が尊重される社会についての理解を深めるために法令の改正や現在の状況を踏まえた必要な改訂を行うことができた。 ⑥市の各課で行っている事業等が性的マイノリティの当事者に対応しているかを一覧として市HP上に掲載することで、当事者の利便性向上につながった。							
	新型コロナウィ	令和2年度(2020年度)に残った課題】 新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、出前講座の実施回数が伸び悩んだ。							
取り組み状況	新型コロナウィ	令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 所型コロナウィルス感染拡大防止に留意しながら、実施についての周知を行った。							
和3年度課題への	新型コロナウ <i>/</i> 【令和4年度(2	令和3年度(2021年度)に残った課題】 型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、セミナー等の対面での実施ができなかった。							
取り組み方針	新型コロナウィ啓発となるよう	印4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 コロナウイルスの感染状況に留意しながら、セミナー等については開催時期・開催方法について検討し動画配信やオンライン、対面での実施も含めより効果的な となるよう努める。リーフレット等の啓発印刷物の配布についても、イベント等実施時に配布協力依頼を行うなどし、啓発に努める。							

参	参	
画		
議		
の		
意		
見		

施領	ق策の方向性 Ⅱ 市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備 担						担当部署			
具体	体的施策 15 性的マイノリティへの支援・社会参画促進							用去共同金丽調		
取り	り組みの名称 ③ 性的マイノリティ当事者や支援団体等と市関係機関の意見交換会の開催等、性的マイノリティ当事者が抱える生きづらさの解消に向けた必要な支援の実施							一 男女共同参画課 		
令和3年度(2021年度)実施概要		ま新型 令利 市内	コロナウイル <i> </i> 4年2月9日 の性的マイノ	体と市関係課との 、感染症の感染対 リティ当事者・支援 、況、団体からの要	策の観点よりオン 団体 3団体	ライン(teams)に。	より実施 系課と情報共有を行	īった。		
	 指	標	名	単位	基準値 (H30)	 実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参				_	_	_	_	_	_	_
参考指標										
悰										
					自己評価の評価基 	準: A 順調である 	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新	所型コロナウィルスの 	影響により規模等縮小 ↑
評価										
価の問						-				
理由										
	男女共同参画	iの視	点を踏まえ事業	美の分析を行ってく	ださい。					
令和?	・対面での実施要望以外にも				施ができた。当事:	者や支援団体のフ	うとのお顔を見なが	らオンラインで実	施することで、事	前に伺っていた質問や
3										
年度事業の										
未のハ										
分析										
令和	【令和2年度(2			果題】 とにより、活発な意	き目な過を行うこと	・ができなかった				
2 年	・一一一日日	光义	挟去となりたこ	.とにより、心元は息	3元又揆で117年6					
· 度 課 題										
題へ	【令和3年度(2	2021年	E度)における	上記課題への取り	組み状況】					
の 取				当事者や支援団		換会を実施できた	E 0			
り組み										
状										
	【令和3年度(2									
和 3 年	・オンラインに。	よる意	、見交換会だっ	たが、新型コロナワ	ウイルス 活発な意	意見交換を行うこと	こができなかった。			
度課										
題へ										
	【令和4年度(2 ・新型コロナウ	2022年 アイルス	F度)における ₋ ス感染状況に賢	上記課題への取り 留意しながら、開催	組み方針】 時期・開催方法に	ついて検討しなか	い意見交換会を開	催し、支援団体等	等からの意見の把	!握に努める。
組み										
取り組み方針										
			•••••			·····	······	······	·····	
参画会議										
会議										
の意										
見										

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	16	生涯を通じて健康であるための支援	
取り組みの名称	1	健康づくりのための学習や検診、相談機会の提供	健康づくり推進課

①健康相談・健康教育の実施

・食生活の乱れや運動不足等による生活習慣病の発症、若い女性のやせなどに起因する骨粗しょう症などの健康課題があり、健康増進法に基づく事業として、生 活習慣病予防や歯科疾患等に関する健康相談・健康教育を実施している。 和

②がん検診の実施

2

年 度

実 施 概 要

由

3

2

年 度 課 題

況

課 題

の

取

組

針

・がんによる死亡を減少させるため、国の指針に基づく肺・胃・大腸・乳・子宮頸がんの5つのがん検診を実施。 度

特に女性特有のがん(乳・子宮がん)については、H21年度から国の補助事業として、一定年齢の市民を対象に検診の無料クーポン券と啓発冊子を送付している。 2 令和3年度においても引き続き子宮頸がんハイリスク世代(20代~30代)、乳がんハイリスク者層(40代~50代)へ個別受診勧奨等を行うとともに、受診率向上及び 受診しやすい環境整備のための取組として、冬期における大腸がん郵送検診、胃がん検診(胃内視鏡検査)、70歳以上の自己負担金無料化を実施している。

							_	
	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標	健康教育・相談の参加延人数 (集合型+オンライン型講座の受 講者数含む)	Д	12,833	10,671	5,895	2,961	13,000	Z
	乳がん検診受診率	%	9.6	11.4	11.3	11.0	11.8	Α
	子宮頸がん検診受診率	%	12.0	14.0	15.2	16.0	14.4	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

【健康教育・相談の参加延人数】

評 | 新型コロナウイルス感染症により、地域における健康教育や健康相談の機会が減少し、参加者数が減少している。

価 【乳がん・子宮頸がん検診受診率】

┃ハイリスク世代向けの個別受診勧奨の効果もあり、コロナ禍においても乳がん検診の受診率はほぼ横ばい、子宮頸がん検診については上昇した。

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

①健康相談及び健康教育 和

市ホームページやLINE、健康アプリを活用する等、コロナ禍においても効果的に啓発できる方法を工夫して実施した。

②がん検診の実施

度 だれもが生涯を通して健康であるために、がん検診を受診しやすい環境整備を行い、検診受診率の向上に取り組んだ。令和3年度においては、新たにピロリ菌の感 染有無を調べる胃がんリスク検査を開始した。検査については、40歳代を対象とし、検査は市内及び近隣市の約250か所の医療機関で受診可能である。また、41・ 45・49歳の方には受診勧奨はがきを送付し、周知に取り組んだ。

また、便秘、生理で検診困難なケースや、コロナ禍の受診控えを招かないよう、大腸がん郵送検診の前年度受診者に対し検査キットを自動送付し、いつでも受診可 析 能な受診環境を拡充するなど利便性向上に取り組んだ。受診後のアンケートでは「申込の手間が省けた」「毎年忘れず受診できるため便利」等、好評であった。

【令和2年度(2020年度)に残った課題】 和

①健康相談及び健康教育については、さらにその取組を広げていく必要があり、また②がん検診については、効果的な周知啓発を図り、更なる受診者数増加に努 めたい。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の ①コロナ禍のため地域における健康づくり活動は進まない状況であったが、心臓リハビリテーション実施施設と連携し心不全の悪化防止を目的とした運動指導を行 うモデル事業(循環器疾患悪化防止対策モデル事業)を行い、ウォーキングが継続するなど活動量の増加につながった。

組 ②市公式LINEによる広報やより効果的な受診勧奨を行い、受診率向上に取り組んだ。 状

(令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 ①循環器疾患悪化防止対策モデル事業参加者が事業終了後も運動が継続できているかを検証する必要がある。 地域での健康づくりの取組が再開されるよう地域住民と協働で行う健康まちづくり活動の活性化を図る必要がある。

②さらなる周知啓発や受診しやすい環境整備を行いながら受診率向上に取り組んでいく必要がある。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①心臓リハビリテーション実施施設や学識経験者等と連携し、循環器疾患悪化防止対策モデル事業の検証を行う。 健康まちづくりの活性化に向けたアンケート調査を実施し、健康まちづくり活動の推進に向けた取組みを進める。

②令和5年2月から、これまで集団検診のみで実施していた肺がん検診(個別検診)を開始し、身近なかかりつけ医で受診できる環境整備を行う。 方

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	16	生涯を通じて健康であるための支援	保護管理援護課
取り組みの名称	2	妊娠・出産に関する健診の充実や専門機関と連携した相談・指導・支援の実施	各区福祉課

① 来所・電話による女性相談

- ② 保健子ども課や自立支援センター等との連携支援
- ŀ妊娠に関する相談は、女性相談の一部として受け、傾聴、助言、情報提供などを行った。また、ケースに応じて保健子ども課の相談員との連携に 和 よる養育相談などの支援を行う。
 - ・妊娠・出産に関する相談については、女性相談の一部として受け、傾聴、助言、情報提供を行い、関係部署へ繋ぐ。
 - ・他機関からの情報提供に対しては、情報交換を行いながら、支援の継続に努める。

参考指標	4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
	考	妊娠相談件数	件	21	32	12	7		-

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

妊娠に関する相談件数であり、評価の項目が適さない 評

の 理 由

年

度 事 業 の 分 析

課 題

価

2 0 2

年 度

実 施 概 要

> ・DV被害者や居所喪失状態にある妊婦については、母体の安全の確保及び安心して出産を迎えられる環境を整える必要があり、出産前からの 受け入れが可能な体制の整備(社会資源)が不可欠である。

- ・DV被害が望まない妊娠に繋がる場合もあるため、保健子ども課等関係機関との連携を図る。
- ・妊娠・出産に関する相談者には生活困窮に関する相談もあっており、生活自立支援センターや保護課との連携が重要である。

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・妊娠・出産に関する相談者には、経済面に関する課題のある人もあり、前年同様、生活自立支援センターや保護課との連携が重要である。 和 ・DV被害者や居所喪失状態にある妊婦については、母体の安全確保及び安心して出産を迎えられる環境を整える必要があり、出産前からの受け |入れが可能な体制の整備(社会資源)が不可欠である。

•DV被害で望まない妊娠のケースもあるため、保健子ども課等関係機関との連携を図る必要がある。 度

・年々、相談内容が複雑多様化しているケースが増えているため、適切な指導助言を行うことができるように体制を整える必要がある。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 取

- ・各区福祉課、保健子ども課等本市関係部署のほか、外部機関との情報共有と連携を図る。
- ・相談しやすい環境に配慮するとともに、妊娠・出産後に活用すべき資源の情報収集に努める。
- ・DV被害者に対し、関係機関において、早期に相談出来るよう案内を行ってもらう。
- ・適切な指導が行えるように、相談員の知識、対応スキルの向上を図る 状

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

|・妊娠・出産に関する相談者には、経済面に関する課題のある人もあり、前年同様、生活自立支援センターや保護課との連携が重要である。 ・DV被害者や居所喪失状態にある妊婦については、母体の安全確保及び安心して出産を迎えられる環境を整える必要があり、出産前からの受け 入れが可能な体制の整備(社会資源)が不可欠である。

•DV被害で望まない妊娠のケースもあるため、保健子ども課等関係機関との連携を図る必要がある。

・年々、相談内容が複雑多様化しているケースが増えているため、適切な指導助言を行うことができるように体制を整える必要がある。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】 取

- ・各区福祉課、保健子ども課等本市関係部署のほか、外部機関との情報共有と連携を図る。
- ・相談しやすい環境に配慮するとともに、妊娠・出産後に活用すべき資源の情報収集に努める。
- ・DV被害者に対し、関係機関において、早期に相談出来るよう案内を行ってもらう。
- ・適切な指導が行えるように、相談員の知識、対応スキルの向上を図る 方

参	
画	
一会	
参画会議の意見	
<u></u>	
1 2	
恵	
見	

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	16	生涯を通じて健康であるための支援	海虫粉杏钿
取り組みの名称	3	児童・生徒の発達段階を踏まえた性に関する指導や、性に関する指導を通じたいのちを守る教育の充実	健康教育課

①【性に関する指導研修会の実施】

・第1回性に関する指導研修会

日時 令和3年5月25日(火)~6月4日(金)

方法 オンライン配信

内容「学校における性に関する指導について」

「いのちの大切さを考える講演会の実施について」

・第2回性に関する指導研修会

日時 令和3年11月18日(木)

方法 オンライン研修

内容 講演「性教育のこれまでとこれから」

講師 埼玉医科大学 助教 高橋幸子 氏

②【いのちの大切さを考える講演会の実施】

産婦人科医等の専門家を中学校・高等学校・支援学校に派遣し、子どもたちが性に関して正しい判断力を身に付け、適切な行動選択をできるよう、「いのちの大切さを考える講演会」を実施した。

4	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	講演会実施校数	校(%)		15校実施予定 実施6校	47校実施予定 実施31校	市立中·高·特支 学校45校	市立中·高·特支学校 47校、小学校50校	Α
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

いのちの大切さを考える講演会については、市立中・高・特別支援学校47校の実施予定だったが、45校の実施だった。実施できなかった2校も令和4年度は実施 評 予定である。

価の理

由

令

和

3

年

度

2

2

年

度

実

施

概要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

令 ①性に関する指導担当者を対象に、性に関する指導研修会を2回実施した。2回目の講演会では、性に関する指導についてたくさんの新しい情報を発信され、とて も好評であった。

□ ②いのちの大切さを考える講演会は専門家から性感染症や性の多様性等について正しい知識や多くの情報、経験談を生徒に伝えることができとても有意義だっ度 た。性に関する知識や意識は個人差があるため、学校と専門家の事前打合せを十分に行う必要がある。

事業の分析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和し、児童生徒等の発達段階に応じた性に関する指導の充実に向けて、各学校の課題や実践を明らかにし共有する。

②中学校・高等学校・支援学校すべての学校での実施を目指したが、各学校の事情や担当者の意識等の差により、予定した全学校での実施はできなかった。また、講演会だけの単発の実施とならないよう、系統的に取り組める取組も必要である。

課 題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

①性に関する指導担当者に対して各学校の課題や悩みを事前アンケートを実施し、それを講師の先生に答えていただくことで共有することができた。

取り、単発の実施とならないために、講演会実施前後に学校においてパネルを掲示して継続的に学習できるよう素材の提供を行った。

り組み状況

度

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

年度課題への取り組

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①オンライン研修であっても講演会等はリアルタイムで実施し、質疑等も行えるようにする。

•	t	-	
		•	•
4.4	9	È	
Ī	₫	1	
4	ŝ	₹	

H

画 会 議 の 意 見

施策の方向性	П	市民一人ひとりが活躍できる社会環境の整備	担当部署
具体的施策	16	生涯を通じて健康であるための支援	ᄚᇸᆄᆉᄶᆱ
取り組みの名称	4	HIV/エイズを含む性感染症について、正しい知識の普及啓発	感染症対策課

①正しい知識の普及・啓発

- ・医療機関へ啓発パンフレットを配布
- ・ラジオ(5回)、市政だより(2回 6月号・12月号)

・市ホームページ、市公式SNS(LINE、Twitter)による情報発信

年 ②HIV相談·検査実施 度

和

3

2

2

年 度

実 施 概 要

- ·平日火曜日~木曜日 午前9時~11時(最大5名/日)
- •休日検査(予約制)実施 6月、12月

③推進体制の整備

・熊本市エイズ総合対策推進会議の開催(10月)

	4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
指	考	HIV抗体検査受検者数	件	1,197	1,355	358	505	1,200	Z
	標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

・新型コロナウイルスの影響により、HIV抗体検査体制を縮小して実施

価 の 理

由

事 業 の 分 析

度 課

3

況

度課 題

評

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

当課で実施している事業は、「生涯を通じて健康であるための支援」としての施策であり、全ての市民を対象に行っているため、性別による実施内容の相違はなく、 男女共同参画の視点から事業分析を行うことはできない。 3年度

強いてあげるのであれば、エイズ総合対策推進会議の委員にLGBT当事者を選定している。

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

①新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、オンラインを利用した啓発活動について検討する。

②新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、感染対策に配慮した検査体制の拡充について検討する。 ③新型コロナウイルス感染症を考慮し、オンライン方式によるエイズ総合対策推進会議の開催について検討する。

題 【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

①令和3年度から市公式SNSを利用した啓発記事の配信を開始した。 取

②検温や手指消毒、パーテーション等を使用し、感染予防対策を行った上で検査を実施した。

③オンライン方式にてエイズ総合対策推進会議を開催した。 組

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①若年層への正しい知識の普及啓発については、時勢に即した新しい啓発方法の検討が必要。

②コロナの発生状況を見ながら、保健所での検査体制の拡充を図るとともに、民間医療機関への検査業務委託を検討する。

③コロナの発生状況を見ながら、対面かオンライン、いずれかの方法で会議を継続実施し、各分野の委員と情報共有及び意見交換を行う。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

①多種多様なSNSについて広報活動への利用を検討する、学生ボランティアとの協働により啓発活動を行う。

②検温や手指消毒、パーテーション等の使用など、感染予防対策に配慮した上で検査を実施する。民間医療機関への検査業務委託に関するアンケートを実施す 組 る。 H

|③オンライン方式によりエイズ総合対策推進会議を開催し、各委員との情報共有を行う。 方

乽	参	
亘	画	
숲	会	
請	参 画 会 議 の	
0		
穒	意	
ĮĘ		

施贸	の方向性 III あらゆる暴力を許さない社会の実現 担当部署									
具体	本的施策	17	暴力(DV、	セクハラ等)	を許さない基盤	きづくり				用七世日老兩部
取り	J組みの名称						使った啓発・広			男女共同参画課
_	①例年11月 催	12E	~11月25日	は「女性に対する	暴力をなくす運動」	の期間であり、市	政だよりやホームへ	ページによる広報	のほか、期間中に	CDV防止セミナーの開
和		ウイ	ルスの感染拡大	大により研修動画で	を作成し、熊本市な	公式YouTubeチャン	ノネルにて配信			
3 年 度							(同月は児童虐待 を新都心プラザに		ことから子ども政	(策と共催)、
2 0			た相談窓口等の	の広報・啓発 vティFM)」への出	油					
2	ククの 田州	1. 031	00) MATTIN (2	, У.П. 1 (1)	<i>/</i> A					
年度										
実施概										
概 要										
×							-			
4	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参考指		-		-	1	-	-	-	-	_
招 標										
	自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小 ↑									
評価										
の										
理由										
令				の分析を行ってく						
和 3	②「女性に対す	-る暴	力をなくす運動	」の期間中(11月 [−]	い」やラジオ・FM7 12日~25日)には	など多様な媒体を 本庁舎1階ロビー	利用し、時宜を得た にパープルリボンツ	ニ広報が実施でき ノリーを展示し、昨	た。 『年に引き続き、『	関係団体と連携した
年度	ハーノルリホン	ノ理男	かを行うことがで	<i>さた。</i>						
事業の										
の分析										
令	【令和2年度(2	2020年		果題】						
和 2										
年度課										
題へ	【令和3年度(2	021年	王度)における	上記課題への取り	組み状況】					
の取			1 12/1-00/7 0-							
り組み										
状況										
令和			F度)に残った記 OV防止调間に		していたが、コロコ	ナ感染拡大防止の	ため令和2年度か	ら動画視聴に切り	J替え実施してい	るが、視聴回数も順調
3 年 度	であり、	2,0	~ 1,0,7 — ,~ 1,0,7 = ,		,			3 m	, 1, 6, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	
課題										
へ の 取	【令和4年度(2	2022호	手度)における ₋	上記課題への取り	組み方針】	ての研修実施も必	y m L 22 こっ			
り組	新型コロナの。	公 余1	大況によっては、	予和3年度に引き	阮さ 男凹倪晹カヌ	での研修美施もぬ	少安と考える。			
み方針										
<u> </u>	<u> </u>									
参画 ^										
会議の										
意見										

施策の方向性	Ш	あらゆる暴力を許さない社会の実現	担当部署
具体的施策	17	暴力(DV、セクハラ等)を許さない基盤づくり	L + 5 = 15 = 15 = 15
取り組みの名称	1	啓発冊子、市政だより、市のホームページ等様々な媒体を使った啓発・広報の実施	人権政策課

①人権啓発事業におけるDV・セクハラ等を扱った啓発パネルの掲示、パンフレット(啓発冊子)の配布。

・ヒューマンライツシアターでパンフレットの配布を実施。

・ラブミンマッチ(ロアッソ熊本との人権啓発合同イベント)で啓発パネルの掲示とパンフレットの配布を実施。

年 | 度 ②DVやセクハラ等をテーマとしたビデオ・DVDの貸出(貸出方法等はホームページに掲載)

・人権政策課び熊本市人権啓発市民協議会で管理するDVやセクハラをテーマとした啓発ビデオ・DVDの貸出を実施。

							_	-
	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
1	大権啓発事業においてDV・セクハラ などを扱った啓発パネルの掲示、パン フレットの配布		13	12	3	2	増加	Z
1	♥ DVやセクハラをテーマとしたビデオ・DVDの貸出	0	47	45	44	57	増加	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

・DVやセクハラ等を扱った啓発用パンフレットの配布については、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのイベントが開催中止となり、啓発の機会が 平し減ったため

・DVやセクハラをテーマとしたビデオ・DVDの貸出回数については、貸出件数が増加したため。

価の理由

和 3

> 2 0 2

年度

実施概要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

予 |・啓発冊子の配布については、新型コロナウイルス感染症の影響により配布の機会が減少したが、参加された方に対しては理解の促進につながる啓発を行うことが 和 |できた。

3 にこっ。 年 ・ビデオ・DVDの貸出については、企業や団体、学校や市の各組織の啓発機材として活用されており、貸出回数も増加していることから、DVやセクハラ等の人権問度 関への関心が高いと思われる。

の分析

事業

計【令和2年度(2020年度)に残った課題】

和 新型コロナウイルス感染拡大の観点から、大規模な講演会等のイベント開催ができなくなっており、啓発冊子の配布が困難な状況にある。 2

度課題

年

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

の取新たに、くまもと新都心プラザの図書館に啓発冊子を設置した。

り組み状況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和 | 令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、大規模な講演会等のイベント開催が減少しており、啓発冊子の配布が困難な状況にある。

年度課題への

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

啓発冊子については、イベントで配布する際にできるだけ多くの方に手に取ってもらえるように工夫する必要がある。

取り組み方針

参 画 会 議 の 意 見

		目	標 だれもが	ともにいきいきと	、個性と能力を多	発揮できるまち				
施領	での方向性	Ш	あらゆる暴力	力を許さない社	会の実現					担当部署
具体	的施策	17	暴力(DV、	セクハラ等)	を許さない基盤	きづくり				男女共同参画課
L	組みの名称	2		í等を対象とした	「DV被害者支	援セミナー」等の	のDV防止、被害	害者支援に係る記	構演会等の実施	力又共同多國际
令和3年度(2021年度)実施概要	•視聴期間	令 言い 熊本 DV初	訳の心理〜DV、 大学大学院人が 抜害者支援に関	6月中旬〜令和4年 デートDV加害者。 文社会科学研究部 対る方、学校関係	のもつ歪んだ認知 6 准教授 高岸 :	~」について 幸弘 氏				
*	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考			ミナー及び相談 参加者数	人	116	301	_	_	200	Z
指標	DV防止セミブ		(YouTube配信)	回	_	_	530	714	_	-
	*C = 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1					準:A 順調である l ibe配信による方法			f型コロナウィルスの影 	響により規模等縮小 ↑
理由 令和3年度事業の分析 令	・DVセミナー(果はあったと)	の講演 考える 2020	寅内容をYouTub る。 年度)に残った記	果題】	・、いつでもどこでも					きたため、一定の効
和2年度課題	・新型コロナウ	ウィル	ス感染拡大の観	見点から、集合形 式)開催については	推しくなることが想	定され、開催方法	等について検討す	る必要がある。
への取り組み状況	・令和2年度に	三引き	続き、YouTubel	上記課題への取り こよる動画配信に		視聴回数714回)				
令和3年度課題へ	・新型コロナウ	ウィル		⊵を視野に入れ、開		について検討する	 必要がある。			
の取り組み方針	・コロナ禍にお	らいて	、より多くの方々	上記課題への取り スへ広く啓発を図る への啓発及び、東	ために、YouTube	配信やオンライン 識と技術向上のた	―――― で実施する。 めに効果的な内容	―――― 学を取り入れる。		
参画会議の意見										

	目	標 だれもがともにいきいきと、個性と能力を発揮できるまち	
施策の方向性	Ш	あらゆる暴力を許さない社会の実現	担当部署
具体的施策	17	暴力(DV、セクハラ等)を許さない基盤づくり	男女共同参画セン
取り組みの名称	2	市民・事業者等を対象とした「DV被害者支援セミナー」等のDV防止、被害者支援に係る講演会等の実施	ターはあもにい
BOOK」を基本 令和 3 (2 デートDV防 (内容) 進 (責師) と (2 (3)市民グルー	本テキ 押井 i i i 学なか プ企i プ企i	が実の教訓をもとに、男女共同参画の視点に立った防災を学ぶ講座を実施。2018年度に作成した「男女共同参画の視点 テストとし、立場によって困難や支援の形が異なってくることを知り、それぞれができる防災、支援について一緒に考えていく 菓子、田中美帆(はあもにい職員) [参加者] のべ508人(8団体) 「全(出張講座) 就職をする子どもを持つ保護者がデートDV(交際中の男女間で起こるDV)の意味や内容を正しく理解し学ぶ無料の出張講 がとも子氏(リ・スタートくまもと代表) [参加者] 15名(女性13名、男性2名) 画① DV教育プログラム(男性編) 「学者支援の一環として加害者のDV行為を撲滅し、暴力によらない関係の構築を目的とする。ジェンダー、DV、面前DVについ	方法で講座を実施。 座を実施。
	する <i>†</i> を実施	ために、認知行動療法を主体にしたグループミーティング、ロールプレイングを交えながら進行し、暴力を用いないコミュニク	
ᄎ [内容] 新	型⊐⊏	い―「しあわせな親」になるために コナウイルス感染症流行で精神的・肉体的疲弊を感じているさなかの子育て中の方(特に女性)を対象に、自尊感情を高め、 こから妻に対する、または、両親から子に対するものなど)を防ぐための講座を実施。自尊感情についての講話および自律れ	

要学ぶ時間ももうけた。

[講師] 北村年子氏(自己尊重トレーニング・トレーナー) [参加者]41名(女性)

							_	
	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A・B・C・Z・一)
参 考 指	セミナー・講座数	回	1	4	4	4	4	A
標	セミナー・講座 受講生数	人	_	667	560	598	100	Α

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

セミナー・講座・イベント数: 数値目標を達成していないため 評 セミナー・講座受講生数 : 数値目標を達成しているため 価

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

|①対象に関わらず、必ず大規模災害時におけるDV・性暴力の危険性については講話を行っている。身体的暴力だけではない、精神的、経済的暴力の説明などにも つながる機会となっている。

②近年、携帯電話・スマートフォンの普及により、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の利用が進み、子どもたちの「大人には見えないつながり」における 人間関係のトラブルなどが増えている。子どもたちを暴力の加害者にも被害者にもさせないためには保護者としてどのように関わり、何に気を配ればよいのか考え る機会とした。保護者世代でもデートDVの正しい意味や内容を「知らなかった」「初めて知った」という感想も多かった。 3

③従来のDV被害者支援は、(加害者から)逃げる等の被害者にのみ行動を促すものであったが、本プログラムは加害者に働きかける内容となっている。内閣府でも 年

|この講座の重要性について取り上げられるようになっており、全国から注目されている。

度 ④新型コロナウイルス感染症流行により、家庭生活の多くの責任を背負う母親たちの精神的・肉体的疲労は計り知れない状況にある。経済的不安だけでなく、家族 事 |の体調管理、ワクチン接種対応、万が一感染した場合の準備・対応など大きな不安を抱えながら、「みんな大変だから」と周囲に弱音を吐けない現状もある。以前か 業 ら問題視されていた「無償の家庭内長時間労働」が、コロナ禍の行動制限によりさらに加速しており、そのストレスの矛先が、自分や家族に向かう危険性も懸念され の 分 る。アンケートでも「コロナ禍では、他人と距離をとるかわり、子どもとの時間がぐっと増え、つい子どもにイライラしてしまう。そんなときは、怒りの根底にある自分の 析 感情と向き合い、きちんと認めて褒めてあげたい」など、意識の変化を見ることができた。

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】

の 理 由

年度課

題

取 り 組

3

の

和┃・電話申し込みの時点で「その日の状況で来られないかもしれない」という方や匿名申込があり、来館できない等さまざまな事情を抱えた方への対応をどうするか。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・電話以外の申し込み方法を設け、完全オンライン講座として、来館・直接対話がなくても受講できる体制で実施する。

み状況 【令和3年度(2021年度)に残った課題】

①伝える内容の精査と資料のアップデート

②参加者からはDV(ドメスティックバイオレンス)やデートDVの正しい意味や内容を「知らなかった」「初めて知った」との感想が多かった。啓発を行う上で保護者側に も、デートDVに対する認知度を上げ、DV防止啓発の重要性を認識してもらう必要性を感じた。

③広報や内容告知については慎重に行う必要がある。

|④参加者からのアンケート感想でも、自分の精神状況と家族への対応の関係について触れているものがいくつかあった。親が心の内に何を抱え何が暴力につなが るのかは引き続き検討が必要。

じ【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

組み方針	①研修参加や情報のアップデート ②PTAや学校側への定期的な声かけを行いながら、若年層への啓発、DV抑止につながるよう働きかけを行っていく。 ③市民グループ企画のためなし。 ④暴力防止につながる企画の継続実施。
参画会議の意見	

施領	乗の方向性	Ш	あらゆる暴力	つを許さない社:	 会の実現					担当部署	
具体	本的施策 17 暴力(DV、セクハラ等)を許さない基盤づくり 男女共同参画セン リ組みの名称 ③ 市民・事業者等を対象とした各種ハラスメントやDV・デートDVに関する出前講座の実施 ターはあもにい										
	組みの名称 ③ 市民・事業者等を対象とした各種ハラスメントやDV・デートDVに関する出前講座の実施 ターはあもにい ①デートDV防止講座(出張講座)										
令和3年度(2021年度)実施概要	[内容] 進	学や	就職をする子ど		《デートDV (交際中 長) [参加者]		るDV)の意味や内容 , 男性2名)	容を正しく理解し≒	学ぶ無料の出張	構座を実施。	
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	 実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参考指標		-		-	-	-	-	-	-	_	
標											
	Γ				自己評価の評価基準	售: A 順調である 	B あまり順調でない	C順調でない Z肴	新型コロナウィルスの 	影響により規模等縮小 ↑	
評価の理由	男女共同参画	の視	点を踏まえ事業	の分析を行ってく	<u>ださい。</u>						
令和3年度事業の分析	①近年、携帯 人間関係のト る機会とした。	電話・ ラブル 保護	スマートフォンの ンなどが増えてい 者世代でもデー	の普及により、ソー vる。子どもたちを	・シャル・ネットワー 暴力の加害者にも 株や内容を「知らな	キング・サービス 被害者にもさせる かった」「初めてき	K(SNS)の利用が ないためには保護 ^{知った」という感想も}	進み、子どもたち。 者としてどのようは ら多かった。また、	の「大人には見え こ関わり、何に気 この講座をきった	ないつながり」における を配ればよいのか考え いけに、男女共同参画課	
和 2			年度)に残った誤 葉を初めて聞い		・回答が複数あった	こ。引き続き知識の	と情報提供の必要性	生を感じた。			
年度課											
題への			年度)における上 を対象に啓発事	ニ記課題への取り 業を行う。	組み状況】						
取り組み状況											
和3年度	①参加者から	はDV	年度)に残った説 (ドメスティック/ る認知度を上げ	· イオレンス) やデ	ートDVの正しい意 重要性を認識して	味や内容を「知ら もらう必要性を感	ーーー らなかった」「初めて だした。	知った」との感想	が多かった。 啓発	きを行う上で保護者側に	
課題へ											
の取り組み方針	【令和4年度() ①PTAや学校	2022 ⁴ 側へ	∓度)におけるよ の定期的な声か	:記課題への取り いけを行いながら、	組み方針】 若年層への啓発、	ーーーー DV抑止につなか	「るよう働きかけを行	 うっていく。			
参	······										
多画会議の意											

施策の方向性	Ш	あらゆる暴力を許さない社会の実現	担当部署
具体的施策	17	暴力(DV、セクハラ等)を許さない基盤づくり	田 七 井 园 老 南 部
取り組みの名称	3	市民・事業者等を対象とした各種ハラスメントやDV・デートDVに関する出前講座の実施	男女共同参画課

出前講座の実施

年

度

2

0

2

年 度

実 施 概 要

・市民(グループ)及び事業者等が主催する研修等に講師を派遣し、専門知識や経験を生かした講座を行うことにより、 和

男女共同参画に関する理解を深めることを目的としている。

対象者:市内に居住し、通勤し、又は通学する者で構成され、かつ、当該出前講座への参加人数が

おおむね10人以上見込まれる集会、研修等を主催する市民及び事業者

開催講座数: 6講座(うちセクハラ・パワハラ・DV、デートDVに関する講座4講座)

開催テーマ: ・セクハラ・パワハラの防止(2講座)

DV、デートDV(2講座)

4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	出前講座の実施受講者数	人	-	1,274	1,287	422	768	С
標	回数	回	-	11	7	4	8	С

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

目標の受講者数及び回数を達成していないため

価 の 理 由

評

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

新型コロナウイルス感染拡大により、企業での対面方式による研修が実施できないことにより出前講座受講数の減少に繋がっている。 DVに関する講座については、令和2年度の3件に比べ1件減少しているため、リモートでの開催も視野にいれた柔軟な対応が必要。

事 業 の 分 析

和

3 年 度

【令和2年度(2020年度)に残った課題】 和

新型コロナウィルスの感染予防のための取組は継続することとしているが、現段階での申し込み状況の大きな改善は見込めない。

年度課 題

の

取

2

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

必要に応じて、各講座の講師のリモートへの対応をお願いするなど、個別の状況等に柔軟に対応を検討している。

IJ 組 3 況

令 和 (令和3年度(2021年度)に残った課題)

感染拡大の収束が見込めない中、講座受講者数の増加を図ることが課題。

年度課 題 の

取り

組 H 方

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら、個別の状況等に柔軟に対応を検討し、リモートでの実施を含めた講座の開催を検討する。

	3	Ŀ	†	
•	•	•	•	٠
	-	4	ŝ	
	•	_		
	Ī	8		

議 の 意 見

具体的施策 17 暴力 (DV、セクハラ等)を許さない基盤づくり 取り組みの名称 ④ 子どもや女性が犯罪の標的になることを防止するための街路灯や防犯灯、防犯カメラの設置等、安全・安心な環境の整備 ・主目的ではないものの、学校敷地内の学校教育運営に伴う施設の整備・維持・管理を行うことにより、結果として子どもや女性が犯罪の標的になることを防るための環境整備が図られている。 ・防犯灯については、学校内外を照らす照明が必要とあれば、管理者である学校長の要望に基いて調査の上、設置している。 ・防犯カメラについては、個人情報の保護の観点からも各学校の管理者である学校長が慎重に吟味し、設置については学校費やPTA、地域の防犯組織と連設置されている。 0 2 1 年度 度) 実施施 概要		目	標 だれもが 	ともにいきいきと	:、個性と能力を多	発揮できるまち							
日本	施策の方向性	Ш	あらゆる暴力	力を許さない社	会の実現					担当部署			
製造機の多様 (金 下さらや女性が見かの無いとなっときでは下方に対し、										┃ ヿ 学校施設課			
####################################	・主日的では	・主目的ではないものの、学校敷地内の学校教育運営に伴う施設の整備・維持・管理を行うことにより、結果として子どもや女性が犯るための環境整備が図られている。											
# (H30) (R70) (R2) (R3) (R8) 目に対している。 (R3) (R8) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3) (R3)	3 年度 (2 2) 設置されてい。 2 1 年度 ()	こつい								の防犯組織と連携し			
### 自己評価の評価基準: A 周頭である B あまり飛頭でない C 周頭でない Z 転型コロナウィルスの影響により規模等権		標	名	単位						自己評価(A·B·C·Z·-			
自己評価の評価基準: A 括詞である B あまり形詞でない C 括詞でない Z 彰社コロナウィルスの影響により規模等格	参	_		_	_	_	_	_	_	-			
一	標												
日本					自己評価の評価基	L 準: A 順調である	B あまり順調でない	C 順調でない Z 新	「型コロナウィルスの	影響により規模等縮小			
2	の理由 令和3年度事業の分析 令 【第女共同参議 学校施設の 4 【学校 を 1 【令和2年度(持 管	理等を適正に行	ਜ ੁਹ <i>†</i> ∈。	:〈ださい。 】	_							
状況	2 年度 課題 への取り 組	2021:	年度)における_	上記課題への取り	組み状況】								
計 参 画 会	状況 令和3年度(特になし。 特になし。 「令和4年度課題への取り組み」 「令和4年度会会」	2022:	年度)における_	上記課題への取り	組み方針】								
σ	参 画 会 議	•••••											

施策	の方向性	Ш	あらゆる暴力	つを許さない社:	 会の実現					担当部署		
具体	的施策	17	暴力(DV、	セクハラ等)	を許さない基盤で	づくり				道路保全課		
取り	り組みの名称 ④ 子どもや女性が犯罪の標的になることを防止するための街路灯や防犯灯、防犯カメラの設置等、安全・安心な環境の整備 ④ 令和3年度、道路照明灯を253基新設した。											
令和3年度(2021年度)実施概要	④令和3年度、	道路	照明灯を253基	新設した。								
	指	 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)		
参考指標	道路照	明灯	の 設置	基	-	_	133	253	200	Α		
指 · 標												
					 自己評価の評価基準	 : A 順調である	 B あまり順調でない	C 順調でない Z	 新型コロナウィルスの影	と響により規模等縮小 ↑		
	・地元要望に原	なじて	、道路照明灯 σ	新設を行うことが								
評価の理由												
の理												
令和	•道路照明灯	と新設	さることで、子	の分析を行ってく どもや女性はもと。	ださい。 より、あらゆる人にと	って夜間の視	認性向上など安全	・安心な道路空間	引の整備を行うことだ	ができた。引き続き、安		
3 年	全・安心な道路	各空間	の整備に努め	て参る。								
度事												
令和3年度事業の分析												
分 析												
令	【令和2年度(2	2020호	F度)に残った説	果題 】								
和 2 年	・特になし											
度理												
題しへ	【会和3年度(2021 <i>ት</i>	F度)における I	ニ記課題への取り	組み状況】							
の 取		-021	P/X/1-0517-01		ITTO VANCA							
り組												
の取り組み状況												
令		2021年	F度)に残った説	果題 】								
和 3 年	・特になし											
年度課題												
^ L	【会和4年度//	2000	F 使 \ ! ー + \ ! ユフ 「	- 台珊野人の野川	я 2, 1, 2 , 1, 1							
の取り組み方針	【7444及(20221	F皮/1〜の1/る」	:記課題への取り	祖の刀町』							
組み・												
方 針												
	••••••	•••••	•••••			•••••						
参画会議												
議の意												

施領	後の方向性	Ш	あらゆる暴力	りを許さない社:	会の実現					担当部署	
具体	施策の方向性 Ⅲ あらゆる暴力を許さない社会の実現具体的施策 17 暴力(DV、セクハラ等)を許さない基盤づくり										
取り	はり組みの名称 ④ 子どもや女性が犯罪の標的になることを防止するための街路灯や防犯灯、防犯カメラの設置等、安全・安心な環境の整備										
令和3年度(2021年度)実施概要				-ル×1、多目的ホ 計8台あり(事系		エ下女子トイレ前× 画機能なし)	1、2階食アト外 ×	:1、3階南奥×1、	3階エレベーター	前×1、	
4	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)	
参考指		_		-	-	-	-	-	-	_	
指標											
					自己評価の評価基	- 準: A 順調である - E	3 あまり順調でない	C 順調でない Z 新	f型コロナウィルスの 見	影響により規模等縮小 ↑	
評価の理由 令和3	男女共同参画	Īの視	点を踏まえ事業	の分析を行ってく	ださい。						
年度事業の分析	V A foots of		T (本) (- 14	# B # \							
和2年度課題	・台数の増設((正面		駐車場側玄関×1		× 1、学習室前×1	とアナログからう	デジタル機器への配	改修		
への取り組み状況	・改修について	(実施	延期	:記課題への取り	組み状況』						
令和3年度課題へ	・改修について	て実施									
の取り組み方針	【令和4年度(・年度内に増記	20 <u>22</u> 3 没とア	≢度)における」 ナログからデジ	:記課題への取り タル機器への改修	組み方針】 §予定						
参		•••••									
>画会議の意見											

施領	ままた。 表の方向性	Ш	あらゆる暴力	」を許さない社会	 会の実現					担当部署			
具体	本的施策	的施策 18 DV相談体制の強化と被害者の自立支援											
取点	川組みの名称	1	熊本市DVタ	対策ネットワーク	ク会議及び熊本	市DV対策庁内]連絡会議開催[こよる関係機関	相互の連携	· 男女共同参画課			
令和3年度(2021年度)実施概要	[書面報告月] [内 容] 平月 ②令和3年度 [書面報告月] [構成 容] 令 ③熊本報告月] 第二本報告月]		5DV対策ネット 和3年10月 警、関係行政機 年度におけるDV 市圏構成自治に 和3年12月	関する活動の状況	爰団体等 状況等について書 首会議	書面にて報告							
	指	指標名 単位 基準値 (H30) 実績値 (R元) 実績値 (R2) 実績値 (R3) 目標値 (R8) 自己評価(A・B・C・Z・ー) - - - - - - - - -											
参考指		-		-	-	-	-	-	_	-			
指標													
		自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小 ↑											
評価の理由 令和3年度事業の分析	男女共同参画 ・各関係機関・ が図れたかは	の視 つ部署 判断:	点を踏まえ事業 gから寄せられ <i>1</i>	の分析を行ってくだ ご質問や要望等に	<u></u>	書面報告による情報			ったこともあり、ど	の程度情報等の共有			
P和2年度課題	・DV被害者に ・男性DV被害 ・DV被害者の	子ども 者(L 心のク	らがおり児童虐行 GBT含)からのな ケアと自立に向	寺がみられる事案・ 相談における処遇 けた継続的支援	対応と保護施設(波害など、早急にほシェルター等) の研		が必要な事案が多	ろく、さらなる連携	強化が必要。			
への取り組み状況	・上記課題にた ・男性を含むD	令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 上記課題については、個別ケースへの支援をとおして関係機関のネットワークを活かしながら情報共有を図り、組織間での連携強化に努めた。 男性を含むDV被害者の支援においては、個別ケースをとおして関係機関と連携を図り、安全の確保と自立に向けた丁寧な支援に努めた。											
令和3年度課題へ	・DV被害者に ・男性DV被害 ・DV被害者の	(令和3年度(2021年度)に残った課題】 DV被害者に子どもがおり児童虐待がみられる事案や、高齢者のDV被害など、早急に関連機関との連携が必要な事案が多く、さらなる連携強化が必要。 男性DV被害者(LGBT含)からの相談における処遇対応と保護施設(シェルター等)の確保 DV被害者の心のケアと自立に向けた継続的支援											
の取り組み方針	【令和4年度() ・組織間での)	2022 ⁴ 重携弱	∓度)における」 食化に努めなが	:記課題への取り紹分、上記課題につい	組み方針】 いての情報共有を	・図り、解決に向け	た方策を検討する	0.					
参		••••••	•••••	••••••	•••••	••••••			•••••				
・画会議の意見													

協筆	の方向性	Ш	1	りを許さない社	、個性C配力を2 					担当部署		
	的施策		地域政策課									
		組みの名称 ② D V被害者への住民基本台帳事務における適切な支援措置の実施と情報管理の徹底										
令和3	①住民基本台 ・DV等被害者 また、必要に 【支援措置決策管轄区分 他市区町村 ※管轄区分	上帳から に に に に に に に に に に に に に	L に基づく支援措 の支援措置申出 て、警察等の各 対】(令和3年4月 :497)受付分:815 (置 があった際、住民相談機関及び他で 1日~令和4年3月 (中央区142、東区中央区300、東区で 措置申出者の住所	芸票の写し等の証明 市区町村との情報 31日)単位:件 129、西区83、南区 152、西区127、南 行地の区の区民課	明書から加害者等 共有を図ることとで 区78、北区65) 区121、北区115) に申出がなされ、	に住所地情報が漏	ーーーーーー 耐えいしないよう 持 件数。		D.		
	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)		
参考		_		_	_	_	_	_		_		
参考指標										-		
					自己評価の評価基準	準: A 順調である	B あまり順調でない (C 順調でない Ζ 新	型コロナウィルスの	▶響により規模等縮小 ↑		
市和3年度事業の分析 令	各区区民課の	担当	者と定期的に協	果題】)支援措置の現状		いて検討を行った。					
2年度課題	至らないことも	あっア	.			運用についての材	食討を行ったが、情	報共有のみで終え	わってしまい、課	題解決や運用整理まで		
の取り組み状況	各区区民課の 直した。	担当	者と定期的に協			り課題解決を図った	た。また、運用整理	を目的に各区民	課の意見をもとに	マニュアルの内容を見		
和3年度課題へ	他部署や他市	丁町村		屋し、本市の運用を								
の取り組み方針	【令和4年度(各区区民課の	2022 ⁴)担当	∓度)における」 者から挙げられ	=記課題への取り た課題について、	組み方針】 他部署や他市町 [;]	村(特に政令指定	都市等)の状況の打	把握した上で、課	題解決に努める。			
参		••••••										
画会議の意												

日 煙 だれもがともにいきいきと 個性と能力を発揮できるまち

施領	後の方向性	ш		ともにいさいさと りを許さない社:		5,4 (2 00.5				担当部署			
具体	x的施策 18 D V 相談体制の強化と被害者の自立支援												
取り	組みの名称	・の名称 ② DV被害者への住民基本台帳事務における適切な支援措置の実施と情報管理の徹底 民基本台帳支援措置申出書の提出のあったDV被害者に対して、DV相談の証明を行う。 日年度(2021年度)証明件数 : 熊本市 263件(中央区0件、東区86件、西区46件、南区36件、北区37件、男女共同参画課分 58件)											
令和3年度(2021年度)実施概要								· 、男女共同参画記	果分 58件)				
	 指	標	名	単位	基準値 (H30)	 実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)			
参考指		_		_	_	_	-	-	_	_			
指標													
					自己評価の評価基準	隼: A 順調である	B あまり順調でない (C 順調でない Z 新	型コロナウィルスの	影響により規模等縮小 ↑			
評価の理由 令和3年度事業の分析 令	男女共同参画 ・新型コロナ感 (R2年度247년	iの視 終染症 牛→R	点を踏まえ事業		<u>ださい。</u>	者による住民基本	k 台帳支援措置申!	出の相談証明件数	数は増加している	0 0			
和2年度課題	・住基支援措施	置の其	月限が過ぎて、 拜	再申請に来所する		1年後に更新申請	『の必要性がある 』	旨の説明を徹底す	る必要がある。				
への取り組み状況	・DV被害者の	状況?	を詳細に把握し	上記課題への取り 、必要な支援やサ		丁寧な情報提供	に努めた。						
令和3年度課題へ	・住基支援措施	置の1:		情について認識し [・]		íがあり、更新申請	背の必要性がある 旨	ョの説明を徹底す	る必要がある。				
の取り組み方針	【令和4年度() ・DV被害者の	2022 ^全 状況?	F度)における」 を詳細に把握し	上記課題への取り 、必要な支援やサ	組み方針】 一ビス等の情報提	 是供やアドバイスを	 E丁寧に行う。						
参画会議の意見													

施策の方向性	Ш	あらゆる暴力を許さない社会の実現	担当部署
具体的施策	18	DV相談体制の強化と被害者の自立支援	用 去 井园参南部
取り組みの名称	3	多様な相談に対応するための相談員の資質向上に向けた研修の充実及び相談窓口の周知	男女共同参画課

•令和3年度男女共同参画課相談員研修(参加回数)

男女共同参画課相談室 28回

- |・内閣府主催相談員向けオンライン研修や熊本県婦人相談員連絡協議会研修会等に参加。
- 和 | 「内阁州工権相談員内けオンプイン切修で原本宗州八相談員建裕協議会切修会等に参加。

▋・相談窓口の周知

2

2

年度

実施概要

- 度 ・市政だより、市HP、ラジオなど各種媒体を通じ、市の相談窓口等について周知を図った。
 - ・悩み相談カードを作成し、行政機関の窓口等を中心に配布を行った。

								_	
	4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
:	参 考 指 -	市におけるDV相談件数	件	981	1,222	1,144	997	減少	ı
	標	相談員の研修参加回数	回	_	54	9	28	ı	Z

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

・研修による相談員の資質の向上やDV相談に係る周知活動により、DV相談件数の増加は見込まれる。しかしながら、DV相談に関しては、相談件数の増加は好平 はよい状態ではなく、数値的評価には値しない。

┃・相談員の研修については、前年よりは増加しているものの、新型コロナ禍の影響もあり開催回数としては令和元年から減少しているためZとした。

の理由

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

、。 ・相談員研修については前年度より増えたものの、コロナ禍により予定されていた研修が中止となったり、実施されてもほとんどがオンライン研修となった。

・各区福祉課と男女共同参画課との連携強化や課題等の共有を目的に必要に応じて会議を開催しており、令和3年度はコロナ禍のため1回の開催となったが、タブレット端末を効果的に活用した自主学習会を行い、情報共有を図った。

・DV被害者等に対して、各媒体を活用して広く相談窓口の周知を行った。、

事業の分析

度

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

・相談員の資質向上のための研修や情報交換の機会が新型コロナ禍で減少しており、新規の相談員については、知識の習得やスキル向上が難しい。 ・電話や面接での相談に抵抗がある方への相談方法のありかたを検討する必要がある。

4年度課題

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

- ・相談員同士の連携や情報の共有を図り、相談員の資質が向上できるよう研修や自主学習会の機会を設け参加を促した。
- 取し・DV被害者が相談しやすいよう従来の電話や面接での相談に加え、SNSやメール等を活用した相談を周知した。

り組み状況

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

・相談員の資質向上のための研修や情報交換の機会が新型コロナ禍で減少しており、新規の相談員については、知識の習得やスキル向上が難しい。 ・電話や面接での相談に抵抗がある方への相談方法のありかたを検討する必要がある。

度課題への

組み方針

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・相談員同士の連携や情報の共有を図り、相談員の資質が向上できるよう研修や自主学習会の機会を設け参加を促す。

・DV被害者が相談しやすいよう従来の電話や面接での相談に加え、SNSやメール等を活用した相談、タブレットを用いての相談を周知し行っていく。

参	
画	
会	
議	
の	
賁	

見

118

施策の方向性	Ш	あらゆる暴力を許さない社会の実現	担当部署
具体的施策	18	DV相談体制の強化と被害者の自立支援	保護管理援護課
取り組みの名称	3	多様な相談に対応するための相談員の資質向上に向けた研修の充実及び相談窓口の周知	各区福祉課

R3年度 相談員の資質向上に向けた研修や関係会議への参加実績

実施日	研修·会議	開催場所
8/4	家庭・女性相談員会議	本庁
10/4	女性相談ブロック研修	オンライン
10/29	リモート研修(家庭相談員)	オンライン
11/12	R3全国婦人相談員連絡協議会	書面開催
11/15	熊本県子ど	くまもと新都心プラザ
11/17	九州ブロック婦人相談員連絡協議会	書面開催
11/19	令和3年度PTSD対策専門研修	オンライン
11/26	DV防止講演会	くまもと県民交流館パレア
12/8		オンライン
1/19	熊本県福祉総合相談所女性相談課外部講師研修	熊本県福祉総合相談所
2/21	県婦人相談員連絡協議会及び県・市婦人相談員研修	オンライン

<u> </u>	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	相談件数	件	733	686	637	946	-	_
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

窓口に寄せられた相談件数であり、評価の項目が適さない

価の理

由

の分

度

課

題

状況

課題

評

和3年度

2 0 2

年度

実施概要

- ③ |・コロナの影響で会議や研修の機会が激減したものの、書面やオンラインで開催されたものには積極的に参加。
- |・相談内容が複雑化、多様化してきている。配偶者からの暴力だけではなく、親や子・親族からの暴力による相談や経済的・精神的暴力の相談が |増加している。また、精神疾患を抱える相談者の増加も見られる。

☆【令和2年度(2020年度)に残った課題】

- 和 ・住基支援措置対象児や相談者に児童がいる場合の教育委員会との連携、情報共有のあり方について、被害者の個人情報の保護、安全の確保 2 の観点より整理を行う必要がある。
 - ■・DVによる住民基本台帳法にかかる支援措置についての協議は福祉課と区民課との認識の大きなズレがあり、すり合わせる必要がある。
 - ・相談内容が、複雑化・多様化してきている。支援の方法等について情報収集を行い、各関係機関と連携を図りながらスムーズに対応、支援ができるよう心がける。

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

- の 【令和3年度(2021年度)における」 取 一・研修参加等による、知識の習得。
 - ・課内や女性相談員会議等での情報共有や相互支援の継続。
- 組 |・区民課及び教育委員会など関係機関との連携強化に努める。
- み・様々な研修・会議に積極的に参加し、参加できていない研修等については、資料などで情報収集を図り、スキルアップに努める。

令 【令和3年度(2021年度)に残った課題】 和 は其支援機器や一時保護等の公的だ

- ・住基支援措置や一時保護等の公的な措置に関して、見解や取り扱いに多少のばらつきが見られるため、2ヶ月に一度のペースで行われる家庭 女性相談員会議にて引き続き検討協議を行う必要がある
- ・DVによる住民基本台帳法にかかる支援措置についての協議は福祉課と区民課との認識の大きなズレがあり、すり合わせる必要がある。
- ・年数の浅い相談員は、実績や経験がないため、対峙する困難ケースに戸惑い悩み、負担に感じてしまうことがある

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

- 取 |・相談業務に関する研修等に引き続き積極的に参加し、知識の習得に努めると共に、相談員間で事例を検証し共有することで、全体の相談対応 り 能力の底上げを行う
- 組 | 能力の低工けを引う ・区民課など関係機関との連携強化に努める。
- ∱ ┃・相談員に対する助言や的確な情報提供等の後方支援を手厚く行うことで、相談員自身の二次受傷被害を防ぐ

参	
参画	
会	
会議	
の	
意	
見	

	目	標 だれもがともにいきいきと、個性と能力を発揮できるまち			
施策の方向性	Ш	あらゆる暴力を許さない社会の実現	担当部署		
具体的施策	18	B D V 相談体制の強化と被害者の自立支援			
取り組みの名称	り組みの名称 ③ 住まい及び経済的自立に向けた支援				
令和3年度(2021年 別とは命な性、 のと、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	らず目受にタ町 け逃けへりて営のと たれ、	ト使用による入居支援 ごいる配偶者からの暴力を受けた被害者、婦人相談所の一時保護の適用を受けている被害者等について、緊急に処遇対応 営住宅を取り扱う部署に連絡を取り入居に係る支援を行った。(3件) 一時保護所への入居支援 の連携による住まい確保のための支援	ដាំ		

*	指標名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	-	ı	ı	ı	ı	ı	ı	_
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小 ・DV被害者の住まいや経済的自立支援については、ケースの実情に基づくものであり、数値目標を掲げて評価するのは難しい。 評 価 の 理

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

・DV加害者から逃げてこられた方は、所持金もなく食事や住まいの確保に困窮している方が多く、緊急的な支援を要している。 和

当面の衣食住を確保するために、各区福祉課、保護課、保健子ども課、社会福祉協議会等に繋ぎ、諸手続き等の支援を行うとともに安全の確保を行っている。 3年度事業 ・市営住宅課との連携により、公営住宅への目的外使用による入居支援が可能となった。

・DV被害者の諸事情による現行制度の中での支援となるため、支援の在り方にも限界がある。

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

実 施 概 要

由

の分 析

H

況

度 課 題

H 方 針

・自立に向けた各種情報(住居の確保、就労支援や福祉施策等)の活用の提供が必要

·DV被害者の安全確保のため、警察等との連携が必要

年度課 ・関係機関とのネットワークの充実強化並びに民間支援団体との更なる連携と協働が必要

題 【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・DV対策に係る各会議等を通して、住まい及び経済的自立に向けた支援のための情報共有を行い、関係機関並びに民間支援団体との更なる連携と協働に努め 取り組 た。

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

・自立に向けた各種情報(住居の確保、就労支援や福祉施策等)の活用の提供が必要

·DV被害者の安全確保のため、警察等との連携が必要

・関係機関とのネットワークの充実強化並びに民間支援団体との更なる連携と協働が必要

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・DV対策に係る各会議や個別支援を通して、住まい及び経済的自立に向けた支援のための情報共有を行い、関係機関並びに民間支援団体との更なる連携と協 働に努める。 組

参	
画	
会	
議	
の	
参画会議の意見	
見	

 施策の方向性	П	あらゆる暴	 力を許さない	 社会の実現					担当部署
 具体的施策	18		制の強化と被		 支援				·····································
取り組みの名称	4	住まい及び	経済的自立に	向けた支援					
令和3年度(2021年度) 経離生自 V母民生住一相 の活立 被子間活民時談 の活工に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	爰各にけ 相支ルの台に発と種対て 談援一受帳の行 目が	当ての手続きての手続きての生活保護を持ちます。 自立支援にひいていていてでに援措置についてで援措置についてでしませ相談と	た取り組みにて等についての家相談、貸付申請センターを案内。 すけた情報提供 で[区民課とのきな)	受内。 に関する案内。 は等】 連携により支援					
概 要【住宅の確信 ・住居確保経	談に関 保につい 合付金の	の支給	の対応。						
(施 ・弁護士札 概 要 【住宅の確信 ・住居確保 ・離婚にあり	談に関 保につい 合付金の こり、早れ み替え	いて】		基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	 目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·-
・弁護士林 概要 【住宅の確保・住居確保・ ・離婚にあかっあんしんは	談に関係についる。 はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	ハて】 の支給 急な住宅確保の 相談会への案	:内。 【						自己評価(A·B·C·Z·-
・弁護士林・弁護士林・住宅の確保・離婚にあが・あんしん付お・ある・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お・お<!--</td--><td>談に関係についる。</td><td>いて】 の支給 急な住宅確保の 相談会への案 名 頼件数</td><td>単位</td><td>(H30)</td><td>(R元)</td><td>(R2)</td><td>(R3)</td><td></td><td>自己評価(A·B·C·Z·- 一 一</td>	談に関係についる。	いて】 の支給 急な住宅確保の 相談会への案 名 頼件数	単位	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)		自己評価(A·B·C·Z·- 一 一

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

度課題

題

み方針

令和元年度の課題は継続して取り組む必要がある。

和 ▶ 単独では住居や経済的自立に向けた行動が困難な事例がある。

・高齢者、障がい者、母子世帯の早急な住宅の確保が必要な事例が増えている。

・障がい者が被害者の場合、利用可能な社会資源が少なく対応に苦慮している。

取【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

┦┪・必要に応じ、伴走しての支援を実施する。

組 - 可能な限りの手段を講じて、相談者に情報提供を行っている。

・生活自立支援センターにて相談・受付けを行った、住居確保給付金をはじめ、生活困窮者に対する支援の決定及び支払業務

状 ・ 積極的に研修・会議に出席し、スキルアップに努める。

況 ・女性相談に関わらず相談内容が多様化してきている。関係機関との連携により情報を共有し、可能な範囲での支援を行う。

令【令和3年度(2021年度)に残った課題】

和・区によって相談対応にばらつきが生じないよう、相談員の対応能力並びに知識の均整化を図る必要がある。

3 ┃・早急な住宅確保を必要とするケースが増えてきている。

障がい者や高齢者の利用可能な社会資源が少なく、対応に苦慮する場面がある。

へ 「令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針」

・住居確保や生活困窮者支援に関する研修等に積極的に参加し、タイムリーな情報をもつことで、相談員の対応スキルの向上を図る

組一・相談者に対し、様々な角度からの助言を行い、より多くの選択肢を与えられるような支援を行う

参	
画	
1 😓	
議	
参画会議の	
意	
見	

施策	の方向性	Ш	あらゆる暴力	りを許さない	社会の実現					担当部署
具体	具体的施策 18 D V 相談体制の強化と被害者の自立支援 取り組みの名称 ④ 住まい及び経済的自立に向けた支援 市営住									
					句けた支援					印杏丘七麻
令和3年度(2021年度)実施概要	・令和3年度 利税入店有 2世帯(3名)入店 ・令和3年度 退去者 4世帯(6名)退去 ・令和3年度 退去者 2世帯(3名)入居 2世帯(3A)入居 2世帯(3A)入									
	指標名 単位 基準値 実績値 実績値 実績値 (RZ) 目標値 (RS) 自									
参 考 指		_		_	_	_	_	_	_	_
指┣ 標										
			自		≛: A 順調である	B あまり順調で	だない C順調でな	よい Z 新型コロ	ナウィルスの影響	により規模等縮小 ↑
評価の理由			よる自己評価があることから、			7				
『和3年度事業の分析』					*1生か・認めりられ	' ত •				
和2年度課題	寺に課題となる	多案件								
の取り組み状況	寺に課題となる	5案件			り組み状況】					
和2年度課題へ	寺に課題となる	多案件								
取当	当事業につい	て. 入	F度)における上、居希望者等へ、 、居希望者等へ よ入居措置であため、配偶者等へ	の周知を徹底で	ける。	の居住地を確定 『者自らも注意を	定することなど原 を払うよう指導す	周知する。また、 する。)	、目的外使用值	主宅はシェルター的
参	•••••	•••••	••••••	•••••	••••••	•••••	•••••		••••••	
>画会議の意見										

	B	標 だれもが	シンキっにいきいきと	・. 個性と能力を	発揮できるまち				
施策の方向は	目標 だれもがともにいきいきと、個性と能力を発揮できるまち 施策の方向性 Ⅲ あらゆる暴力を許さない社会の実現								
具体的施策	18	DV相談体制	制の強化と被害	者の自立支援					m / II = 0 == m
取り組みの名	3称 ⑤	民間シェルタ	ターへの財政的	な支援					男女共同参画課
市和3年度(2021年度)定 国先・・・国先・・・の進補補シシの進補補シ	*補助分素団体 4団体								
	指 標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参 老	_		_	_	_	_	_	_	_

4	指 標 名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指	-	-	ı	ı	-	ı	ı	-
標								

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

令【令和2年度(2020年度)に残った課題】 和 新型コロナウィルス感染拡大の影響等

業の分析

年度課

り組み

年度課

題

組み方針

| 新型コロナウィルス感染拡大の影響等もあり、依然としてどの団体もシェルターの運営面で財政的に厳しい状況を抱えている。

題 【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

・引き続き、国のパイロット事業(10割補助)を活用し、先進的な被害者支援に取り組むシェルター運営団体を積極的に支援する。

取し・市の補助金についてシェルター運営の実態に即したものとなるよう、制度設計の見直しについて引き続き検討する。

況 令 【令和3年度(2021年度)に残った課題】

団体による財政状況の違いやシェルターの形態の違いもあり、統一した支援のあり方の整理ができない状況。

依然としてどの団体もシェルターの運営面で財政的に厳しい状況を抱えており、運営方法の見直しや市の財政的支援に頼らない方法の検討が必要。

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

・引き続き、国のパイロット事業(10割補助)を活用し、先進的な被害者支援に取り組むシェルター運営団体を積極的に支援する。 ・市の補助金についてシェルター運営の実態に即したものとなるよう、制度設計の見直しについて引き続き検討する。

	参	
	参画会議の意見	
	会	
	議	
	の	
	意	
ı	見	

施策の方向性	Ш	あらゆる暴力を許さない社会の実現	担当部署
具体的施策	18	DV相談体制の強化と被害者の自立支援	男女共同参画課
取り組みの名称	6	配偶者暴力相談支援センター事業における相談体制の充実及び連携強化	各区福祉課、保健子ど も課、子ども政策課

|配偶者暴力相談支援センターは、配偶者からの暴力の防止、被害者の保護のための業務を行っている。

【① 相談又は相談機関の紹介

和 ② 被害者及び同伴者の緊急時における安全の確保及び一時保護

[™]3 |③ 被害者の自立生活促進のための情報提供その他の援助 年 |④ 保護命令制度の利用についての情報提供その他の援助

度 ⑤ 被害者を居住させ保護する施設の利用についての情報提供その他の援助

·DV相談件数 : 997件(女性:943件 男性:54件)

DV相談室 505件 中央区 8件 東区 161件 西区 118件 南区 63件 北区 142件

・弁護士による法律相談件数 :85件(女性 76件 男性 9件)

・県女性センターー時保護所入所支援件数:0件(女性O件 男性0件) ・保護命令申立支援件数 :3件(女性3件 男性0件)

参考指標 -		単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
	市におけるDV相談件数	件	981	1,222	1,144	997	減少	-
	配偶者暴力相談支援センターに おける証明書発行件数	件	202	285	338	364	-	-
	保護命令関与件数	件	2	3	3	4	減少	-

自己評価の評価基準: A 順調である B あまり順調でない C 順調でない Z 新型コロナウィルスの影響により規模等縮小

・DV相談窓口や行政支援等の広報周知により相談件数等の増加が想定されるが、DV行為の減少を目指していくことが重要であり、数値目標を掲げて評価するの評し、対しい。 価

の理由

2

0

2

年

度

実

施

概

要

男女共同参画の視点を踏まえ事業の分析を行ってください。

・DV相談件数は997件で、令和2年度(1,144件)と比べて147件減少している。これは、内閣府において24時間対応で全国どこからでも相談でき多言語にも対応した 『DV相談プラス』という事業を令和2年4月から実施しており、当該事業についても本市のHPや公式ツイッター等を活用し周知を図っていることが一因していると考えられる。 度

及事業の分析

【令和2年度(2020年度)に残った課題】

- 和・他の自治体、関係機関、関係組織等との連携強化
 - ・DV被害者が抵抗感なく相談できる方法(メール、LINE等)の確立
 - ・支援情報及びDVに関する対応支援策の周知
 - ・女性相談員の育成

【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】

- ・DV対策連携会議等の中で共通の課題や情報等について確認し合い、解決策や方針を共有した。
- 取り・相談者の状況に応じ、メール相談による対応を行った。
 - ・各区福祉課との情報共有や連携協力支援を目的に、タブレットを活用して相談や研修・会議を行った。

組み状況

度

課題

【令和3年度(2021年度)に残った課題】

- ・他の自治体、関係機関、関係組織等との連携強化
- ・DV被害者が抵抗感なく相談できる方法(メール、LINE等)の確立
- ・支援情報及びDVに関する対応支援策の周知

- 度課題

【令和4年度(2022年度)における上記課題への取り組み方針】

- ・DV対策連携会議等の中で共通の課題や情報等について確認し合い、解決策や方針を共有する。
- り。DV被害者が抵抗感なく相談できる方法(メール、LINE等)を強化する。
 - |・各区福祉課との情報共有や連携協力支援を目的に、タブレットを活用して相談や研修・会議を行う。
 - ・市民にDVに係る情報や支援制度など広く周知する。

参	
画	
会	
議	
の	
意	
見	

124

					:、個性と能力を発 	揮できるまち 				T
	の方向性			で許さない社						担当部署
	(内訳)	∨相談			力に対する対応引	金化				_ 男女共同参画課 各区福祉課 _
(2021年度)実施概要	北区		1件							
>	指	標	名	単位	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R8)	自己評価(A·B·C·Z·一)
参考指標		同性 談件	間におけるDV 数	件	_	55	49	54	減少	-
標					自己評価の評価基準		B あまり順調でない		Z 新型コロナウィルスの	
理由 令和3年度事業の分析	・男性からのD・男性の場合、	V相談 電話	&は、54件とDV による相談がほ	ほとんどで、妻から	件)の5.4%という状況 の暴言、モラハラ、	身体的な暴力を				ると、訴える方もみられ
令和2年度課題	•男性被害者を	と保護 プログ	ラムやDV被害	懇題】 等の避難場所の 男性向けの支援						
	【令和3年度(2021年度)における上記課題への取り組み状況】 ・相談窓口の情報等を市政だよりや市HP、SNS等を通じて市民に情報提供を行った。 ・パイロット事業による情報を各シェルターに提供し、受け入れ対象者の拡充に向けた取り組みを行った。 【令和3年度(2021年度)に残った課題】 ・男性被害者を保護するシェルター等の避難場所の確保 ・加害者更生プログラムやDV被害男性向けの支援制度の構築 ・関係機関との連携									
和3年度課題へ										
の取り組み方針	パイロット事業	業によ	:るシェルターの	:記課題への取り 整備と拡充 支援制度の周知	組み方針】					
参画会議の意見										